

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
1	0	0	桂太郎書翰	桂太郎							2巻	
1	1	1	(徳富蘇峰 序)	桂太郎							1点	
1	1	2	西園寺首相二賜フタル勅語(写)	桂太郎		明治41年1月14日					1点	
1	1	3	御沙汰覚書	桂太郎							1点	
1	1	4	桂太郎書翰 西園寺公望宛	桂太郎	西園寺公望	明治41年4月10日					1通	
1	2		桂太郎書翰 伊藤博文宛	桂太郎	伊藤博文	2月6日					1巻(1通)	
2	0	0	伊東巳代治書翰 伊藤首相宛	伊東巳代治	伊藤首相	6月1日					1巻	
3	0	0	井上馨書翰 伊藤博文宛	井上馨	伊藤博文	明治15年8月2日				(在ドイツ)	1巻	
4	0	0	伊藤博文書翰 黒田大臣宛	伊藤博文	黒田大臣	7月14日					1巻	
5	0	0	(欠番)							井上馨関係文書652へ移す		
6	0	0	伊藤博文書翰 伊東巳代治宛	伊藤博文	伊東巳代治		内閣信任問題				1巻	
7	0	0	福澤諭吉書翰 間淵俊次郎宛	福澤諭吉	間淵俊次郎						1巻	
8	0	0	元帥山縣公尺牘集巻								1巻	
8	1		山縣有朋書翰 山内政銓宛	山縣有朋	山内政銓						10通	
8	2		安広伴一郎書翰 山内政銓宛	安広伴一郎	山内政銓						1通	
8	3		山縣夫人貞子書翰 山内政銓宛	山縣夫人貞子	山内政銓						2通	
9	0	0	東郷平八郎書翰 田中盛秀宛	東郷平八郎	田中盛秀		3月16日、9年9月15日、12月24日、4月26日 4通				1巻	
10	0	0	佐野理八宛書翰集		佐野理八	自明治5年至明治30年					3巻	
10	1	1	保勝会幹事書翰	保勝会幹事	佐野理八	5月31日					1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
10	1	2	品川弥二郎書翰	品川弥二郎	佐野理八	明治24年6月28日					1通	
10	1	3	遠藤達書翰	遠藤達	佐野理八	5月23日					1通	
10	1	4	品川弥二郎書翰	品川弥二郎	佐野理八	2月25日					1通	
10	1	5	佐野常民書翰	佐野常民	佐野理八	2月18日					1通	
10	1	6	小野善右衛門書翰	小野善右衛門	佐野理八		(家訓)				1通	
10	1	7	安場保和書翰	安場保和	佐野理八	2月25日					1通	
10	1	8	佐野常民書翰	佐野常民	佐野理八	5月29日					1通	
10	1	9	品川弥二郎書翰	品川弥二郎	佐野理八	11月12日					1通	
10	1	10	今井鉄太郎書翰	今井鉄太郎	佐野理八	7月21日					1通	
10	1	11	安場保和書翰	安場保和	佐野理八	2月16日					1通	
10	1	12	小野善助、同助八郎、同善右衛門書翰	小野善助、同助八郎、同善右衛門	佐野理八	12月12日					1通	
10	1	13	佐野発願寺書翰	佐野発願寺	佐野理八	7月30日					1通	
10	1	14	大木喬任書翰	大木喬任	佐野理八	11月30日					1通	
10	1	15	五辻安仲書翰	五辻安仲	佐野理八	1月16日					1通	
10	1	16	品川弥二郎書翰	品川弥二郎	佐野理八	3月22日					1通	
10	1	17	品川弥二郎書翰	品川弥二郎	佐野理八	明治26年12月1日					1通	
10	1	18	安場保和書翰	安場保和	佐野理八	9月12日					1通	
10	2	1	佐野常民書翰	佐野常民	佐野理八	12月6日					1通	
10	2	2	品川弥二郎書翰	品川弥二郎	佐野理八						1通	
10	2	3	中島蒿書翰	中島蒿	佐野理八						1通	
10	2	4	河瀬秀治書翰	河瀬秀治	佐野理八	7月23日					1通	
10	2	5	稲岡義順書翰	稲岡義順	佐野理八	4月5日					1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
10	2	6	富田鉄之助書翰	富田鉄之助	佐野理八	3月26日					1通	
10	2	7	品川弥二郎書翰	品川弥二郎	佐野理八	明治29年12月21日					1通	
10	2	8	品川弥二郎書翰	品川弥二郎	佐野理八	明治28年7月16日					1通	
10	2	9	安場保和書翰	安場保和	佐野理八	6月11日					1通	
10	2	10	外村興左衛門書翰	外村興左衛門	佐野理八	明治5年3月22日					1通	
10	2	11	富田鉄之助書翰	富田鉄之助	佐野理八	5月6日					1通	
10	2	12	佐久間象山の歌		佐野理八						1通	
10	2	13	千阪高雅書翰	千阪高雅	佐野理八	10月23日					1通	
10	2	14	安場保和書翰	安場保和	佐野理八	4月11日					1通	
10	2	15	品川弥二郎書翰	品川弥二郎	佐野理八	6月7日					1通	
10	2	16	大木文部卿秘書官書翰	大木文部卿 秘書官	佐野理八						1通	
10	2	17	佐々木高行書翰	佐々木高行	佐野理八	8月3日					1通	
10	3	1	品川弥二郎書翰	品川弥二郎	佐野理八	明治21年9月22日					1通	
10	3	2	安場保和書翰	安場保和	佐野理八	9月20日					1通	
10	3	3	松方正義書翰	松方正義	佐野理八	2月17日					1通	
10	3	4	安場保和書翰	安場保和	佐野理八	12月5日					1通	
10	3	5	速水堅曹書翰	速水堅曹	佐野理八	10月22日					1通	
10	3	6	渡辺洪基書翰	渡辺洪基	佐野理八	明治30年10月31日					1通	
10	3	7	富田鉄之助書翰	富田鉄之助	佐野理八	明治17年11月7日					1通	
10	3	8	横川源蔵書翰	横川源蔵	佐野理八	10月20日					1通	
10	3	9	富田鉄之助書翰	富田鉄之助	佐野理八	6月14日					1通	
10	3	10	富田鉄之助書翰	富田鉄之助	佐野理八	2月26日					1通	





憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
23	1	1	杉孫七郎書翰	杉孫七郎		6月16日						
23	1	2	山県有朋書翰	山県有朋		4月18日						
23	1	3	児玉少介書翰	児玉少介		3月						
23	1	4	佐々友房書翰	佐々友房		9月9日						
23	1	5	山田顕義書翰	山田顕義		10月8日						
23	1	6	朴泳孝書翰	朴泳孝		3月3日						
23	1	7	李範晋書翰	李範晋		8月5日						
23	1	8	金允植書翰	金允植		7月24日						
23	2	1	曾我祐準書翰	曾我祐準		3月1日						
23	2	2	花房義質書翰 曾我祐準宛	花房義質	曾我祐準	2月28日						
23	2	3	古荘嘉門書翰	古荘嘉門		10月9日						
23	2	4	金子堅太郎書翰	金子堅太郎		9月30日						
23	2	5	伊東巳代治書翰	伊東巳代治		8月15日						
23	2	6	浅野長勲書翰	浅野長勲		10月13日						
23	2	7	品川弥二郎書翰	品川弥二郎		5月20日						
23	2	8	品川弥二郎書翰 荒尾宛	品川弥二郎	荒尾	明治29年3月11日						
23	2	9	釋雲照書翰	釋雲照		6月11日						
23	2	10	岩田周作(金玉均カ)									
23	3	1	井上馨書翰	井上馨		12月22日						
23	3	2	佐久間左馬太書翰 七里恭三郎宛	佐久間左馬太	七里恭三郎	3月10日						
23	3	3	伊藤博文書翰	伊藤博文		4月15日						
23	3	4	金弘集書翰	金弘集		8月11日						
23	3	5	原保太郎書翰	原保太郎		6月10日						

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
23	3	6	谷干城書翰	谷干城		7月3日						
23	3	7	鳥尾小弥太書翰	鳥尾小弥太								
23	3	8	谷干城書翰	谷干城		5月14日						
24	0	0	大久保利通自筆書翰 大久保利通書翰 後藤一乗宛	大久保利通	後藤一乗						2通	
25	0	0	元田永孚書翰 吉井友実宛	元田永孚	吉井友実	12月22日					1通	
26	0	0	中井弘書翰 伊藤博文宛	中井弘	伊藤博文	4月28日	土魯開戦のことその他				1通	
27	0	0	品川弥二郎書翰 豊永長吉、桂弥市宛	品川弥二郎	豊永長吉、桂弥市	5月15日					1通	
28	0	0	井上馨書翰 伊藤博文宛	井上馨	伊藤博文	明治19年6月30日					1通	
29	0	0	大鳥圭介書翰 伊藤博文宛	大鳥圭介	伊藤博文		9月30日、8月21日				2通	
30	0	0	伊東巳代治書翰	伊東巳代治							13袋(14通)	
30	1		伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文		9月9日、4月28日				2通	
30	2		伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文	5月18日					1通	
30	3		伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文	6月10日					1通	
30	4		伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文	3月2日					1通	
30	5		伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文	7月18日					1通	
30	6		伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文	11月22日					1通	
30	7		伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文	8月20日					1通	
30	8		伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文	8月17日					1通	
30	9		伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文	5月14日					1通	
30	10		伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文	8月23日					1通	
30	11		伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文	11月16日					1通	
30	12		伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文	1月19日					1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
30	13		伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文	7月2日					1通	
31	0	0	陸奥宗光書翰	陸奥宗光							1巻7袋 (11通)	
31	1		伊藤博文宛	陸奥宗光	伊藤博文		4月16日、6月10日、6月22日、6月6日				1巻	
31	2		伊藤博文宛	陸奥宗光	伊藤博文	7月21日					1通	
31	3		伊藤博文宛	陸奥宗光	伊藤博文	(明治2年)8月9日					1通	
31	4		伊藤博文宛	陸奥宗光	伊藤博文	(明治22年)3月20日					1通	
31	5		伊藤博文宛	陸奥宗光	伊藤博文	3月13日					1通	
31	6		伊藤博文宛	陸奥宗光	伊藤博文	1月13日					1通	
31	7		伊藤博文宛	陸奥宗光	伊藤博文	10月15日					1通	
31	8		意見書	陸奥宗光カ							1通	
32	0	0	鳥尾小弥太宛書翰		鳥尾小弥太						7通	
32	1		伊東巳代治書翰	伊東巳代治	鳥尾小弥太	10月13日					1通	
32	2		伊東巳代治書翰	伊東巳代治	鳥尾小弥太	7月20日					1通	
32	3		金子堅太郎書翰	金子堅太郎	鳥尾小弥太	12月6日					1通	
32	4		金子堅太郎書翰	金子堅太郎	鳥尾小弥太	12月6日夕					1通	
32	5		益田孝書翰	益田孝	鳥尾小弥太	3月31日					1通	
32	6		三浦梧楼書翰	三浦梧楼	鳥尾小弥太	3月25日					1通	
32	7		品川弥二郎書翰	品川弥二郎	鳥尾小弥太	3月24日					1通	
33	0	0	中井弘蔵宛書翰		中井弘蔵						2通	
33	1		左京亮書翰	左京亮	中井弘蔵	9月24日					1通	
33	2		大久保一蔵書翰	大久保一蔵	中井弘蔵	11月2日					1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
34	0	0	島田三郎書翰 内田貢(魯庵)宛	島田三郎	内田貢(魯庵)						3通	
34	1		島田三郎書翰	島田三郎	内田貢(魯庵)						1通	
34	2		島田三郎書翰	島田三郎	内田貢(魯庵)						1通	
34	3		島田三郎書翰	島田三郎	内田貢(魯庵)						1通	
35	0	0	土肥真一郎宛書翰		土肥真一郎						3通	
35	1		伊藤俊介書翰	伊藤俊介	土肥真一郎	4月21日						
35	2		井上聞多書翰	井上聞多	土肥真一郎	8月11日						
35	3		大久保利通書翰	大久保利通	土肥真一郎	3月11日						
36	0	0	国貞廉平宛書翰		国定廉平						5通	
36	1		大鳥圭介書翰	大鳥圭介	国定廉平	7月19日					1通	
36	2		山田顕義書翰	山田顕義	国定廉平	7月13日					1通	
36	3		山岡鉄太郎書翰	山岡鉄太郎	国定廉平	7月3日					1通	
36	4		品川弥二郎書翰	品川弥二郎	国定廉平	2月9日					1通	
36	5		井上馨書翰	井上馨	国定廉平	5月24日					1通	
37	0	0	岩倉具綱書翰	岩倉具綱							2通	
37	1		岩倉具綱書翰 羽倉信可宛	岩倉具綱	羽倉信可	7月2日						
37	2		岩倉具綱書翰 北小路隨光宛	岩倉具綱	北小路隨光	10月30日						
38	0	0	大隈信常書翰 野沢宛	大隈信常	野沢						1通	
39	0	0	岩崎小弥太書翰 野沢源次郎宛	岩崎小弥太	野沢源次郎	4月1日					1通	
40	0	0	松方正義書翰 深谷宛	松方正義	深谷						1通	
41	0	0	土方久元書翰 森泰次郎宛	土方久元	森泰次郎						1通	

## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
42	0	0	桐野利秋書翰 東京府宛	桐野利秋	東京府		地面拜借願書				1通	
43	0	0	林権助書翰 河村宛	林権助	河村						1通	
44	0	0	渡辺國武書翰 川田宛	渡辺國武	川田						1通	
45	0	0	加藤友三郎書翰 稲村新六、 細田謙蔵宛	加藤友三郎	稲村新六、細 田謙蔵						1通	
46	0	0	頭山秀三書翰 永見徳太郎宛	頭山秀三	永見徳太郎		(上海より)				1通	
47	0	0	東久世通禧書翰 正親町三条 大納言、徳大寺大納言宛	東久世通禧	正親町三条 大納言、徳大 寺大納言	10月5日					1通	
48	0	0	品川弥二郎書翰 町田久成宛	品川弥二郎	町田久成						1通	
49	0	0	大木喬任書翰 藤原宛	大木喬任	藤原						1通	
50	0	0	井上毅書翰	井上毅		明治12年4月17日	旅費依頼書				1通	
51	0	0	天春文衛宛書翰		天春文衛					三重県政友本 党衆院議員	7通	
51	1		尾崎行雄書翰	尾崎行雄	天春文衛	1月23日						
51	2		大木遠吉書翰	大木遠吉	天春文衛	大正11年2月11日						
51	3		山本達雄書翰	山本達雄	天春文衛	大正7年5月16日						
51	4		横田千之助書翰	横田千之助	天春文衛	大正9年9月28日						
51	5		大岡育造書翰	大岡育造	天春文衛	大正8年10月31日						
51	6		高橋光威書翰	高橋光威	天春文衛	大正8年10月8日						
51	7		長谷場純孝書翰	長谷場純孝	天春文衛	4月5日						
52	0	0	船越衛宛書翰		船越衛						3通	
52	1		木戸孝允書翰	木戸孝允	船越衛	明治3年8月6日						
52	2		大山格之助書翰	大山格之助	船越衛	明治2年1月15日						
52	3		山県有朋書翰	山県有朋	船越衛	明治28年2月7日						

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
53	0	0	大木喬任宛書翰		大木喬任						13通	
53	1		井上馨書翰	井上馨	大木喬任		10月27日、12月10日、明治14年1月11日				3通	
53	2		細川潤次郎書翰	細川潤次郎	大木喬任		3月15日、23日				2通	
53	3		三宮義胤書翰	三宮義胤	大木喬任		5月14日、5月25日				2通	
53	4		楠本正隆書翰	楠本正隆	大木喬任	7月30日					1通	
53	5		海江田信義書翰	海江田信義	大木喬任	4月22日					1通	
53	6		神田孝平書翰	神田孝平	大木喬任	5月20日					1通	
53	7		田中不二磨書翰	田中不二磨	大木喬任	明治5年3月23日					1通	
53	8		辻新次書翰	辻新次	大木喬任	3月29日					1通	
53	9		佐野常民書翰	佐野常民	大木喬任	16日					1通	
54	0	0	曾根荒助宛書翰		曾根荒助						2通	
54	1		井上毅書翰	井上毅	曾根荒助	12月30日					1通	
54	2		松方正義書翰	松方正義	曾根荒助	8月10日					1通	
55	0	0	渡辺千秋書翰	渡辺千秋							2通	
55	1		伊藤博文宛書翰	渡辺千秋	伊藤博文	10月10日					1通	
55	2		伊藤博文宛書翰	渡辺千秋	伊藤博文	4月19日					1通	
56	0	0	大久保利通書翰 三条実美、岩倉具視宛	大久保利通	三条実美、岩倉具視	3月11日					1通	
57	0	0	大山綱良書翰 三好退蔵宛	大山綱良	三好退蔵	2月1日					1通	
58	0	0	長谷川好道書翰 三巻弘義宛	長谷川好道	三巻弘義	大正4年7月23日					1通	
59	0	0	安部井馨根書翰 遠藤宛	安部井馨根	遠藤	明治10年8月18日					1通	
60	0	0	明治維新史料書翰								1巻	
60	1		伊藤俊介書翰 辨事官宛	伊藤俊介	辨事官	10月3日						

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
60	2		某書翰 鎌田隼人宛	某	鎌田隼人	4月13日						
60	3		明政書翰 山前両大夫宛	明政	山前両大夫	6月22日						
61	0	0	犬養毅・阿部繁太郎往復書翰	犬養毅、阿部繁太郎							34通	
61	1		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治23年7月24日						
61	2		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治23年11月9日						
61	3		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治23年12月5日						
61	4		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治24年1月15日						
61	5		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治24年3月1日						
61	6		犬養毅書翰 三宅文三郎宛	犬養毅	三宅文三郎	明治24年3月1日						
61	7		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治24年3月6日						
61	8		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治24年4月27日						
61	9		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治24年6月2日						
61	10		阿部繁太郎書翰 犬養毅宛	阿部繁太郎	犬養毅	明治24年6月26日						犬養返答書
61	11		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治24年9月10日						
61	12		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治24年12月9日						
61	13		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治25年9月26日						
61	14		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治26年7月26日						
61	15		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治29年11月29日						
61	16		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治31年1月16日						
61	17		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治32年9月12日						
61	18		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治39年7月3日						
61	19		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治44年1月8日						
61	20		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治44年4月29日						

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
61	21		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治44年7月7日						
61	22		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	明治44年7月26日						
61	23		阿部繁太郎書翰 犬養毅宛	阿部繁太郎	犬養毅	大正元年8月6日						犬養返答書
61	24		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	大正元年8月14日						
61	25		阿部繁太郎書翰 犬養毅宛	阿部繁太郎	犬養毅	大正2年1月25日						犬養返答書
61	26		犬養毅書翰 阿部繁太郎カ宛	犬養毅	阿部繁太郎カ	大正2年1月28日						
61	27		犬養毅書翰 阿部シカ子宛	犬養毅	阿部シカ子	大正2年8月13日						
61	28		阿部繁太郎書翰 犬養毅宛	阿部繁太郎	犬養毅	大正3年4月20日						
61	29		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	大正3年4月22日						
61	30		犬養毅書翰 阿部秀子宛	犬養毅	阿部秀子	大正3年9月6日						
61	31		犬養毅書翰 阿部シカ子宛	犬養毅	阿部シカ子	大正7年1月6日						
61	32		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎							
61	33		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎							
61	34		犬養毅書翰 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎							
62	0	0	写真書翰							原資料は個人蔵	11通	
62	1		谷干城書翰 伊藤博文宛	谷干城	伊藤博文	8月12日						
62	2		谷干城書翰 伊藤博文宛	谷干城	伊藤博文	2月21日						
62	3		谷干城書翰 島田重礼宛	谷干城	島田重礼	3月23日						
62	4		三条実美書翰 徳大寺実則宛	三条実美	徳大寺実則	6月20日						
62	5		三条実美書翰 大納言参議宛	三条実美	大納言参議	1月17日						
62	6		寺島宗則書翰 上野景範宛	寺島宗則	上野景範	明治11年8月5日						
62	7		陸奥宗光書翰 伊藤博文宛	陸奥宗光	伊藤博文	1月31日						



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
64	1		福原俊丸宛書翰	田中義一	福原俊丸	大正10年12月27日						
64	2		福原俊丸宛書翰	田中義一	福原俊丸	大正11年2月11日						
65	0	0	伊藤博文宛書翰		伊藤博文						4通	
65	1		伊東巳代治書翰	伊東巳代治	伊藤博文	11月8日						
65	2		渡辺国武書翰	渡辺国武	伊藤博文	3月3日						
65	3		山田顕義書翰	山田顕義	伊藤博文	7月12日						
65	4		山田顕義書翰	山田顕義	伊藤博文	9月5日						
66	0	0	松方正義書翰 黒田清隆宛	松方正義	黒田清隆	11月13日					1通	
67	0	0	品川弥二郎書翰	品川弥二郎							2通	
67	1		伊藤博文宛書翰	品川弥二郎	伊藤博文	4月18日						
67	2		三長老宛書翰	品川弥二郎	三長老	1月29日						
68	0	0	大村卿・三条公書翰	大村卿・三条公						大村卿遺徳顕影会発行(写真製版による)	2巻	
68	1	1	大村益次郎書翰 大村孝益(父)宛	大村益次郎	大村孝益(父)	明治元年10月2日						
68	1	2	大村益次郎書翰 三条実美宛	大村益次郎	三条実美	明治2年7月27日						
68	1	3	大村益次郎書翰 大村孝益宛	大村益次郎	大村孝益	明治2年8月25日						
68	2	1	大村益次郎書翰 三条実美宛	大村益次郎	三条実美	明治2年10月16日						
68	2	2	(三条実美識追悼文)			(明治15年11月)						
68	2	3	三条実美書翰 大村益次郎宛	三条実美	大村益次郎	明治2年10月26日						
69	0	0	片岡健吉宛書翰		片岡健吉						4巻	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
69	1	1	板垣退助書翰	板垣退助	片岡健吉	1月13日						
69	1	2	板垣退助書翰	板垣退助	片岡健吉	5月20日						
69	1	3	板垣退助書翰	板垣退助	片岡健吉	6月6日						
69	2	1	原敬書翰	原敬	片岡健吉	9月25日						
69	2	2	江原素六書翰	江原素六	片岡健吉	12月19日						
69	2	3	元田肇書翰	元田肇	片岡健吉	1月14日						
69	2	4	尾崎行雄書翰	尾崎行雄	片岡健吉	8月12日						
69	2	5	嶋田三郎書翰	嶋田三郎	片岡健吉	8月1日						
69	3	1	中島信行書翰	中島信行	片岡健吉	5月1日						
69	3	2	星亨書翰	星亨	片岡健吉	8月2日						
69	3	3	河野広中書翰	河野広中	片岡健吉	10月26日						
69	3	4	松田正久書翰	松田正久	片岡健吉	6月16日						
69	3	5	杉田定一書翰	杉田定一	片岡健吉	10月14日						
69	3	6	杉田定一書翰	杉田定一	片岡健吉	10月30日						
69	4	1	伊藤博文書翰	伊藤博文	片岡健吉	6月23日						
69	4	2	山県有朋書翰	山県有朋	片岡健吉	9月25日						
69	4	3	松方正義書翰	松方正義	片岡健吉	7月2日						
69	4	4	桂太郎書翰	桂太郎	片岡健吉	6月6日						
69	4	5	渡辺国武書翰	渡辺国武	片岡健吉	5月20日						
69	4	6	末松謙澄書翰	末松謙澄	片岡健吉	2月3日						
70	0	0	本庄繁書翰 工藤壮平宛	本庄繁	工藤壮平	2月17日					1通	
71	0	0	後藤象二郎書翰 伊藤博文宛	後藤象二郎	伊藤博文	2月15日					1通	
72	0	0	大山格之助(綱良)書翰 上田・山本宛	大山格之助(綱良)	上田・山本	7月10日					1通	



## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
73	0	0	伊藤博文書翰 伊東巳代治宛	伊藤博文	伊東巳代治	2月17日					1通	
74	0	0	山県有朋・品川弥二郎書翰 (勝津家宛)	山県有朋・品川弥二郎	(勝津家)						2巻	封筒台紙
74	1	1	山県有朋書翰 勝津寿子(山県実姉)宛	山県有朋	勝津寿子(山県実姉)	4月12日						
74	1	2	山県有朋書翰 勝津兼亮(山県義兄)宛	山県有朋	勝津兼亮(山県義兄)	6月20日						
74	1	3	山県有朋書翰 勝津兼亮(山県義兄)宛	山県有朋	勝津兼亮(山県義兄)	(明治27年)7月24日						
74	2	1	品川弥二郎書翰 山県有朋宛	品川弥二郎	山県有朋	文久2年11月5日						
74	2	2	品川弥二郎書翰 勝津宛	品川弥二郎	勝津	6月24日						
74	2	3	品川弥二郎書翰 勝津宛	品川弥二郎	勝津	8月4日						
74	2	4	品川弥二郎書翰 勝津宛	品川弥二郎	勝津	7月14日						
74	2	5	品川弥二郎書翰 勝津宛	品川弥二郎	勝津	5月29日						
74	2	6	不明									
75	0	0	清浦奎吾宛書翰		清浦奎吾						1巻	
75	1		徳川家達書翰	徳川家達	清浦奎吾	大正6年3月20日						
75	2		伊藤博文書翰	伊藤博文	清浦奎吾	6月2日						
75	3		山県有朋書翰	山県有朋	清浦奎吾	10月22日						
75	4		寺内正毅書翰	寺内正毅	清浦奎吾	10月5日						
75	5		桂太郎書翰	桂太郎	清浦奎吾	明治39年9月30日						
75	6		芳川顕正書翰	芳川顕正	清浦奎吾	大正元年8月3日						
75	7		井上毅書翰	井上毅	清浦奎吾	8月8日						
75	8		品川弥二郎書翰	品川弥二郎	清浦奎吾	5月21日						
75	9		岡部長職書翰	岡部長職	清浦奎吾	6月15日						

## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
76	0	0	徳富蘇峰書翰 乃木大将宛	徳富蘇峰	乃木大将	明治44年8月29日					1通	
77	0	0	山県有朋書翰 河村金五郎宛	山県有朋	河村金五郎	大正4年1月31日					1巻	
78	0	0	児玉淳一郎宛書翰		児玉淳一郎						2通	
78	1		渡辺国武書翰	渡辺国武		明治34年4月7日						
78	2		上山満之進書翰	上山満之進		明治41年9月12日						
79	0	0	前田正名宛書翰		前田正名						2通	
79	1		高橋是清書翰	高橋是清	前田正名	明治29年2月1日						
79	2		九鬼隆一書翰	九鬼隆一	前田正名	明治25年10月25日						
80	0	0	川上左七郎(日銀大阪支店長)書翰 川田日銀総裁宛	川上左七郎(日銀大阪支店長)	川田日銀総裁					(同封)	1通	1通
81	0	0	福島安正書翰 山根武亮少将宛	福島安正	山根武亮少将	1月7日					1通	
82	0	0	芳川顕正書翰 伊藤博文宛	芳川顕正	伊藤博文	3月25日					1通	
83	0	0	香川敬三(皇后太夫)書翰 徳大寺侍従長宛	香川敬三(皇后太夫)	徳大寺侍従長	明治24年11月17日					1通	
84	0	0	三条実美他書翰	三条実美他							1巻	
84	1		三条実美書翰 岩倉宛	三条実美	岩倉	3月7日						
84	2		山県有朋書翰 清浦奎吾宛	山県有朋	清浦奎吾	2月9日						
84	3		芳川顕正書翰 清浦奎吾宛	芳川顕正	清浦奎吾	3月13日						
84	4		清浦奎吾書翰 内海宛	清浦奎吾	内海	6月5日						
84	5		大島久直(海軍大将)書翰 長崎守一(海軍大尉)宛	大島久直(海軍大将)	長崎守一(海軍大尉)	大正9年1月7日						
85	0	0	植木枝盛書翰	植木枝盛						原資料は個人蔵 複製、後日電子式複写可。	2通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
85	1		広瀬重正・西原清東宛書翰	植木枝盛	広瀬重正・西原清東	9月15日						
85	2		広瀬重正・山田平左衛門宛	植木枝盛	広瀬重正・山田平左衛門	明治24年12月27日						
86	0	0	片岡健吉書翰 片岡啓太郎宛	片岡健吉	片岡啓太郎	4月28日付					1通	
87	0	0	大川周明書翰 中島久馬宛	大川周明	中島久馬						12通	
87	1		大川周明書翰 中島久馬宛	大川周明	中島久馬	4月20日						
87	2		大川周明書翰 中島久馬宛	大川周明	中島久馬	9月27日						
87	3		大川周明書翰 中島久馬宛	大川周明	中島久馬	7月11日						
87	4		大川周明書翰 中島久馬宛	大川周明	中島久馬	8月16日						
87	5		大川周明書翰 中島久馬宛	大川周明	中島久馬	7月30日						
87	6		大川周明書翰 中島久馬宛	大川周明	中島久馬	6月15日						
87	7		大川周明書翰 中島久馬宛	大川周明	中島久馬	8月20日						
87	8		大川周明書翰 中島久馬宛	大川周明	中島久馬	6月23日						
87	9		大川周明書翰 中島久馬宛	大川周明	中島久馬	5月26日						
87	10		大川周明書翰 中島久馬宛	大川周明	中島久馬	1月31日						
87	11		大川周明書翰 中島久馬宛	大川周明	中島久馬	8月14日						
87	12		大川周明書翰 中島久馬宛	大川周明	中島久馬	11月1日						
88	0	0	中島信行宛書翰		中島信行						6巻	
88	1		後藤象二郎書翰	後藤象二郎	中島信行						4通	
88	2		木戸孝允書翰	木戸孝允	中島信行						6通	
88	3		伊藤博文書翰	伊藤博文	中島信行						6通	
88	4		片岡健吉・浅野長勲・陸奥宗光書翰	片岡健吉・浅野長勲・陸奥宗光	中島信行						7通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
88	5		柳原前光書翰	柳原前光	中島信行						4通	
88	6		岩倉具視・三条実美書翰	岩倉具視・三条実美	中島信行						6通	
89	0	0	元田肇宛書翰		元田肇						31通	
89	1		早川千吉郎書翰	早川千吉郎	元田肇						1通	
89	2		金谷範三書翰	金谷範三	元田肇						1通	
89	3		神田鑄蔵書翰	神田鑄蔵	元田肇						1通	
89	4		粕谷義三書翰	粕谷義三	元田肇						1通	
89	5		川原茂輔書翰	川原茂輔	元田肇						1通	
89	6		小久保喜七書翰	小久保喜七	元田肇						1通	
89	7		近藤廉平書翰	近藤廉平	元田肇						1通	
89	8		馬越恭平書翰	馬越恭平	元田肇						1通	
89	9		三土忠造書翰	三土忠造	元田肇						1通	
89	10		宮田光雄書翰	宮田光雄	元田肇						1通	
89	11		望月小太郎書翰	望月小太郎	元田肇						1通	
89	12		小川平吉書翰	小川平吉	元田肇						3通	
89	13		岡崎邦輔書翰	岡崎邦輔	元田肇						2通	
89	14		奥繁三郎書翰	奥繁三郎	元田肇						3通	
89	15		大木遠吉書翰	大木遠吉	元田肇						1通	
89	16		大岡育造書翰	大岡育造	元田肇						1通	
89	17		大谷尊由書翰	大谷尊由	元田肇						1通	
89	18		住友吉左衛門書翰	住友吉左衛門	元田肇						1通	
89	19		徳川家達書翰	徳川家達	元田肇						1通	
89	20		豊川良平書翰	豊川良平	元田肇						1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
89	21		山本悌二郎書翰	山本悌二郎	元田肇						1通	
89	22		横田国臣書翰	横田国臣	元田肇						1通	
89	23		横田千之助書翰	横田千之助	元田肇						1通	
89	24		梁士@書翰	梁士@	元田肇						1通	
89	25		元田肇書翰草稿		元田肇						1通	
89	26		漢詩他		元田肇						1括	
90	0	0	児玉秀雄宛書翰		児玉秀雄						74通	
90	1		荒木貞夫書翰	荒木貞夫	児玉秀雄						1通	
90	2		原田熊吉カ書翰	原田熊吉カ	児玉秀雄						1通	
90	3		本庄繁書翰	本庄繁	児玉秀雄						1通	
90	4		今村修書翰	今村修	児玉秀雄						1通	
90	5		伊東巳代治書翰	伊東巳代治	児玉秀雄						1通	
90	6		児玉源太郎書翰	児玉源太郎	児玉秀雄						3通	
90	7		南次郎書翰	南次郎	児玉秀雄						29通	
90	8		三浦梧楼書翰	三浦梧楼	児玉秀雄						1通	
90	9		大村百蔵書翰	大村百蔵	児玉秀雄						1通	
90	10		斉藤実書翰	斉藤実	児玉秀雄						12通	
90	11		白川義則書翰	白川義則	児玉秀雄						6通	
90	12		田中義一書翰	田中義一	児玉秀雄					6通の内1通は石黒忠憲宛	6通	
90	13		寺内正毅書翰	寺内正毅	児玉秀雄						8通	
90	14		寺内寿一書翰	寺内寿一	児玉秀雄						3通	
91	0	0	浜口雄幸書翰 小野理戔局長宛	浜口雄幸	小野理戔局長						1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
92	0	0	松岡洋右書翰 東條英機宛	松岡洋右	東條英機						1通	『近代日本内閣史論』pp.348～355(翻刻・寄贈経緯)
93	0	0	品川弥二郎書翰(写)	品川弥二郎		明治27年6月				原資料は個人蔵。後日電子式複写可。	1通	
94	0	0	伝家至宝書翰								2巻	
94	1	1	三條実美書翰	三條実美		6月29日						
94	1	2	岩倉具視書翰	岩倉具視			5月14日、10月28日、6月8日					
94	1	3	大久保利通書翰	大久保利通		12月15日						
94	1	4	伊藤博文書翰	伊藤博文			2月10日、4月13日、21日、不明					
94	1	5	西郷従道書翰	西郷従道		2月18日						
94	1	6	覚書									
94	1	7	井上馨書翰	井上馨		7月29日						
94	1	8	森有礼書翰	森有礼								
94	1	9	佐々木高行書翰	佐々木高行		7月3日						
94	1	10	陸奥宗光書翰	陸奥宗光		6月10日						
94	1	11	神田孝平書翰	神田孝平		5月6日						
94	1	12	長岡護美書翰	長岡護美		4月30日						
94	1	13	三島通庸書翰	三島通庸		5月9日						
94	1	14	東久世通禧書翰	東久世通禧		8月12日						
94	2	1	三條実美書翰	三條実美			3月27日、不明					
94	2	2	覚書									
94	2	3	三條実美書翰	三條実美								
94	2	4	岩倉具視書翰	岩倉具視		4月3日						

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
94	2	5	覚書									
94	2	6	大久保利通書翰	大久保利通		6月9日						
94	2	7	伊藤博文書翰	伊藤博文			2月2日、10月22日					
94	2	8	副島種臣書翰	副島種臣		2月6日						
94	2	9	徳大寺実則書翰	徳大寺実則		6月5日						
94	2	10	大木喬任書翰	大木喬任		1月21日						
94	2	11	吉田清成書翰	吉田清成		6月29日						
94	2	12	中井弘書翰	中井弘		6日						
94	2	13	福羽美静書翰	福羽美静		8月21日						
94	2	14	柳原前光書翰	柳原前光		1月29日						
95	0	0	御宸翰写							複製	1通	
96	0	0	岩倉具視宛書翰		岩倉具視						1巻	
96	1		三条実美書翰	三条実美	岩倉具視						3通	
96	2		伊藤博文書翰	伊藤博文	岩倉具視						2通	
96	3		大久保利通書翰	大久保利通	岩倉具視						1通	
97	0	0	大久保利通書翰 五代友厚宛	大久保利通	五代友厚					複製、原資料は個人蔵。後日電子式複写可	1通	
98	0	0	岩倉具視書翰 久我他三名宛	岩倉具視	久我他三名					複製	1通	
99	0	0	伊藤博文書翰 桂宛	伊藤博文	桂					複製(原文書が「桂太郎文書」18-45にあり)	1通	
100	0	0	日高秩父宛書翰		日高秩父						15通	
100	1		阪正臣書翰	阪正臣	日高秩父						1通	
100	2		浜尾新書翰	浜尾新	日高秩父						1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
100	3		穂積八束書翰	穂積八束	日高秩父						1通	
100	4		本郷房太郎書翰	本郷房太郎	日高秩父						1通	
100	5		香川敬三書翰	香川敬三	日高秩父						1通	
100	6		香川敬三書翰	香川敬三	日高秩父						1通	
100	7		菊池大麓書翰	菊池大麓	日高秩父						1通	
100	8		九條道孝書翰 徳大寺実則宛	九條道孝	徳大寺実則						1通	
100	9		箕作元八書翰	箕作元八	日高秩父	大正8年4月20日					1通	
100	10		松方正義書翰	松方正義	日高秩父						1通	
100	11		松方正義書翰	松方正義	日高秩父						1通	
100	12		杉孫七郎書翰	杉孫七郎	日高秩父						1通	
100	13		田中光顕書翰	田中光顕	日高秩父						1通	
100	14		寺内正毅書翰	寺内正毅	日高秩父						1通	
100	15		徳川達孝書翰	徳川達孝	日高秩父						1通	
101	0	0	本間清雄宛書翰		本間清雄					複製後日電子式複写可	2通	
101	1		伊藤博文書翰	伊藤博文	本間清雄						1通	
101	2		西園寺公望書翰	西園寺公望	本間清雄						1通	
102	0	0	国貞家他宛書家書翰								28通	
102	1		山田信道他書翰 故国貞廉平宛	山田信道他	故国貞廉平						1通	
102	2		香川敬三書翰 国貞純一宛	香川敬三	国貞純一						1通	
102	3		木戸孝正書翰 国貞純一宛	木戸孝正	国貞純一						1通	
102	4		楠本正隆書翰 国貞宛	楠本正隆	国貞						1通	
102	5		楠本正隆書翰 国貞宛	楠本正隆	国貞						1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
102	6		佐々木高行書翰 国貞純一宛	佐々木高行	国貞純一						1通	
102	7		品川弥二郎書翰 国貞純一宛	品川弥二郎	国貞純一						1通	
102	8		杉孫七郎書翰 国貞宛	杉孫七郎	国貞						1通	
102	9		杉孫七郎書翰 国貞宛	杉孫七郎	国貞						1通	
102	10		杉孫七郎書翰 国貞宛	杉孫七郎	国貞						1通	
102	11		杉孫七郎書翰 国貞宛	杉孫七郎	国貞						1通	
102	12		林友房書翰 国貞廉平宛	林友房	国貞廉平						1通	
102	13		山尾庸三書翰 国貞純一宛	山尾庸三	国貞純一						1通	
102	14		山田顕義書翰 国貞純一宛	山田顕義	国貞純一						1通	
102	15		芳川顕正書翰 国貞廉平宛	芳川顕正	国貞廉平						1通	
102	16		山田顕義・松方正義書翰 国貞廉平宛	山田顕義・松方正義	国貞廉平						1通	
102	17		松方正義書翰 日下義雄宛	松方正義	日下義雄						1通	
102	18		平沼淑郎書翰 日下達子宛	平沼淑郎	日下達子						1通	
102	19		柳沢保恵書翰 大木遠吉宛	柳沢保恵	大木遠吉						1通	
102	20		宗重望書翰 大木宛	宗重望	大木						1通	
102	21		大木喬任書翰	大木喬任							1通	
102	22		大木遠吉書翰	大木遠吉							1通	
102	23		大木達子書翰	大木達子							1通	
102	24		不明書翰 大木宛	不明	大木						1通	
102	25		山尾庸三書翰 桧宛	山尾庸三	桧						1通	
102	26		小牧昌業書翰 奥並維宛	小牧昌業	奥並維						1通	
102	27		仙石貢書翰 大島博士宛	仙石貢	大島博士						1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
102	28		和田維四郎書翰 大島技術長宛	和田維四郎	大島技術長						1通	
103	0	0	諸家書翰								36通	
103	1		伊藤博文書翰 青木貞三宛	伊藤博文	青木貞三						1通	
103	2		伊東巳代治書翰 田中光顕宛	伊東巳代治	田中光顕						1通	
103	3		井上馨書翰 蜂須賀茂韶宛	井上馨	蜂須賀茂韶						1通	
103	4		楠本正隆書翰 蜂須賀茂韶宛	楠本正隆	蜂須賀茂韶						1通	
103	5		楠本正隆書翰 高山権次郎宛	楠本正隆	高山権次郎						1通	
103	6		楠本正隆書翰 高山権次郎・宇川盛三郎宛	楠本正隆	高山権次郎・宇川盛三郎						1通	
103	7		楠本正隆書翰 西村捨三宛	楠本正隆	西村捨三						1通	
103	8		鈴木昌司・大江卓・河野広中書翰	鈴木昌司・大江卓・河野広中							1通	
103	9		佐々友房書翰 須永清宛	佐々友房	須永清						1通	
103	10		佐々友房書翰 須永清宛	佐々友房	須永清						1通	
103	11		佐々友房書翰 遠山宛	佐々友房	遠山						1通	
103	12		佐々友房書翰 前田正名宛	佐々友房	前田正名						1通	
103	13		佐々友房書翰 河野虎雄宛	佐々友房	河野虎雄						1通	
103	14		佐々友房書翰 藤田一郎宛	佐々友房	藤田一郎						1通	
103	15		白根専一書翰 田中光顕宛	白根専一	田中光顕						1通	
103	16		長岡護美書翰 由利公正宛	長岡護美	由利公正						1通	
103	17		長岡護美書翰 鈴木成章宛	長岡護美	鈴木成章						1通	
103	18		長岡護美書翰 国谷繁実宛	長岡護美	国谷繁実						1通	







憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
108	2	14	渡忠秋書翰	渡忠秋							1通	
108	2	15	徳大寺実則書翰	徳大寺実則							1通	
108	2	16	荒木書翰	荒木							1通	
109	0	0	荒川巳次宛書翰		荒川巳次						2巻	
109	1		牧野伸顕書翰	牧野伸顕	荒川巳次	大正8年9月8日					1通	
109	2	1	吉井友実書翰	吉井友実	荒川巳次						1通	
109	2	2	吉井友実書翰	吉井友実	荒川巳次						1通	
109	2	3	吉井友実書翰	吉井友実	荒川巳次						1通	
109	2	4	吉井友実書翰	吉井友実	荒川巳次						1通	
109	2	5	吉井友実書翰	吉井友実	荒川巳次						1通	
109	2	6	吉井友実書翰	吉井友実	荒川巳次						1通	
109	2	7	吉井友実書翰	吉井友実	荒川巳次						1通	
109	2	8	吉井友実書翰	吉井友実	荒川巳次						1通	
109	2	9	吉井友実書翰	吉井友実	荒川巳次						1通	
109	2	10	吉井友実書翰	吉井友実	荒川巳次						1通	
109	2	11	吉井友実書翰	吉井友実	荒川巳次						1通	
109	2	12	吉井友実書翰	吉井友実	荒川巳次						1通	
110	0	0	三條実美公手翰 岩倉公宛長文	三條実美公	岩倉公						1巻	
111	0	0	高橋光威宛書翰		高橋光威						5通	
111	1		大木遠吉書翰	大木遠吉	高橋光威	[大正13年カ]10月23日				複製	1通	森直吉書翰 大木遠吉宛(大正13年10月22日)
111	2		森直吉書翰	森直吉	高橋光威	大正13年10月22日消印					1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
111	3		磯部四郎書翰 大木遠吉宛	磯部四郎	大木遠吉	大正11年7月8日					1通	
111	4		大木遠吉書翰	大木遠吉	高橋光威	(大正) 年3月31日					1通	
111	5		大木遠吉書翰	大木遠吉	高橋光威	(大正) 年1月29日					1通	
112	0	0	神田孝平書翰 桂川甫周他宛	神田孝平	桂川甫周他					複製	8通	
113	0	0	牧野伸顕書翰 関屋貞三郎宛	牧野伸顕	関屋貞三郎					福原録三郎書翰1通を含む	24通	
113	1		大正十四年八月二十二日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	2		大正十二年三月二十四日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	3		大正十一年二月十五日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	4		大正十五年四月三日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	5		大正十五年六月二十日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	6		大正十五年七月九日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	7		大正十五年七月二十八日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	8		昭和三年八月二十三日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	9		一月四日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	10		三月四日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	千葉寅三郎書翰 牧野伸顕宛(2月25日)を同封
113	11		三月十九日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	12		三月三十一日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	13		(大正十四年) 四月二日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	14		五月三十一日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	15		(大正十四年) 六月九日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
113	16		[大正十二年]七月二十五日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	17		[大正十三年]十一月七日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	18		十一月二十日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	19		十一月二十四日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	20		十二月一日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	21		十二月二十九日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	22		三日	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	23		日付ナシ	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
113	24		日付ナシ	牧野伸顕	関屋貞三郎						1通	
114	0	0	横川省三書翰	横川省三						複製。後日電子式複写可。	2通	
114	1		河村隈太郎宛	横川省三	河村隈太郎	明治34年6月6日					1通	
114	2		河村隈太郎宛	横川省三	河村隈太郎	明治34年7月4日					1通	
115	0	0	高橋光威宛書翰		高橋光威					複製。後日電子式複写可。	33通	
115	1		原敬書翰	原敬	高橋光威						2通	
115	2		原敬書翰	原敬	高橋光威						2通	
115	3		入澤達吉書翰	入澤達吉	高橋光威						2通	
115	4		伊東巳代治書翰	伊東巳代治	高橋光威						2通	
115	5		門野幾野進書翰	門野幾野進	高橋光威						2通	
115	6		金杉英五郎書翰	金杉英五郎	高橋光威						2通	
115	7		金子堅太郎書翰	金子堅太郎	高橋光威						2通	
115	8		小泉策太郎書翰	小泉策太郎	高橋光威						2通	
115	9		久原房之助書翰	久原房之助	高橋光威						2通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
115	10		牧野伸顕書翰	牧野伸顕	高橋光威						2通	
115	11		益田孝書翰	益田孝	高橋光威						2通	
115	12		松方正義書翰	松方正義	高橋光威						2通	
115	13		三浦梧楼書翰	三浦梧楼	高橋光威						2通	
115	14		三浦梧楼書翰	三浦梧楼	高橋光威						1通	
115	15		水野錬太郎書翰	水野錬太郎	高橋光威						1通	
115	16		水野錬太郎書翰	水野錬太郎	高橋光威						1通	
115	17		元田肇書翰	元田肇	高橋光威						1通	
115	18		中村雄次郎書翰	中村雄次郎	高橋光威						1通	
115	19		野田卯太郎書翰	野田卯太郎	高橋光威						1通	
115	20		野田卯太郎書翰	野田卯太郎	高橋光威						1通	
115	21		野田卯太郎書翰	野田卯太郎	高橋光威						1通	
115	22		岡野敬次郎書翰	岡野敬次郎	高橋光威						1通	
115	23		岡崎邦輔書翰	岡崎邦輔	高橋光威						1通	
115	24		岡崎邦輔書翰	岡崎邦輔	高橋光威						1通	
115	25		大岡育造書翰	大岡育造	高橋光威						1通	
115	26		千家尊福書翰	千家尊福	高橋光威						1通	
115	27		田中義一書翰	田中義一	高橋光威						1通	
115	28		田中義一書翰	田中義一	高橋光威						1通	
115	29		床次竹二郎書翰	床次竹二郎	高橋光威						1通	
115	30		徳富猪一郎書翰	徳富猪一郎	高橋光威						1通	
115	31		山本悌二郎書翰	山本悌二郎	高橋光威						1通	
115	32		渡辺千秋書翰	渡辺千秋	高橋光威						1通	
115	33		宋秉峻書翰	宋秉峻	高橋光威						1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
116	0	0	ローレンツ・フォン・シュタイン宛書翰		ローレンツ・フォン・シュタイン					シュタイン文書ケルン大学蔵複製。後日電子式複写可。	58通	
116	1		藤波言忠書翰	藤波言忠	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	2		藤波言忠書翰	藤波言忠	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	3		藤波言忠書翰	藤波言忠	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	4		藤波言忠書翰	藤波言忠	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	5		藤波言忠書翰	藤波言忠	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	6		藤波言忠書翰	藤波言忠	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	7		藤波言忠書翰	藤波言忠	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	8		藤波言忠書翰	藤波言忠	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	9		藤波言忠書翰	藤波言忠	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	10		藤波言忠書翰	藤波言忠	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
116	11		藤波言忠書翰	藤波言忠	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	12		藤波言忠書翰	藤波言忠	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	13		伊藤博文書翰	伊藤博文	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	14		伊藤博文書翰	伊藤博文	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	15		伊藤博文書翰	伊藤博文	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	16		伊藤博文書翰	伊藤博文	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	17		伊藤博文書翰	伊藤博文	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	18		伊藤博文書翰	伊藤博文	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	19		伊藤博文書翰	伊藤博文	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	20		伊東巳代治書翰	伊東巳代治	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	21		伊東巳代治書翰	伊東巳代治	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	22		海江田信義書翰	海江田信義	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
116	23		海江田信義書翰	海江田信義	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	24		海江田信義書翰	海江田信義	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	25		海江田信義書翰	海江田信義	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	26		海江田信義書翰	海江田信義	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	27		海江田信義書翰	海江田信義	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	28		河島醇書翰	河島醇	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	29		河島醇書翰	河島醇	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	30		黒田清隆書翰	黒田清隆	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	31		黒田清隆書翰	黒田清隆	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	32		黒田清隆書翰	黒田清隆	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	33		黒田清隆書翰	黒田清隆	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	34		黒田清隆書翰	黒田清隆	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
116	35		黒田清隆書翰	黒田清隆	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	36		松方正義書翰	松方正義	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	37		松方正義書翰	松方正義	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	38		松方正義書翰	松方正義	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	39		陸奥宗光書翰	陸奥宗光	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	40		陸奥宗光書翰	陸奥宗光	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	41		陸奥宗光書翰	陸奥宗光	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	42		陸奥宗光書翰	陸奥宗光	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	43		陸奥宗光書翰	陸奥宗光	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	44		陸奥宗光書翰	陸奥宗光	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	45		陸奥宗光書翰	陸奥宗光	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	46		陸奥宗光書翰	陸奥宗光	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
116	47		陸奥宗光書翰 (写し)	陸奥宗光	ローレンツ・フォン・シュタイン						2綴(同文)	
116	48		谷干城書翰	谷干城	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	49		谷干城書翰	谷干城	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	50		谷干城書翰	谷干城	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	51		渡辺廉吉書翰	渡辺廉吉	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	52		渡辺廉吉書翰	渡辺廉吉	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	53		渡辺廉吉書翰	渡辺廉吉	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	54		渡辺廉吉書翰	渡辺廉吉	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	55		渡辺廉吉書翰	渡辺廉吉	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	56		渡辺廉吉書翰	渡辺廉吉	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	57		渡辺廉吉書翰	渡辺廉吉	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	
116	58		渡辺廉吉書翰	渡辺廉吉	ローレンツ・フォン・シュタイン						1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
124	0	0	桂太郎書翰 松方正義宛	桂太郎	松方正義						1巻	
124	1		桂太郎書翰	桂太郎	松方正義		十一月十一日					
124	2		桂太郎書翰	桂太郎	松方正義		十月四日					
124	3		桂太郎書翰	桂太郎	松方正義		四月十三日					
125	0	0	明治維新諸名士書翰								1巻	
125	1		伊藤博文書翰 井上勝之助宛	伊藤博文	井上勝之助							
125	2		黒田清隆書翰 井上馨宛	黒田清隆	井上馨							
125	3		土方久元書翰 井上馨宛	土方久元	井上馨							
125	4		品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨							
125	5		芳川顕正書翰 井上馨宛	芳川顕正	井上馨							
125	6		山田顕義書翰 井上馨宛	山田顕義	井上馨							
125	7		桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨							
125	8		杉孫七郎書翰 井上馨宛	杉孫七郎	井上馨							
125	9		三宮義胤書翰 井上勝之助宛	三宮義胤	井上勝之助							
125	10		松岡康毅書翰 井上宛	松岡康毅	井上							
125	11		田中光顕書翰 井上馨宛	田中光顕	井上馨							
125	12		岩村通俊書翰 井上馨宛	岩村通俊	井上馨							
125	13		品川弥二郎書翰 井上馨宛	品川弥二郎	井上馨							
125	14		斎藤修一郎カ書翰 井上馨宛	斎藤修一郎カ	井上馨							
125	15		大谷光演カ書翰 井上馨宛	大谷光演カ	井上馨							
125	16		渋沢栄一書翰 青木周蔵宛	渋沢栄一	青木周蔵							
125	17		井上馨宛		井上馨							



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
125	18		仲 井上馨宛		井上馨							
125	19		渡辺千秋書翰 井上馨宛	渡辺千秋	井上馨							
126	0	0	木戸孝允書翰	木戸孝允							2巻	
126	1		九月一日	木戸孝允							1巻	
126	2		五月八日 八月十三日	木戸孝允							1巻	
127	0	0	岡田良平宛書翰		岡田良平					大日本報徳社蔵複製。後日電子式複写可。	36通	
127	1		江原素六	江原素六	岡田良平						5通	
127	2		浜田国松	浜田国松	岡田良平						1通	
127	3		古市公威	古市公威	岡田良平						1通	
127	4		井伊直安	井伊直安	岡田良平						1通	
127	5		石黒忠憲	石黒忠憲	岡田良平						4通	
127	6		町田忠治	町田忠治	岡田良平						1通	
127	7		阪本鈺之助	阪本鈺之助	岡田良平						8通	
127	8		沢柳政太郎	沢柳政太郎	岡田良平						7通	
127	9		幣原担	幣原担	岡田良平						1通	
127	10		鈴木馬左也	鈴木馬左也	岡田良平						3通	
127	11		床次竹二郎	床次竹二郎	岡田良平						1通	
127	12		( )長輝	( )長輝	岡田良平						1通	
127	13		千家尊福 (良一郎宛)	千家尊福	良一郎						1通	
127	14		石塚重平 (良一郎宛)	石塚重平	良一郎						1通	
128	0	0	MITFORD書翰	MITFORD		慶応2年8月～明治3年2月				複製。後日電子式複写可。	119点	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
129	0	0	群島忠次郎宛書翰		群島忠次郎						7巻	
129	1		荒尾精書翰 日清貿易研究所員宛	荒尾精	日清貿易研究所員						1通	
129	2		荒尾精書翰 日清貿易研究所員宛	荒尾精	日清貿易研究所員						3通	
129	3		平岡浩太郎書翰 群島忠次郎宛	平岡浩太郎	群島忠次郎						5通	
129	4		亡友遺墨 天 鐘崎三郎書翰 群島忠次郎宛	鐘崎三郎	群島忠次郎						10通	
129	5		亡友遺墨 地 福原林平、大熊鵬、猪田正吉書翰 群島宛	福原林平、大熊鵬、猪田正吉	群島						6通	
129	6		亡友遺墨 人 山崎恙三郎、楠内友次郎、山田良政書翰 群島忠次郎宛	山崎恙三郎、楠内友次郎、山田良政	群島忠次郎						12通	
129	7		旅順港町名雑考	群島忠次郎							1通	
130	0	0	尾崎三良書翰 児玉淳一郎宛	尾崎三良	児玉淳一郎						1通	
131	0	0	維新三傑書状巻								1巻	
131	1		西郷隆盛書翰 是枝良竹宛	西郷隆盛	是枝良竹							
131	2		木戸孝允書翰 関口隆吉宛	木戸孝允	関口隆吉							
131	3		大久保利通書翰 松方正義宛	大久保利通	松方正義							
132	0	0	伊沢修二書翰 安部井磐根宛	伊沢修二	安部井磐根						1通	
133	0	0	明治政財界名士書翰								49通	
133	1		河野広中書翰 福田喜同宛	河野広中	福田喜同						1通	
133	2		菅原時保カ書翰 福田喜同宛	菅原時保カ	福田喜同						1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
133	3		等々力森蔵書翰 福田喜三郎宛	等々力森蔵	福田喜三郎						1通	
133	4		織田萬書翰 古市公威宛	織田萬	古市公威						1通	
133	5		荒木寛六郎書翰 藤原謙造宛	荒木寛六郎	藤原謙造						1通	
133	6		小磯国昭書翰 藤原謙造宛	小磯国昭	藤原謙造						1通	
133	7		南天荘書翰 藤原謙造宛	南天荘	藤原謙造						1通	
133	8		勝田主計書翰 藤原謙造宛	勝田主計	藤原謙造						1通	
133	9		尾崎行雄書翰 五十嵐敬止宛	尾崎行雄	五十嵐敬止						1通	
133	10		渡辺華石書翰 五十嵐宛	渡辺華石	五十嵐						1通	
133	11		加藤正治書翰 五十嵐宛	加藤正治	五十嵐						1通	
133	12		添田寿一書翰 五十嵐慎一郎宛	添田寿一	五十嵐慎一郎						1通	
133	13		床次竹二郎書翰 石橋湛山宛	床次竹二郎	石橋湛山						1通	
133	14		松方正義書翰 九鬼隆一宛	松方正義	九鬼隆一						1通	
133	15		箕浦勝人書翰 栗原彦三郎宛	箕浦勝人	栗原彦三郎						1通	
133	16		松方幸次郎書翰 日下義雄宛	松方幸次郎	日下義雄						1通	
133	17		杉孫七郎書翰 日下義雄宛	杉孫七郎	日下義雄						1通	
133	18		牧野伸顕書翰 日下義雄宛	牧野伸顕	日下義雄						1通	
133	19		山川健次郎書翰 日下義雄宛	山川健次郎	日下義雄						1通	
133	20		東郷昌武書翰 前田正次宛	東郷昌武	前田正次						1通	
133	21		一戸兵衛書翰 沼田頼輔宛	一戸兵衛	沼田頼輔						1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
133	22		井上篤太郎書翰 沼田頼輔宛	井上篤太郎	沼田頼輔						1通	
133	23		阪谷芳郎書翰 阪谷希一宛	阪谷芳郎	阪谷希一						1通	
133	24		明石照男書翰 阪谷芳郎宛	明石照男	阪谷芳郎						1通	
133	25		平山成信書翰 阪谷芳郎宛	平山成信	阪谷芳郎						1通	
133	26		林権助書翰 関場不二彦宛	林権助	関場不二彦						1通	
133	27		菊亭修季書翰 関場不二彦宛	菊亭修季	関場不二彦						1通	
133	28		蜂須賀正韻書翰 添田寿一宛	蜂須賀正韻	添田寿一						1通	
133	29		土方久徴書翰 添田寿一宛	土方久徴	添田寿一						1通	
133	30		本郷初太郎書翰 添田寿一宛	本郷初太郎	添田寿一						1通	
133	31		藤沢幾之輔書翰 添田寿一宛	藤沢幾之輔	添田寿一						1通	
133	32		井上勝之助書翰 添田寿一宛	井上勝之助	添田寿一						1通	
133	33		石原健三書翰 添田寿一宛	石原健三	添田寿一						1通	
133	34		金子堅太郎書翰 添田寿一宛	金子堅太郎	添田寿一						1通	
133	35		粕谷義三書翰 添田寿一宛	粕谷義三	添田寿一						1通	
133	36		川崎八右衛門書翰 添田寿一宛	川崎八右衛門	添田寿一						1通	
133	37		近藤廉平書翰 添田寿一宛	近藤廉平	添田寿一						1通	
133	38		黒田長和書翰 添田寿一宛	黒田長和	添田寿一						1通	
133	39		松平恒雄書翰 添田寿一宛	松平恒雄	添田寿一						1通	
133	40		松崎蔵之助書翰 添田寿一宛	松崎蔵之助	添田寿一						1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
133	41		目賀田種太郎書翰 添田寿一宛	目賀田種太郎	添田寿一						1通	
133	42		中橋徳五郎書翰 添田寿一宛	中橋徳五郎	添田寿一						1通	
133	43		中島久万吉書翰 添田寿一宛	中島久万吉	添田寿一						1通	
133	44		大浦兼武書翰 添田寿一宛	大浦兼武	添田寿一						1通	
133	45		徳川家達書翰 添田寿一宛	徳川家達	添田寿一						2通	
133	46		渡辺千秋書翰 添田寿一宛	渡辺千秋	添田寿一						1通	
133	47		柳原義光書翰 添田寿一宛	柳原義光	添田寿一						1通	
133	48		山田三良書翰 山川端夫宛	山田三良	山川端夫						1通	
134	0	0	山縣有朋書翰 青木周蔵宛	山縣有朋	青木周蔵					青木周蔵文書 (その2)13へ	2通	
135	0	0	木戸孝允書翰 青木周蔵宛	木戸孝允	青木周蔵					青木周蔵文書 (その2)6へ	16通	
136	0	0	原敬書翰 天春文衛宛	原敬	天春文衛						1軸	
137	0	0	桂太郎書簡井上馨宛・寺内正毅書簡曾爾荒助宛								1軸	
137	1		桂太郎書翰 井上馨宛	桂太郎	井上馨						1軸	
137	2		寺内正毅書翰 曾爾荒助宛	寺内正毅	曾爾荒助							
138	0	0	明治元勲書翰								2軸	
138	1	1	三条実美書翰 岩倉具視宛	三条実美	岩倉具視						1軸	
138	1	2	岩倉具定書翰 宇田栗園宛	岩倉具定	宇田栗園							
138	1	3	岩倉具視書翰 三条実美宛	岩倉具視	三条実美							
138	1	4	徳大寺実則書翰 岩倉具視宛	徳大寺実則	岩倉具視							
138	2	1	三条実美書翰 岩倉具視宛	三条実美	岩倉具視						1軸	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
138	2	2	三条実美、岩倉具視書翰 大久保利通宛	三条実美、岩倉具視	大久保利通							
138	2	3	島津久光書翰 岩倉具視宛	島津久光	岩倉具視							
138	2	4	岩倉具視書翰 宛名なし	岩倉具視	宛名なし							
138	2	5	岩倉具視書翰草稿 天山坊宛	岩倉具視	天山坊							
139	0	0	清河八郎書翰	清河八郎							1軸	
140	0	0	大鳥圭介書翰 陸奥外務大臣宛	大鳥圭介	陸奥外務大臣						1軸	
141	0	0	伊藤博文書翰								3通	
141	1		伊藤博文書翰 青木周蔵宛	伊藤博文	青木周蔵	4月26日					1通	
141	2		伊藤博文書翰 青木周蔵宛	伊藤博文	青木周蔵	10月16日					1通	
141	3		伊藤博文書翰 井上馨宛	伊藤博文	井上馨	6月1日					1通	
142	0	0	三条実美書翰 岩倉具視宛	三条実美	岩倉具視						1通	
143	0	0	吉田茂書翰								2通	
143	1		吉田茂書翰	吉田茂		昭和20年9月2日					1通	
143	2		吉田茂書翰	吉田茂		12月19日					1通	
144	0	0	児玉源太郎書翰 伊藤博文宛	児玉源太郎	伊藤博文						1軸	
145	0	0	品川弥二郎書翰 伊藤博文宛	品川弥二郎	伊藤博文						1通	
146	0	0	末松謙澄家族宛書翰他							資料番号1489と関連	13点	
146	1		末松謙澄書翰	末松謙澄		明治9年1月16日					1通	
146	2		末松謙澄書翰	末松謙澄		明治11年2月18日					1通	
146	3		末松謙澄書翰	末松謙澄		明治11年2月28日					1通	
146	4		末松謙澄書翰	末松謙澄		明治11年3月5日					1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
150	3		黒川通軌書翰	黒川通軌							4通	
150	4		米田虎雄書翰	米田虎雄							1通	
150	5		佐久間左馬太書翰	佐久間左馬太							17通	
150	6		寺内正毅書翰 (桂太郎宛)	寺内正毅	(桂太郎)						2通	
150	7		乃木希典書翰 (黒川通軌宛)	乃木希典	(黒川通軌)						1通	
150	8		真木長義書翰 (桂太郎宛)	真木長義	(桂太郎)						1通	
150	9		山県有朋書翰 (桂太郎宛)	山県有朋	(桂太郎)						1通	
150	10		不明書翰 (桂太郎宛)	不明	(桂太郎)						1通	
150	11		意見書	平岩親徳カ							1通	
150	12		徳川斉昭書翰 林大学頭宛	徳川斉昭	林大学頭						2通	
151	0	0	山県有朋書翰 島尾小弥太宛	山県有朋	島尾小弥太						1通	
152	0	0	山県公外諸名氏書翰 一 (井上馨宛)	山県公外諸名氏	(井上馨)		山県有朋・三条実美(2通)・岩倉具視(2通)・岩倉具定・岩倉具視・杉孫七郎(2通)				1軸	
153	0	0	松岡洋右書翰 (竹内宛)	松岡洋右	(竹内)		10月31日、10月18日、11月19日				1軸	
154	0	0	伊藤仁太郎書翰 阿部唯一宛	伊藤仁太郎	阿部唯一	昭和10年6月					1通	
155	0	0	緒方竹虎書翰 河野恒吉宛	緒方竹虎	河野恒吉	昭和25年12月26日					1通	
156	0	0	伊藤博文書翰 黒田清隆宛	伊藤博文	黒田清隆	明治28年4月3日					1通	
157	0	0	木戸孝允書翰	木戸孝允							2巻	
157	1		森寺常德宛	木戸孝允	森寺常德						11通	
157	2		森寺常德宛	木戸孝允	森寺常德						11通	
158	0	0	三条実美書翰 (三条公恭宛)	三条実美	(三条公恭)						22点	





憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
159	1		水野忠敬書翰 水野重教宛	水野忠敬	水野重教	明治27年11月1日						
159	2		かね書翰 酔爺先生宛	かね	酔爺先生	(明治) 年 月16日						
159	3		某書翰 水亭先生宛	某	水亭先生	(明治) 年11月25日						
159	4		陸奥宗光書翰 水野重教宛	陸奥宗光	水野重教	明治18年8月18日						
159	5		陸奥宗光書翰 水野重教宛	陸奥宗光	水野重教	(明治) 年6月19日						
159	6		陸奥宗光書翰 水野重教宛	陸奥宗光	水野重教	明治19年7月5日						
159	7		陸奥宗光書翰 水野重教宛	陸奥宗光	水野重教	(明治) 年10月2日						
159	8		陸奥宗光書翰 水亭主人宛	陸奥宗光	水亭主人	(明治)						
159	9		中島信行書翰 水野重教宛	中島信行	水野重教	明治13年4月12日						
159	10		星亨書翰 水野重教宛	星亨	水野重教	明治15年1月8日						
159	11		某書翰 水野重教宛	某	水野重教	(明治) 年7月26日						
159	12		陸奥宗光書翰 水野重教宛	陸奥宗光	水野重教	(明治) 年1月4日						
159	13		某書翰 水野重教宛	某	水野重教	(明治) 年1月17日						
159	14		内田農商大臣秘書官書翰 水野重教宛	内田農商大臣秘書官	水野重教	明治23年10月4日						
159	15		陸奥宗光書翰 水野重教宛	陸奥宗光	水野重教	(明治) 年2月11日						
159	16		陸奥宗光書翰 酔爺老兄宛	陸奥宗光	酔爺老兄	(明治) 年8月17日						
159	17		伊藤博文書翰 水野重教宛	伊藤博文	水野重教	(明治) 年4月17日						
159	18		三好重臣書翰 水野重教宛	三好重臣	水野重教	(明治) 年5月28日						

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
159	19		三好重臣書翰 水野重教宛	三好重臣	水野重教	(明治) 年1月13日						
159	20		某書翰 水野重教宛	某	水野重教	(明治) 年5月1日						
159	21		水野忠敬書翰 水野重教宛	水野忠敬	水野重教	明治25年8月4日						
159	22		水野忠敬書翰 水野重教宛	水野忠敬	水野重教	明治26年11月13日						
160	0	0	若槻礼次郎書翰 高橋寿太郎宛	若槻礼次郎	高橋寿太郎	昭和5年9月9日					1通	
161	0	0	小坂順造関係文書								30点	
161	1		今井三郎	今井三郎		昭和13年5月14日					1通	
161	2		大橋新太郎	大橋新太郎		昭和14年9月11日					1通	
161	3		小原直	小原直		昭和30年7月14日					1通	
161	4		勝田重太郎	勝田重太郎		昭和30年5月11日					1通	
161	5		加藤(武男)	加藤(武男)		昭和32年1月10日					1通	
161	6		川北禎一	川北禎一		昭和30年8月26日					1通	
161	7		小泉信三	小泉信三		昭和31年4月3日					1通	
161	8		高碓達之助	高碓達之助		昭和29年8月26日					1通	
161	9	1	徳富猪一郎	徳富猪一郎		昭和28年8月4日					1通	
161	9	2	徳富猪一郎	徳富猪一郎		昭和30年1月14日					1通	
161	9	3	徳富猪一郎	徳富猪一郎		昭和30年9月13日					1通	
161	10		堀新	堀新		昭和29年4月10日					1通	
161	11		松永安左衛門	松永安左衛門		昭和31年4月26日					1通	
161	12		向井忠晴	向井忠晴		(昭和) 年8月18日					1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
161	13		和田豊作	和田豊作		昭和25年11月23日					1通	
161	14		渡辺千冬	渡辺千冬		昭和14年8月31日					1通	
161	15	1	吉田茂	吉田茂		(昭和2 年)10月12日					1通	名刺 1枚
161	15	2	吉田茂	吉田茂		昭和30年8月7日					1通	
161	15	3	吉田茂	吉田茂		昭和31年8月5日					1通	
161	15	4	吉田茂	吉田茂		昭和31年11月21日					1通	
161	15	5	吉田茂	吉田茂		昭和31年12月20日					1通	
161	15	6	吉田茂	吉田茂		昭和32年1月12日					1通	
161	15	7	吉田茂	吉田茂		(昭和) 年 月5日					1通	
161	16	1	小坂順造 (石橋湛山通産大臣宛)	小坂順造 (石橋湛山通産大臣宛)	(石橋湛山通産大臣)	(昭和3 年)11月12日					1通	
161	16	2	小坂順造 (吉田茂宛)	小坂順造	(吉田茂)	(昭和) 年8月6日					1通	
161	16	3	小坂順造 (吉田茂宛)	小坂順造	(吉田茂)	(昭和) 年9月30日					1通	
161	17		覚書	小坂順造		(昭和2 年)10月12日					1通	
161	18		加藤武男君へ梓川解散記念品贈呈方に関する始末書								1通	
161	19		小坂義雄財産調査			大正12年11月8日					1通	
161	20		新聞切抜				『信濃毎日新聞』昭和31年8月4日「山ろく清談 小坂順造氏」				1枚	
162	0	0	伊東巳代治書翰 伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文	明治25年2月29日					1巻	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
163	0	0	陸奥宗光書翰	陸奥宗光							2巻	
163	1		児玉仲兒宛	陸奥宗光	児玉仲兒	明治22年1月17日						
163	2		伊藤博文宛	陸奥宗光	伊藤博文	明治28年7月31日						
164	0	0	渋沢栄一書翰 藤山雷太宛	渋沢栄一	藤山雷太						1巻	
164	1		大正7年8月13日	渋沢栄一	藤山雷太							
164	2		大正7年8月20日(藤山雷太・中野武嘗宛)	渋沢栄一	藤山雷太・中野武嘗							
164	3		7月11日	渋沢栄一	藤山雷太							
164	4		大正2年5月31日	渋沢栄一	藤山雷太							
164	5		5月3日	渋沢栄一	藤山雷太							
164	6		大正8年4月29日	渋沢栄一	藤山雷太							
164	7		大正4年2月16日	渋沢栄一	藤山雷太							
164	8		11月24日	渋沢栄一	藤山雷太							
164	9		10月21日	渋沢栄一	藤山雷太							
164	10		大正2年5月26日	渋沢栄一	藤山雷太							
164	11		大正8年5月2日	渋沢栄一	藤山雷太							
164	12		10月14日	渋沢栄一	藤山雷太							
164	13		大正11年1月2日	渋沢栄一	藤山雷太							
165	0	0	加藤高明書翰 伊藤博文宛	加藤高明	伊藤博文	明治29年1月16日					1巻	
166	0	0	曾祢荒助宛書翰		曾祢荒助						1巻	
166	1		井上馨書翰	井上馨	曾祢荒助	6月13日					1通	
166	2		不明書翰	不明	曾祢荒助	10月22日					1通	
166	3		芳川顯正書翰	芳川顯正	曾祢荒助	6月16日					1通	
166	4		田中( ? )書翰	田中( ? )	曾祢荒助	9月17日					1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
166	5		山縣有朋書翰	山縣有朋	曾祢荒助	1月30日					1通	
166	6		松方正義書翰	松方正義	曾祢荒助	11月8日					1通	
166	7		児玉源太郎書翰	児玉源太郎	曾祢荒助	6月22日					1通	
166	8		清浦奎吾書翰	清浦奎吾	曾祢荒助	5月26日					1通	
166	9		品川弥二郎書翰	品川弥二郎	曾祢荒助	1月20日					1通	
166	10		青木周蔵書翰	青木周蔵	曾祢荒助	[明治32年]9月14日					1通	
166	11		不明書翰	不明	曾祢荒助	明治26年7月25日					1通	
166	12		平田東助書翰	平田東助	曾祢荒助	6月1日					1通	
166	13		不明書翰	不明	曾祢荒助	10月9日					1通	
167	0	0	大久保利通書翰								3通	
167	1		大久保利通書翰 岩倉具視宛	大久保利通	岩倉具視	5月23日					1通	
167	2		大久保利通書翰 岩倉具視宛	大久保利通	岩倉具視	6月7日					1通	
167	3		大久保利通書翰 岩倉具視宛	大久保利通	岩倉具視	12月7日					1通	
168	0	0	元田・萩両賢遺芳								2巻	
168	1		元田伝之丞(永孚)									
168	1	1	萩昌国宛		萩昌国	[安政6年]8月17日				元田伝之丞(永孚)	1通	
168	1	2	萩昌国宛		萩昌国	[文久元年]10月13日				元田伝之丞(永孚)	1通	
168	1	3	萩昌国宛		萩昌国	[文久元年カ]12月9日				元田伝之丞(永孚)	1通	
168	2		元田伝之丞・萩角兵卫									
168	2	1	萩昌国書翰 [萩]蘇源太宛	萩昌国	[萩]蘇源太	3月27日				元田伝之丞・萩角兵卫	1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
168	2	2	元田永孚書翰 萩昌国宛	元田永孚	萩昌国	(万延元年)4月12日				元田伝之丞・萩角兵卫	1通	
168	2	3	元田永孚書翰 萩昌国宛	元田永孚	萩昌国	6月12日				元田伝之丞・萩角兵卫	1通	
169	0	0	白根専一宛書翰		白根専一						1巻	
169	1		重成書翰 白根専一宛	重成	白根専一	4月22日					1通	
169	2		籠手田安定書翰 白根専一宛	籠手田安定	白根専一	3月13日					1通	
169	3		石田 書翰 白根専一宛	石田	白根専一	4月1日					1通	
169	4		平岡 書翰 白根専一宛	平岡	白根専一	11月16日					1通	
169	5		谷 書翰 白根専一宛	谷	白根専一	2月8日					1通	
169	6		不明 書翰 白根専一宛	不明	白根専一						1通	
169	7		白根専一書翰 竹内 宛	白根専一	竹内	20日					1通	
169	8		野村靖書翰 白根専一宛	野村靖	白根専一	5月29日					1通	
169	9		不明 書翰 山口 宛	不明	山口	7月18日					1通	
169	10		山田信道書翰 白根専一宛	山田信道	白根専一	9月21日					1通	
169	11		品川弥二郎書翰 白根専一宛	品川弥二郎	白根専一	16日					1通	
169	12		芳川顕正書翰 石黒次長宛	芳川顕正	石黒次長	21日					1通	
169	13		杉孫七郎書翰 白根専一宛	杉孫七郎	白根専一	10月18日					1通	
169	14		金井之恭書翰 白根専一宛	金井之恭	白根専一	12月15日					1通	
169	15		勝間田稔書翰 白根専一宛	勝間田稔	白根専一	2月14日					1通	
169	16		安田定則書翰 白根専一宛	安田定則	白根専一	10月8日					1通	
169	17		不明 書翰 白根専一宛	不明	白根専一	7月4日					1通	
170	0	0	中島雄宛書翰		中島雄						1巻	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
170	1		榎本武揚	榎本武揚	中島雄	(明治) 年7月4日					1通	
170	2		大久保一翁	大久保一翁	中島雄	(明治) 年8月24日					1通	
170	3		高平小五郎	高平小五郎	中島雄	(明治) 年3月5日					1通	
170	4		榎本多津子	榎本多津子	中島雄	(明治) 年9月27日					1通	
170	5		大鳥圭介	大鳥圭介	中島雄	明治22年7月25日					1通	
170	6		柳原前光	柳原前光	中島雄	明治22年7月31日					1通	
170	7		近藤真鋤	近藤真鋤	中島雄	(明治) 年7月31日					1通	
170	8		森有禮	森有禮	中島雄	(明治11年カ)11月26日					1通	
170	9		井上毅	井上毅	中島雄	(明治) 年6月17日					1通	
170	10		林董	林董	中島雄	明治32年12月15日					1通	
170	11		加藤高明	加藤高明	中島雄	明治27年12月19日					1通	
170	12		伊東巳代治	伊東巳代治	中島雄	(明治) 年 月 (28日カ)					1通	
170	13		田口卯吉	田口卯吉	中島雄	明治33年6月29日					1通	
170	14		島田三郎	島田三郎	中島雄	(明治) 年10月10日					1通	
170	15		大岡育造	大岡育造	中島雄	明治31年10月22日					1通	
170	16		大石正巳	大石正巳	中島雄	明治36年9月21日					1通	
170	17		徳富猪一郎(蘇峰)	徳富猪一郎(蘇峰)	中島雄	明治36年11月27日					1通	







憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
171	8	1	大久保利通宛	伊藤博文	大久保利通	(明治) 年6月22日				伊藤春畝与大久保甲東尺牘八		
171	8	2	大久保利通宛	伊藤博文	大久保利通	(明治9年)11月4日				伊藤春畝与大久保甲東尺牘八		
171	8	3	大久保利通宛	伊藤博文	大久保利通	(明治10年)2月10日				伊藤春畝与大久保甲東尺牘八		
171	9		伊藤春畝与大久保甲東尺牘九								1巻	
171	9	1	大久保利通宛	伊藤博文	大久保利通	(明治10年)4月10日				伊藤春畝与大久保甲東尺牘九		
171	9	2	大久保利通宛	伊藤博文	大久保利通	(明治9年)(10月)30日				伊藤春畝与大久保甲東尺牘九		
171	9	3	大久保利通宛	伊藤博文	大久保利通	(明治9年)12月26日				伊藤春畝与大久保甲東尺牘九		
171	9	4	大久保利通宛	伊藤博文	大久保利通	(明治9年)				伊藤春畝与大久保甲東尺牘九		
172	0	0	伊藤博文書翰	伊藤博文							1巻	
172	1		岩倉具視宛	伊藤博文	岩倉具視	(明治12年)8月8日						
172	2		三条実美・岩倉具視宛	伊藤博文	三条実美・岩倉具視	(明治) 年9月6日						
173	0	0	陸奥宗光書翰 伊藤博文宛	陸奥宗光	伊藤博文	(明治28年)					1巻	
174	0	0	大江卓書翰 西山志澄宛	大江卓	西山志澄	明治22年6月18日					1巻	
175	0	0	吉田茂関係書翰	吉田茂関係							4通	
175	1		佐藤尚武書翰 吉田茂宛	佐藤尚武	吉田茂	(昭和21年)11月4日					1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
175	2		吉田茂書翰 佐藤尚武宛	吉田茂	佐藤尚武	(昭和21年)11月4日					1通	
175	3		吉田茂書翰 佐藤尚武宛	吉田茂	佐藤尚武	(昭和21年)〔11月〕15日					1通	
175	4		吉田茂書翰 佐藤尚武宛	吉田茂	佐藤尚武	(明治24年)4月7日					1通	
176	0	0	伊藤博文書翰	伊藤博文							1巻	入江相政書翰 吉田秀雄宛 昭和53年10月11日
176	1		伊藤博文書翰 田中光顕宛	伊藤博文	田中光顕	(明治) 年3月6日						
176	2		田中(青山)光顕書翰 伏見晴信宛	田中(青山)光顕	伏見晴信	6月29日						
177	0	0	肥田景之宛書翰等								1巻	
177	1		桂太郎書翰 長井長義宛	桂太郎	長井長義	明治40年4月13日						
177	2		上原勇作書翰 肥田景之宛	上原勇作	肥田景之	明治40年1月27日						
177	3		犬養毅書翰 肥田景之宛	犬養毅	肥田景之	(大正13年カ)9月5日						
177	4		斎藤実書翰 肥田景之宛	斎藤実	肥田景之	12月3日						
177	5		添田寿一書翰 高橋是清宛	添田寿一	高橋是清	12月1日						
178	0	0	幕末維新名士書状								2巻	
178	1	1	雪髯(島義勇)書翰 二見一鷗斎(正則)宛	雪髯(島義勇)	二見一鷗斎(正則)	(明治6年カ) 月28日						
178	1	2	雪髯(島義勇)書翰 二見一鷗斎(正則)宛	雪髯(島義勇)	二見一鷗斎(正則)	(明治6年カ)9月2日						
178	1	3	雪髯(島義勇)書翰 二見一鷗斎(正則)宛	雪髯(島義勇)	二見一鷗斎(正則)	(明治6年カ)9月1日						
178	1	4	雪髯(島義勇)書翰 二見一鷗斎(正則)宛	雪髯(島義勇)	二見一鷗斎(正則)	(明治6年カ)8月23日						



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
181	1		品川弥二郎書翰 鳥山重信宛	品川弥二郎	鳥山重信	(明治17年)11月4日		墨書			1通	
181	2		品川弥二郎書翰 小野田(元熙カ)宛	品川弥二郎	小野田(元熙カ)	5月30日		墨書			1卷(1通)	
182	0	0	大久保利武書翰他								16通	
182	1		大久保利武書翰 牧野伸顕宛	大久保利武	牧野伸顕	(大正7年)(5月)19日		墨書			1通	
182	2		大久保利武書翰 牧野伸顕宛	大久保利武	牧野伸顕	大正7年9月8日		墨書			1通	
182	3		大久保利武書翰 牧野伸顕宛	大久保利武	牧野伸顕	大正7年9月27日		墨書			1通	
182	4		大久保利武書翰 牧野伸顕宛	大久保利武	牧野伸顕	大正10年3月4日		墨書			1通	
182	5		大久保利武書翰 牧野伸顕宛	大久保利武	牧野伸顕	大正10年4月9日		墨書			1通	
182	6		大久保利武書翰 牧野伸顕宛	大久保利武	牧野伸顕	大正10年4月9日		墨書			1通	
182	7		大久保利武書翰 牧野伸顕宛	大久保利武	牧野伸顕	昭和2年3月13日		墨書			1通	
182	8		大久保利武書翰 牧野伸顕宛	大久保利武	牧野伸顕	昭和2年8月30日		墨書			1通	
182	9		大久保利武書翰 牧野伸顕宛	大久保利武	牧野伸顕	(昭和2年)(12月)15日		墨書			1通	領収証 公爵島津家 牧野伯爵家宛 昭和2年12月14日 1枚
182	10		大久保利武書翰 牧野伸顕宛	大久保利武	牧野伸顕	昭和3年5月23日	財団法人岩倉公旧蹟保存会概況報告書	ガリ版		ガリ版	1通	
182	11		大久保利武書翰 牧野伸顕宛	大久保利武	牧野伸顕	4月12日		墨書			1通	
182	12		大久保利武書翰 牧野伸顕宛	大久保利武	牧野伸顕	5月27日		墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
182	13		大久保利武書翰 牧野峰子宛	大久保利武	牧野峰子	6月28日		墨書		182-10に同封	1通	
182	14		大久保利賢書翰 牧野伸顕宛	大久保利賢	牧野伸顕	5月28日		ペン			1通	
182	15		大久保 書翰 牧野伸顕宛	大久保	牧野伸顕	昭和10年2月20日 (消印)		墨書			1通	
182	16		照 書翰 (御奥様宛)	照	御奥様	5月17日		墨書		182-1に同封	1通	
183	0	0	清家信篤宛書翰								1巻	
183	1		題字・序文	元田肇		大正11年3月17日		墨書				
183	2		西郷従道書翰 清家信篤宛	西郷従道	清家信篤	明治26年1月18日		墨書				
183	3		品川弥二郎書翰 清家信篤宛 (断簡)	品川弥二郎	清家信篤	明治26年12月29日 (消印)		墨書				
183	4		末広重恭(鉄腸)書翰 清家信篤宛	末広重恭(鉄腸)	清家信篤	(明治) 年2月19日	末広の病氣 入院手術 河野氏へ委細お話ありがたし 解散後の選挙(?)は月割 お金がない 外に金策して返すしかないので心配	墨書				
183	5		楠本正隆書翰 清家信篤宛	楠本正隆	清家信篤	明治32年10月4日		墨書				
183	6		品川弥二郎書翰 清家信篤宛	品川弥二郎	清家信篤	明治28年12月18日		墨書				
183	7		一柳文也書翰 清家信篤宛	一柳文也	清家信篤	明治27年1月25日		墨書				
183	8		品川弥二郎書翰 清家信篤宛	品川弥二郎	清家信篤	明治27年1月22日		墨書				
183	9		小島惟謙書翰 清家信篤宛	小島惟謙	清家信篤	明治32年9月13日		墨書				
183	10		安場保和書翰 清家信篤・大浜繁四郎宛	安場保和	清家信篤・大浜繁四郎	(明治26年カ)10月20日		墨書				
183	11		鈴木重遠書翰 清家信篤宛	鈴木重遠	清家信篤	明治25年9月8日		墨書				
183	12		末広重恭(鉄腸)書翰 清家信篤宛	末広重恭(鉄腸)	清家信篤	(明治28年)3月27日		墨書				

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
184	0	0	末川久敬宛書翰								1巻	
184	1		種田[政明カ]書翰 末川久敬宛	種田[政明カ]	末川久敬	2月3日						
184	2		黒田清隆書翰 松村淳蔵(カ)・末川久敬宛	黒田清隆	松村淳蔵(カ)・末川久敬	(明治10年)2月19日	行在所より 鹿児島県下暴徒熊本県へ乱入二付征討 御助力願う					
184	3		川村純義書翰 末川久敬宛	川村純義	末川久敬	2月20日	下痢の丸薬					
184	4		大山巖書翰 末川久敬宛	大山巖	末川久敬	27日						
184	5		赤塚真成書翰 末川久敬宛	赤塚真成	末川久敬	3月16日						
184	6		桂久武書翰 末川久敬宛	桂久武	末川久敬							
184	7		中井弘書翰 末川久敬宛	中井弘	末川久敬	7月21日						
184	8		篠原国幹書翰 末川久敬宛	篠原国幹	末川久敬	7月28日						
184	9		勝海舟書翰 末川久敬宛	勝海舟	末川久敬	7月28日						
184	10		勝海舟書翰 末川久敬宛	勝海舟	末川久敬	7月29日						
184	11		篠原国幹書翰 末川久敬宛	篠原国幹	末川久敬	8月1日						
184	12		村田三介書翰 末川久敬宛	村田三介	末川久敬	明治5年11月27日						
184	13		村田三介書翰 末川久敬宛	村田三介	末川久敬	明治5年11月27日						
184	14		吉井友実書翰 末川久敬宛	吉井友実	末川久敬	12月14日						
184	15		[預り証](岡岩太郎 明治43年11月10日)、[黒田清隆・中井弘・勝海舟履歴]、他		末川			墨書	表具師岡墨光堂用箋		7点	
185	0	0	榎本武揚宛書翰								1巻	賀状? 1枚
185	1		松方正義書翰 榎本武揚宛	松方正義	榎本武揚	(明治25年)2月25日						
185	2		松方正義書翰 榎本武揚宛	松方正義	榎本武揚	(明治25年)2月26日						





憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
188	1		河野広体書翰山田春邇宛	河野広体	山田春邇	明治38年11月24日				東京焼討事件書状1巻のうちの1通		
188	2		近藤徳次書翰山田春邇宛	近藤徳次	山田春邇	(明治38年)11月24日				東京焼討事件1巻のうちの1通		
188	3		河野広中書翰山田春邇宛	河野広中	山田春邇	(明治38年)12月5日				東京焼討事件1巻のうちの1通		
188	4		山田春邇書翰河野広中宛	山田春邇	河野広中	明治38年11月23日				獄中の磐州に送りし書1巻のうちの1通		
188	5		河野広中書翰山田春邇宛	河野広中	山田春邇	7月9日				磐州書翰1巻のうちの1通		
188	6		河野広中書翰山田春邇宛	河野広中	山田春邇	8月20日				磐州書翰1巻のうちの1通		
188	7		河野広中書翰山田春邇宛	河野広中	山田春邇	5月5日				磐州書翰1巻のうちの1通		
188	8		寄書き(無得居士:河野広中、射山:小川平吉、柏蔭:大竹貫一、櫻井熊太郎)	(無得居士:河野広中、射山:小川平吉、柏蔭:大竹貫一、櫻井熊太郎)						扇面1面附:便箋(1枚)扇のついでに山田春邇のペン書きメモ		
189	0	0	三条実美・岩倉具視書翰								2巻	
189	1		三条実美書翰岩倉具視宛	三条実美	岩倉具視	(明治) 年10月5日					1巻	
189	2		岩倉具視書翰井上馨宛	岩倉具視	井上馨	(明治) 年3月26日					1巻	
190	0	0	木戸孝允書翰								1巻	
190	1		木戸孝允書翰北川清助宛	木戸孝允	北川清助	(明治) 年8月15日						







憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
197	4	1	原敬書翰 川真田徳三郎宛	原敬	川真田徳三郎	2月28日					1通	
197	4	2	蜂須賀茂韶書翰 川真田徳三郎宛	蜂須賀茂韶	川真田徳三郎	3月29日					1通	
197	4	3	大岡育造書翰 川真田徳三郎宛	大岡育造	川真田徳三郎	5月25日					1通	
197	4	4	大木喬任書翰 川真田徳三郎宛	大木喬任	川真田徳三郎	12月20日					1通	
197	4	5	後藤新平書翰 川真田徳三郎宛	後藤新平	川真田徳三郎	4月19日					1通	
197	4	6	大浦兼武書翰 川真田徳三郎宛	大浦兼武	川真田徳三郎	3月24日					1通	
197	4	7	松岡康毅書翰 川真田徳三郎宛	松岡康毅	川真田徳三郎	11月27日					1通	
197	4	8	後藤新平書翰 川真田徳三郎宛	後藤新平	川真田徳三郎	9月14日					1通	
197	4	9	寺内正毅書翰 川真田徳三郎宛	寺内正毅	川真田徳三郎	5月4日					1通	
198	0	0	陸奥宗光書翰 伊藤博文宛	陸奥宗光	伊藤博文	(明治27年)7月28日				『伊藤博文関係文書』第7(塙書房)p.296に収録。	1通	
199	0	0	明治元勲諸公書翰								1巻	
199	1		伊藤博文書翰 土方久元宛	伊藤博文	土方久元	8月14日					1通	
199	2		香川敬三書翰 土方久元宛	香川敬三	土方久元	1月6日					1通	
199	3		岩村通俊書翰 土方久元宛	岩村通俊	土方久元	10月6日					1通	
199	4		佐々木高行書翰 土方久元宛	佐々木高行	土方久元	6月6日					1通	
199	5		鍋島直彬書翰 土方久元宛	鍋島直彬	土方久元	9月16日					1通	
199	6		浅野長勲書翰 土方久元宛	浅野長勲	土方久元	5月25日					1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
199	7		芳川顕正書翰 土方久元宛	芳川顕正	土方久元	11月10日					1通	
199	8		柳原前光書翰 土方久元宛	柳原前光	土方久元	12月18日					1通	
199	9		徳川家達書翰 土方久元宛	徳川家達	土方久元	明治41年12月7日					1通	
199	10		福羽美静書翰 土方久元宛	福羽美静	土方久元	8月26日					1通	
199	11		田中光顕書翰 土方久元宛	田中光顕	土方久元	11月15日					1通	
199	12		(碓太郎)書翰 土方久元宛	(碓太郎)	土方久元	4月6日					1通	
199	13		関義臣書翰 土方久元宛	関義臣	土方久元	12月17日					1通	
199	14		三島毅書翰 土方久元宛	三島毅	土方久元	9月23日					1通	
199	15		股野琢書翰 土方久元宛	股野琢	土方久元	2月27日					1通	
199	16		山県有朋書翰 土方久元宛	山県有朋	土方久元	8月27日					1通	
200	0	0	山県有朋書翰								2巻	
200	1		山県有朋書翰(代筆) 高平小五郎宛	山県有朋(代筆)	高平小五郎	(明治36年)10月21日					1巻	
200	2		山県有朋書翰(代筆) 高平小五郎宛	山県有朋(代筆)	高平小五郎	明治41年7月28日					1巻	
201	0	0	三条実美書翰 大聖寺藩知事宛	三条実美	大聖寺藩知事	(明治) 年12月21日					1通	
202	0	0	明治顕官尺牘								1巻	
202	1		仲少路廉書翰 大隈重信宛	仲少路廉	大隈重信	4月7日					1通	
202	2		阪谷芳郎書翰 西園寺公望宛	阪谷芳郎	西園寺公望	1月11日					1通	
202	3		阪谷芳郎書翰 杉竹二郎宛	阪谷芳郎	杉竹二郎	10月24日					1通	
202	4		山田顕義書翰 山県有朋宛	山田顕義	山県有朋	4月23日					1通	
202	5		河瀬真孝書翰 桂太郎宛	河瀬真孝	桂太郎	6月15日					1通	
202	6		大浦兼武書翰 南宏宛	大浦兼武	南宏	6月18日					1通	
202	7		股野琢書翰 南宏宛	股野琢	南宏	6月19日					1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
202	8		高橋新吉書翰 西園寺公望宛	高橋新吉	西園寺公望	6月27日					1通	
202	9		土方久元書翰 大隈重信宛	土方久元	大隈重信	大正3年10月16日					1通	
202	10		嘉納治五郎書翰 西園寺公望宛	嘉納治五郎	西園寺公望	10月28日					1通	
202	11		西園寺公望メモ断片(10枚分)	西園寺公望							10枚	
203	0	0	山梨半造書翰	山梨半造							1巻	
203	1		山梨半造書翰 福原俊丸宛	山梨半造	福原俊丸	1月25日					1通	
203	2		山梨半造書翰 福原俊丸宛	山梨半造	福原俊丸	5月16日					1通	
204	0	0	各見天真書巻				題 鷲堂、跋 欽堂孝人				1巻	「第2回名士尺牘原稿類抽選分譲会」1枚(第27番が本巻に該当)
204	1		平田東助書翰 井上侯爵[馨]宛	平田東助	井上侯爵[馨]	3月24日					1通	
204	2		大浦兼武書翰 井上侯爵[馨]宛	大浦兼武	井上侯爵[馨]	8月21日					1通	
204	3		林董書翰 井上侯爵[馨]宛	林董	井上侯爵[馨]	10月9日					1通	
204	4		小田切万寿之助書翰 井上[馨]宛	小田切万寿之助	井上[馨]	6月18日					1通	
204	5		水町袈裟六書翰 井上侯爵[馨]宛	水町袈裟六	井上侯爵[馨]	9月17日					1通	
205	0	0	記念書翰(亡年知友書翰)								1巻	
205	1		山県有朋書翰 山県伊三郎宛	山県有朋	山県伊三郎	1月24日					1通	
205	2		山県伊三郎書簡 鉄蕉宛	山県伊三郎	鉄蕉	10月23日					1通	
205	3		安場保和書翰 鉄蕉宛	安場保和	鉄蕉	12月8日					1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
205	4		加藤弘之書翰 緒方正規宛	加藤弘之	緒方正規	明治40年3月10日					1通	
205	5	1	鉄蕉書翰 岡千刃宛	鉄蕉	岡千刃	明治35年1月5日					1通	
205	5	2	岡千刃書翰 鉄蕉宛(朱字)	岡千刃	鉄蕉	1月10日					1通	
205	6		荒尾精書翰 鉄蕉宛	荒尾精	鉄蕉	10月6日					1通	
205	7		津田精一書翰	津田精一		10月20日					1通	
206	0	0	山県有朋書翰 伊藤博文宛							伊藤博文関係文書第8(塙書房)に収録。	4通	
206	1		山県有朋書翰 伊藤博文宛	山県有朋	伊藤博文	(明治20年)1月24日				伊藤博文関係文書第8(塙書房)118ページに収録。	1通	
206	2		山県有朋書翰 伊藤博文宛	山県有朋	伊藤博文	(明治20年)5月18日				伊藤博文関係文書第8(塙書房)118ページに収録。	1通	
206	3		山県有朋書翰 伊藤博文宛	山県有朋	伊藤博文	(明治20年)9月23日				伊藤博文関係文書第8(塙書房)119ページに収録。	1通	
206	4		山県有朋書翰 伊藤博文宛	山県有朋	伊藤博文	(明治20年)9月6日				伊藤博文関係文書第8(塙書房)133ページに収録。	1通	
207	0	0	山県有朋書簡								12通	
207	1		山県有朋書簡 伊藤博文宛	山県有朋	伊藤博文	(明治27年)8月8日		墨書		伊藤博文関係文書第8(塙書房)133ページ 91に収録。	1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
207	2		山県有朋書簡 伊藤博文宛	山県有朋	伊藤博文	(明治26年)8月27日		墨書		『伊藤博文関係文書』第8(塙書房)131ページ 84に収録。	1通	
207	3		山県有朋書簡 伊藤博文宛	山県有朋	伊藤博文	(明治26年)5月20日		墨書		『伊藤博文関係文書』第8(塙書房)131ページ 83に収録。	1通	
207	4		山県有朋書簡 伊藤博文宛	山県有朋	伊藤博文	(明治19年)11月18日		墨書		『伊藤博文関係文書』第8(塙書房)118ページ 49に収録。	1通	
207	5		山県有朋書簡 伊藤博文宛	山県有朋	伊藤博文	(明治19年)1月14日		墨書		『伊藤博文関係文書』第8(塙書房)114ページ 39に収録。	1通	
207	6		山県有朋書簡 伊藤博文宛	山県有朋	伊藤博文	(明治) 年7月21日		墨書		『伊藤博文関係文書』第8(塙書房)143ページ 124に収録。	1通	
207	7		山県有朋書簡 伊藤博文宛	山県有朋	伊藤博文	(明治) 年10月10日		墨書		『伊藤博文関係文書』第8(塙書房)145ページ 133に収録。	1通	
207	8		山県有朋書簡 伊藤博文宛	山県有朋	伊藤博文	(明治19年)4月26日		墨書		『伊藤博文関係文書』第8(塙書房)115ページ 41に収録。	1通	
207	9		山県有朋書簡 伊藤博文宛	山県有朋	伊藤博文	(明治26年)10月1日		墨書		『伊藤博文関係文書』第8(塙書房)131ページ 85に収録。	1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
212	2		「條約改正之標準序」渡辺国武識	渡辺国武		明治25年4月					1通	
212	3		「條約改正標準序」細川潤次郎撰	細川潤次郎		明治25年4月					1通	
212	4		佐々友房書簡 葉袋義一宛	佐々友房	葉袋義一	(明治32年カ)4月27日	大阪行の件				1通	
212	5		大井憲太郎書簡 渡辺宛	大井憲太郎	渡辺	3月9日	参邸予定				1通	
212	6		高橋健三書簡 大井(憲太郎)宛	高橋健三	大井(憲太郎)		関西懇親会の件				1通	
212	7		頭山満書簡 大井(憲太郎)宛	頭山満	大井(憲太郎)		面会願				1通	
212	8		(山本憲)カ書簡	(山本憲)カ			協議の顛末如何				1通	
212	9		(山本憲)カ書簡	(山本憲)カ			演説会代演の件				1通	
212	10		跋 山本憲	山本憲		大正13年3月					1通	
212	11		山本憲書簡 渡辺得次郎(月橋)宛	山本憲	渡辺得次郎(月橋)	大正13年3月22日	近況報告				1通	
213	0	0	松村修平宛書簡							松村修平: 貴族院多額納税者議員(明治30年9月~31年7月、37年9月~44年9月)、茨城出身。	1巻	
213	1		金井之恭書簡 松村修平宛	金井之恭	松村修平	2月25日	古川鉄耕紹介				1通	
213	2		仲輔書簡 松村修平宛	仲輔	松村修平	7月24日	済生会義金の件				1通	
213	3		(森山)茂カ書簡 松村修平宛	(森山)茂カ	松村修平	12月28日	面会願				1通	
213	4		足立(綱之)カ書簡 松村修平宛	足立(綱之)カ	松村修平	4月19日	礼状				1通	
213	5		(船越)衛書簡 松村修平宛	(船越)衛	松村修平	1月27日	茶菓贈呈				1通	
213	6		黒田長成書簡 松村修平宛	黒田長成	松村修平	明治30年9月30日	当選祝				1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
213	7		(大浦)兼武書簡 松村修平宛	(大浦)兼武	松村修平	12月26日	礼状				1通	
213	8		(小野田)元熙書簡 松村修平宛	(小野田)元熙	松村修平	10月11日	都合伺				1通	
213	9		末松謙澄書簡 松村修平宛	末松謙澄	松村修平		貴族院議員当選祝				1通	
213	10		森正隆書簡 松村修平宛	森正隆	松村修平	5月19日	寄付金へのお礼				1通	
213	11		柏田(盛文)書簡 松村修平宛	柏田(盛文)	松村修平	6月3日	会社設立基金依頼				1通	
213	12		寺原長輝書簡 松村修平宛	寺原長輝	松村修平	1月17日	戦病死者招魂祭发起人依頼				1通	
213	13		野村素介書簡 松村修平宛	野村素介	松村修平	2月7日	面会願				1通	
214	0	0	木原常三宛書簡								4通	
214	1		真崎甚三郎書簡 木原常三宛	真崎甚三郎	木原常三	7月24日	往時を追想、お目にかかり度も、何分寸暇なく、面会の時を定める約束出来難し。				1通	
214	2		真崎甚三郎書簡 木原常三宛	真崎甚三郎	木原常三	8月24日	多忙、面会の日時約束困難、役所に於ては午前九時前後、十二時前後少時御目にかかり得べく候。				1通	
214	3		永井柳太郎書簡 木原常三宛	永井柳太郎	木原常三	8月3日	寸暇なき状態、秘書官に官邸にて午後、御面会被遊ては如何。				1通	
214	4		木原常三の「遺書」(コピー)	木原常三		昭和15年12月13日	木原常三の自叙。昭和49年10月表装の記載。				1点	
215	0	0	幣原喜重郎書簡	幣原喜重郎	秋元俊吉						15通	
215	1		幣原喜重郎書簡 秋元俊吉宛	幣原喜重郎	秋元俊吉	昭和2年11月16日					1通	
215	2		幣原喜重郎書簡 秋元俊吉宛	幣原喜重郎	秋元俊吉	昭和4年3月10日					1通	
215	3		幣原喜重郎書簡 秋元俊吉宛	幣原喜重郎	秋元俊吉	昭和4年6月6日					1通	
215	4		幣原喜重郎書簡 秋元俊吉宛	幣原喜重郎	秋元俊吉	昭和7年7月20日					1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
215	5		幣原喜重郎書簡 秋元俊吉宛	幣原喜重郎	秋元俊吉	昭和8年2月16日					1通	
215	6		幣原喜重郎書簡 秋元俊吉宛	幣原喜重郎	秋元俊吉	昭和8年4月21日					1通	
215	7		幣原喜重郎書簡 秋元俊吉宛	幣原喜重郎	秋元俊吉	昭和8年12月2日					1通	
215	8		幣原喜重郎書簡 秋元俊吉宛	幣原喜重郎	秋元俊吉	昭和9年11月4日					1通	
215	9		幣原喜重郎書簡 秋元俊吉宛	幣原喜重郎	秋元俊吉	昭和9年11月4日					1通	
215	10		幣原喜重郎書簡 秋元俊吉宛	幣原喜重郎	秋元俊吉	昭和13年9月2日				封筒の消印は9月1日	1通	
215	11		幣原喜重郎書簡 秋元俊吉宛	幣原喜重郎	秋元俊吉	昭和13年10月17日					1通	
215	12		幣原喜重郎書簡 秋元俊吉宛	幣原喜重郎	秋元俊吉	(戦前)8月5日					1通	
215	13		幣原喜重郎書簡 秋元俊吉宛	幣原喜重郎	秋元俊吉	昭和24年1月19日					1通	
215	14		幣原喜重郎書簡 秋元俊吉宛	幣原喜重郎	秋元俊吉	昭和24年9月18日					1通	
215	15		幣原喜重郎書簡 秋元俊吉宛	幣原喜重郎	秋元俊吉	昭和25年9月25日					1通	
216	0	0	芳川顕正書簡								6通	
216	1		芳川顕正書簡 井上哲次郎宛	芳川顕正	井上哲次郎	(明治24年)6月25日		墨書			1通	
216	2		芳川顕正書簡 永井宛	芳川顕正	永井	(明治24年)6月25日		墨書			1通	
216	3		芳川顕正書簡 井上哲次郎宛	芳川顕正	井上哲次郎	(明治24年)6月29日		墨書			1通	
216	4		芳川顕正書簡 井上哲次郎宛	芳川顕正	井上哲次郎	(明治24年)8月3日		墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
216	5		芳川顕正書簡 井上哲次郎宛	芳川顕正	井上哲次郎	明治24年8月16日		墨書			1通	
216	6		芳川顕正書簡 井上哲次郎宛	芳川顕正	井上哲次郎	(明治24年)9月9日		墨書			1通	
217	0	0	伊藤博文来簡集								1巻	
217	1		西郷従道書簡 伊藤博文宛	西郷従道	伊藤博文			墨書			1通	
217	2		黒田清隆書簡 伊藤博文宛	黒田清隆	伊藤博文	8月24日		墨書			1通	
217	3		三条実美書簡 伊藤博文宛	三条実美	伊藤博文	12月30日		墨書			1通	
217	4		吉井友実書簡 伊藤博文宛	吉井友実	伊藤博文	7月20日		墨書			1通	
217	5		松方正義書簡 伊藤博文宛	松方正義	伊藤博文	3月16日		墨書			1通	
217	6		土方久元書簡 伊藤博文宛	土方久元	伊藤博文	2月22日		墨書			1通	
217	7		西園寺公望書簡 伊藤博文宛	西園寺公望	伊藤博文	12月1日		墨書			1通	
217	8		山県有朋書簡 伊藤博文宛	山県有朋	伊藤博文	12月29日		墨書			1通	
217	9		岩倉具視書翰 伊藤博文宛	岩倉具視	伊藤博文	9月18日		墨書			1通	
217	10		品川弥二郎書簡 伊藤博文宛	品川弥二郎	伊藤博文	4月23日		墨書			1通	
217	11		陸奥宗光書簡 伊藤博文宛	陸奥宗光	伊藤博文	3月19日		墨書			1通	
217	12		井上馨書簡 伊藤博文宛	井上馨	伊藤博文	11月22日		墨書			1通	
217	13		桂太郎書簡 伊藤博文宛	桂太郎	伊藤博文	12月15日		墨書			1通	
217	14		伊東巳代治書簡 伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文	1月22日		墨書			1通	
218	0	0	(徳大寺実則関係書簡)								1巻	
218	1		有栖川宮威仁親王書簡 徳大寺実則宛	有栖川宮威仁親王	徳大寺実則	4月9日					1通	
218	2		三条実美書簡 徳大寺実則宛	三条実美	徳大寺実則	11月4日					1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
218	3		岩倉具定書簡 徳大寺実則宛	岩倉具定	徳大寺実則	10月18日					1通	
218	4		中山孝麿書簡 徳大寺実則宛	中山孝麿	徳大寺実則	9月8日					1通	
218	5		西園寺公望書簡 徳大寺実則宛	西園寺公望	徳大寺実則	1月6日					1通	
218	6		杉孫七郎書簡 徳大寺実則宛	杉孫七郎	徳大寺実則	9月4日					1通	
218	7		小村寿太郎書簡 徳大寺実則宛	小村寿太郎	徳大寺実則	10月6日					1通	
218	8		花房義質書簡 徳大寺実則宛	花房義質	徳大寺実則	5月3日					1通	
218	9		土方久元書簡 徳大寺実則宛	土方久元	徳大寺実則	8月30日					1通	
218	10		徳大寺実則和歌 高崎宛	徳大寺実則	高崎						1通	
218	11		徳大寺実則メモ 徳大寺留守邸宛	徳大寺実則	徳大寺留守邸						1通	
218	12		徳大寺実則書簡 宮内大臣宛	徳大寺実則	宮内大臣	12月24日					1通	
218	13		徳大寺実則書簡 宮内大臣宛	徳大寺実則	宮内大臣	1月6日					1通	
219	0	0	伊藤博文宛書簡								2通	
219	1		金子堅太郎書簡	金子堅太郎	伊藤博文	(明治35年)8月7日		墨書		『伊藤博文関係文書』3(塙書房、1975年)p.381に翻刻あり。	1通	
219	2		桂太郎、高島鞆之助書簡	桂太郎、高島鞆之助	伊藤博文	(明治) 年7月30日		墨書		『伊藤博文関係文書』4(塙書房、1976年)p.75に翻刻あり。	1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
220	0	0	井上毅書簡 黒田宛	井上毅	黒田	(明治) 年1月27日		墨書			1通	
221	0	0	大久保利通書簡					墨書			1巻	
221	1		門脇少蔵(重綾)、岩下左二(左次右衛門方平)宛	大久保利通	門脇少蔵(重綾)、岩下左二(左次右衛門方平)	(明治2年)3月29日				『大久保利通文書 第三』所収。	1通	
221	2		松方正義宛	大久保利通	松方正義						1通	
222	0	0	木堂先生尺牘(犬養毅書簡集)					墨書			3巻	
222	1	1	犬養毅書簡 木下謙太郎宛	犬養毅	木下謙太郎	7月17日					1通	
222	1	2	犬養毅書簡 木下謙太郎宛	犬養毅	木下謙太郎	12月31日					1通	
222	1	3	犬養毅書簡 木下謙太郎宛	犬養毅	木下謙太郎	1月2日					1通	
222	1	4	犬養毅書簡 木下謙太郎宛	犬養毅	木下謙太郎	2月3日					1通	
222	1	5	犬養毅書簡 木下賢太郎宛	犬養毅	木下賢太郎	(大正5年)3月17日				『犬養木堂書簡集』所収。	1通	
222	2	1	犬養毅書簡 「鹿島民友会諸君」宛	犬養毅	「鹿島民友会諸君」	4月13日					1通	
222	2	2	犬養毅書簡 木下賢太郎宛	犬養毅	木下賢太郎	9月19日					1通	
222	2	3	犬養毅書簡 木下賢太郎宛	犬養毅	木下賢太郎	2月3日					1通	
222	2	4	犬養毅書簡 木下賢太郎宛	犬養毅	木下賢太郎	2月8日					1通	
222	2	5	犬養毅書簡 木下賢太郎宛	犬養毅	木下賢太郎	2月10日					1通	
222	2	6	犬養毅書簡 木下賢太郎宛	犬養毅	木下賢太郎	2月25日					1通	
222	3	1	犬養毅書簡 木下賢太郎宛	犬養毅	木下賢太郎	8月11日					1通	
222	3	2	犬養毅書簡 木下賢太郎宛	犬養毅	木下賢太郎	2月21日					1通	
222	3	3	犬養毅書簡 木下賢太郎宛	犬養毅	木下賢太郎	1月12日					1通	
222	3	4	犬養毅書簡 木下賢太郎宛	犬養毅	木下賢太郎	5月22日					1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
222	3	5	犬養毅書簡 宛名なし	犬養毅		昭和2年9月					1通	
222	3	6	桜井一久書簡 池部宛	桜井一久	池部	5月12日					1通	
222	3	7	島田三郎書簡 木下賢太郎宛	島田三郎	木下賢太郎	7月3日					1通	
223	0	0	木堂簡札(犬養毅書簡集)					墨書			2巻	
223	1		蓬頭垢面(木堂自題)								1巻	
223	1	1	犬養毅書簡 佐藤栄八宛	犬養毅	佐藤栄八	1月22日					1通	
223	1	2	犬養毅書簡 佐藤永利宛	犬養毅	佐藤永利	7月22日					1通	
223	1	3	犬養毅書簡 佐藤栄八宛	犬養毅	佐藤栄八	9月26日					1通	
223	1	4	犬養毅書簡 佐藤栄八宛	犬養毅	佐藤栄八	10月4日					1通	
223	1	5	犬養毅書簡 佐藤栄八宛	佐藤栄八	佐藤栄八	2月13日				『新編犬養木堂書簡集』所収。	1通	
223	1	6	犬養毅書簡 佐藤栄八宛	犬養毅	佐藤栄八	2月16日夜					1通	
223	1	7	犬養毅書簡 佐藤栄八宛	犬養毅	佐藤栄八	4月28日					1通	
223	1	8	犬養毅書簡 佐藤永利宛	犬養毅	佐藤永利	4月28日					1通	
223	1	9	犬養毅書簡 (佐藤栄八)宛	犬養毅	(佐藤栄八)	大正12年4月				『新編犬養木堂書簡集』所収。	1通	
223	2		脑中亂塗(木堂自題)								1巻	
223	2	1	犬養毅書簡 佐藤栄八宛	犬養毅	佐藤栄八	5月9日					1通	
223	2	2	犬養毅書簡 佐藤(栄八)宛	犬養毅	佐藤(栄八)	2月12日				『新編犬養木堂書簡集』所収。	1通	
223	2	3	犬養毅書簡 佐藤(栄八)宛	犬養毅	佐藤(栄八)	6月10日					1通	
223	2	4	犬養毅書簡 佐藤栄八宛	犬養毅	佐藤栄八	6月13日深夜					1通	

## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
223	2	5	犬養毅書簡 佐藤永利・佐藤栄八宛	犬養毅	佐藤永利・佐藤栄八	6月1日					1通	
223	2	6	犬養毅書簡 佐藤(栄八)宛	犬養毅	佐藤(栄八)	7月31日					1通	
223	2	7	犬養毅書簡 佐藤栄八宛	犬養毅	佐藤栄八	8月13日					1通	
223	2	8	犬養毅書簡 佐藤栄八宛	犬養毅	佐藤栄八	10月5日				『新編犬養木堂書簡集』所収。	1通	
223	2	9	犬養毅書簡 佐藤(栄八)宛	犬養毅	佐藤(栄八)	12月29日					1通	
223	2	10	犬養毅書簡〔佐藤栄八宛〕	犬養毅	〔佐藤栄八〕					『新編犬養木堂書簡集』所収。	1通	
224	0	0	山県有朋書簡 福地源一郎宛	山県有朋	福地源一郎	(明治17年)8月23日	上海駐在の士官より福建に於て開戦せりとの電信査収。				1通	
225	0	0	伊藤博文書簡 小野先生宛	伊藤博文	小野先生	(明治) 年5月1日	法典調査会集会のため明日参邸できず。				1通	
226	0	0	木戸孝允等書簡								1巻	
226	1		木戸孝允書簡 山田顕義宛	木戸準一郎(木戸孝允)	山田市之允(山田顕義)	4月5日					1通	
226	2		三条実美書簡 岩倉具視宛	三条実美	岩倉具視	(明治10年)3月3日					1通	
226	3		大久保利通書簡 岩倉具視宛	大久保一蔵(大久保利通)	岩倉老公(岩倉具視)	12月17日					1通	
226	4	1	伊藤博文書簡 松田道之宛	伊藤博文	松田道之	明治12年1月1日					1通	
226	4	2	伊藤博文書簡 児玉少介宛	伊藤博文	児玉少介	12月1日					1通	
226	5		後藤象二郎書簡	(後藤象二郎)	不明	(慶応4年)8月5日				箱に後藤象二郎書簡とあり	1通	
226	6		後藤象二郎書簡 坂木宛	後藤象二郎	坂木	9月25日					1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
226	7		後藤象二郎書簡	(後藤象二郎)	(児玉家)	5月6日				箱に後藤象二郎書簡とあり箱に児玉家宛とあり	1通	
226	8		陸奥宗光書簡 小牧兄・緩兄宛	陽之助(陸奥宗光)	小牧兄・緩兄	7月21日					1通	
226	9	1	陸奥宗光書簡 坂木先生宛	陸奥(陸奥宗光)	坂木先生	8月22日					1通	
226	9	2	秋月種樹書簡 岩倉左兵衛宛	種樹(秋月種樹)	岩倉左兵衛	3月25日					1通	
226	10		吉井友実書簡	吉井幸輔(吉井友実)	不明	(慶応4年)6月3日					1通	
226	11		名和緩・西北一平書簡 坂木燮宛	名和緩・西北一平	坂木燮						1通	
227	0	0	白根専一宛書翰								1巻	
227	1		伊藤博文書簡 白根専一宛	伊藤博文	白根専一	9月17日					1通	
227	2		山県有朋書簡 白根専一宛	山県有朋	白根専一	11月6日					1通	
227	3		品川弥二郎書簡 白根専一宛	品川弥二郎	白根専一	明治28年8月5日					1通	
227	4		品川弥二郎書簡 白根専一宛	品川弥二郎	白根専一	明治29年9月22日					1通	
227	5		品川弥二郎書簡 白根専一宛	品川弥二郎	白根専一	3月12夜					1通	
228	0	0	伊藤博文書簡	伊藤博文	大隈重信	明治31年10月10日					1通	山崎直胤経歴(カード、旧蔵者作成カ)
229	0	0	伊藤博文書簡山崎直胤宛	伊藤博文	山崎調兄(山崎直胤)						3巻	
229	1	1	伊藤博文書簡	伊藤博文	山崎調兄(山崎直胤)	(明治) 年7月11日	仏政府とソサジリー、マリチーム会社との間に取結びたる条約写につき、ポアソナードに写を得るよう望む。				1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
229	1	2	伊藤博文書簡	伊藤博文	山崎(山崎直胤)	(明治) 年11月18日	正金銀行の海外為換書取扱等之手順頗危殆、速に領事派遣被致取締度、御取調被可下候。				1通	
229	1	3	伊藤博文書簡	伊藤博文	山崎直胤カ	(明治) 年2月21日	各県より人口取調表提出の儀、篤と御取糺被下度、ツマラス手数を以て地方を煩し候事は本意に無之。				1通	
229	2	1	伊藤博文書簡	伊藤博文	山崎大書記官(山崎直胤)	明治16年8月28日	帰朝来三旬余日も経過候事に付、復命の手順に取懸り度、諸君子へ御伝え被下度候。			『伊藤博文伝』(請求記号GB415-11)記載の伊藤博文、山崎直胤の帰国年月から年代推定した。	1通	
229	2	2	伊藤博文書簡	伊藤博文	山崎(山崎直胤)	明治16年12月18日	太政官、内務省、大蔵省兼務につき、ご意考あれば、内務大蔵両卿に御相談有之度候。			『官員録』(明治17年)に山崎の太政官、内務省、大蔵省大書記官兼務の記載あり。	1通	
229	2	3	伊藤博文書簡	伊藤博文	山崎賢兄(山崎直胤)	(明治) 年9月1日	魯帝より贈与有之候賞牌佩用免許願帖につき、賞勲局へ御出置被下度。				1通	
229	3	1	伊藤博文書簡	伊藤博文	山崎先生(山崎直胤)	(明治) 年11月13日	松田道之より内談の雑種税法案につき、今一度御照合被下度。				1通	
229	3	2	伊藤博文書簡	伊藤博文	山崎先兄(山崎直胤)	(明治) 年1月11日	本日支那公使と横浜訪問予定、仏文出来次第回送願う。直ちに翻訳申付度候。				1通	
229	3	3	伊藤博文書簡	伊藤博文	山崎法制官(山崎直胤)	(明治) 年11月27日	北海道巡回之内諭、来月六日の筈、警視権限一条当下至急御運び被下候様御依頼申度。				1通	
229	3	4	伊藤博文書簡	伊藤博文	山崎直胤	(明治) 年12月13日	ポアソナード条約上発見したる理論あり。明十四日、太政官一同可致聴聞に付、同氏へ御通知、同道有之候。			229-1-1の「条約」と同じものを指す可能性あり。	1通	
230	0	0	春畝伊藤公尺牘(上)(中)(下)					墨書			3巻(21通)	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
230	1	1	親卿書簡 石老大兄宛	親卿(伊藤博文カ)	石老大兄(石田太郎カ)	(万延元年カ)9月19日	品川弥次郎来府委曲奉伝承候。水府之士三拾六人薩邸へ駈込。貴兄よりも故郷之状態被仰越被下候様奉希上候。赤馬関頭開港之件御申越の意は全く虚説。	墨書			1通	
230	1	2	利輔書簡 太郎老兄宛	利輔(伊藤博文カ)	太郎老兄(石田太郎カ)	(文久元年カ)4月21日	馬関御教場一事細々被仰越委曲桂君へも申送候。対州英仏ミニストル罷越住居候由驕横不可勝之候也。小栗豊州過日江戸出足彼地罷越候由右対州之貸渡呉候様に相願候由、実に可悪也。其外水藩は追々相収り申候。諸藩一切不奮尤も諸侯之内にて先可抛は水は素より 薩久留米柳川 肥後も可也。肥前 因州之近頃は水府よりの御出之君侯は余程正論之由其外七州位ひ之処なり。	墨書			1通	
230	1	3	実書簡 石田義巖宛	実(伊藤博文カ)	石田義巖(石田太郎カ)	11月28日	廿三日より横港へ罷越昨廿六日帰邸。江戸も追々時勢切迫にて水藩より奮起可致とて風説有之人気甚だ不安也。別紙横浜在留之士より送来直情君に贈也。御一覽下添小輔氏へも御示可被下候。	墨書			1通	
230	1	4	利助書簡太郎兄宛	利助(伊藤博文カ)	太郎兄(石田太郎カ)	(文久元年カ)	対州へ夷狄来寇之由定て御聞及に相成候とは奉存候へ共一応差送候間御一見之上御同志中へ御覧覽可被下候。尤入江氏へは弥二郎より差送り申候。	墨書			1通	
230	1	5	利甫書簡石田 兄宛	利甫(伊藤博文カ)	石田 兄(石田太郎カ)	2月28日	御尊簡到来難有奉拝誦候。先便御飛脚相頼れて出浜せり御罷越之モグサ差送り申候処相届申候哉。形勢は入江兄帰庁候はば不洩藩委曲御聞可被下候。	墨書			1通	
230	1	6	伊藤利輔書簡	伊藤利輔(伊藤博文カ)	(石田太郎カ)	(文久2年カ)5月10日	御国当状御参府論は如何御決定相成候哉邸中には長井君三井君御来府との事如何と相待居申候。恐らくは御参府之御議論御決定ならんかと深处嘆息御座候。	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
230	1	7	利輔書簡 太郎兄宛	利輔(伊藤博文カ)	太郎兄(石田太郎カ)	{万延元年カ}11月3日	栄太兵庫より亡命致候由如何、当地にては未詳定めて籌策も可有之事とは奉存候得とも恐事不可成就夫迄晝夜懸念罷在申候。今度將軍家御婚姻之御達過日被仰出候処実に甚しきと可言乎。天子の姫宮を自由に妻と致候は是迄無先例事也。実に恐多次第に候竊に觀察いたし申候。松陰先生の墓も過る廿七日迄に建調いたし申候。	墨書			1通	
230	2	1	書簡	(伊藤博文カ)	(石田太郎カ)	{万延元年カ}	キウスケン一件にて大ブリツケルを起し横浜へ引取申候、五六日已然酒井公横浜へ被出相成候由色々御輸言被成候処様々納得近々又々江戸表へ引越候由に御座候。此度江戸深川に貿易場を開候との風説也。	墨書			1通	
230	2	2	伊藤実書簡 石田巖老兄宛	伊藤実(伊藤博文)	石田巖老兄(石田太郎)	{万延元年カ}12月28日	先達て米人元蘭人被殺害候已後夷情も甚不穩各夷とも江戸表は引取横浜に当時に在港致し居申候。如何相決し候乎、議論相分り不申。過日村田蔵六歸秋都下時勢彼是懇々御聞可被成候。先日割腹外国奉行堀織部正絶命之詩也。	墨書			1通	
230	2	3	利介書簡 太郎兄宛	利介(伊藤博文カ)	太郎兄(石田太郎カ)	{万延元年カ}8月7日	飯田正伯相州浦賀にて盗賊致候。夫々今度公辺へ被召捕下獄致候由然し未だ都下へは引かれ不申候得とも相州にて始末相成候之由也。横浜ヨリ歸後多忙、栄太(吉田稔磨カ)は勉強可羨。	墨書			1通	
230	2	4	書簡	(伊藤博文カ)	(石田太郎カ)		横浜より歸後多忙也、栄太は余程勉強いたし候由、可羨也。夷人は頻に縦横先達富岳へ登り未歸。横浜は至て宜交易は大繁昌此節商船十七八艘来泊也。	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
230	2	5	書簡	(伊藤博文カ)	(石田太郎カ)	(万延元年10月)カ	英人モス儀犯法之罪相決し香港にて入牢三ヶ月已来日本には不得来病人えチドロラル養生金遣候に相定モスはゲウェール杯ソルダート九人にて取囲英軍艦へ送申候。併是迄殺害之事は有之候間養生金は受難からんと風説御座候。支那新聞紙来り居候得共英語故宛には出来不申天津条約五十ヶ条も御座候、大意は弥和睦に相成軍費六千万両商人損失貳千万両相償香港は永く英領と相決候。	墨書			1通	
230	2	6	利助書簡巖兄宛	利助(伊藤博文カ)	巖兄(石田太郎カ)	(万延元年カ)10月24日	当地諸友都而無事松島兄(松島剛蔵カ)如何之事実不詳。京師九条公殺撃論如何。米利堅より先達而之使帰。北条君も明後廿六日立出。清朝大敗世間の風声にてても間違無之候由。杉蔵兄も追時当地御出相成る様子は承り候へ共如何相成候哉。最早不遠内御来着と奉待入候。	墨書			1通	
230	2	7	利助書簡太郎兄宛	利助(伊藤博文カ)	太郎兄(石田太郎カ)	(万延元年カ)10月25日	北条兄は明廿五日ヨリ被出立候。追啓 一、英夷長崎に来る由定て御聞及可被成候。清朝大敗。今英佛両国之兵清に有る者五十万余 清収る之後は強盛之勢を以て吾対馬島を呉候様申来候。対馬島之請は二三日以前長崎より申来との説閣老幕僚吏も驚愕之容子也。	墨書			1通	
230	2	8	伊藤甫輔書簡石田太郎宛	伊藤甫輔(伊藤博文カ)	石田太郎(石田太郎カ)	(万延元年カ)8月23日	「申九月十日到」。水藩老公過頃より御病氣にてとても全快被成難き天下之諸有志も大に嘆息に罷在申候。過日横浜へ参り昨夕帰邸。此度初て来るプロイセンえは交易難差免との世上取沙汰候へ共とても納得不可申也。蝦夷地開拓之論種々有之。浦大夫之臣赤根忠右衛門と申人産物一件にて箱館へ参り過日帰江戸此節横浜客居石炭大商も進候。	墨書			1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
230	3	1	利甫書簡太郎殿宛	利甫(伊藤博文カ)	太郎殿兄(石田太郎カ)		杉蔵今朝より一寸横浜に行と申事尤一兩日之停港なるべし。同道は久阪也。僕もさそはれ候へとも帰り候て未だ十四五日を過ぎ上に行かれ不申甚残念也。	墨書			1通	
230	3	2	利甫書簡太郎老兄宛	利甫(伊藤博文カ)	太郎老兄(石田太郎カ)	3月25日	過日承り候へば京師より山城國中へ黄金五拾枚頂戴候次第之由、実事にて候哉。尤窮民御救と申事也。実に英明確々乎にて如斯御心、皇国之大幸と可申也。水藩動静不変。諸侯は些かも不奮、書生は依然、夷狄益驕。諸品は日に騰、人情又輕薄実不堪言也。	墨書		『伊藤博文伝』上巻(春畝公追頌会、1940年)85頁に一部翻刻あり。	1通	
230	3	3	書簡	(伊藤博文カ)	(石田太郎カ)	(文久元年カ)7月19日	英行致度志にて、少々周旋可致存念也。尤未だ他人に少しも慷慨は致不申故、只卿にのみ謀候也。先達て横浜罷越候節に、英人へ竊に相図見候処、容易く連帰可申様、尤コストに少々問候に付、是も又奇計有る也。乍然此儀は少しも御口外御用捨奉希上候。	墨書			1通	
230	3	4	伊藤利甫書簡石田太郎宛	伊藤利甫(伊藤博文カ)	石田太郎	12月3日	時山直八より送候書翰差出候間御落掌可被成候。委曲は別紙に陳候。	墨書			1通	
230	3	5	俊輔書簡石田殿宛	俊輔(伊藤博文カ)	石田殿兄(石田太郎カ)	10日	明日出足之都合に御座候得ば其余は拝顔之程難期何とも遺憾奉存候。然に今日は一応御役所に罷出、若し御下り被成候へは御宅へも一寸相伺候積りに御座候。	墨書			1通	
230	3	6	利輔書簡石田殿宛	利輔(伊藤博文カ)	石田殿兄(石田太郎カ)	2月24日	都下動静甚不穩。二月廿日水藩浪士三百有余人蜂起、子遠(入江九一カ)も御内密を以常水に下る未だ帰到、いつれ帰来三四日を出で申間敷追て委曲を陳し可申也。外夷之驕漫は尚不堪言。先達行田伊賀幕命を蒙り浪士追払被仰付候、浪士之内百人程殺害余る処皆々相遁れ申候由。若し右亡命之浪士江戸に押寄候はば幕吏心勞。都下の困窮実不堪。栄太岡山に居る由甚不安心。	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
231	0	0	前島密書簡野口孝太郎宛	前島密	野口孝太郎	(明治) 年7月13日	郵便局制度改革についての意見	墨書		切手付き。封筒共。書留便。	1巻	
232	0	0	木戸孝允書簡岩倉具視宛	木戸孝允	岩倉具視	10月23日	大久保、朝廷、工部院、佛学戦争等	墨書			1巻	
233	0	0	西園寺公望書簡四条隆調宛	西園寺公望	四条隆調	(慶応4年)1月28日	因州鳥取藩の延引の罪(出兵が遅れたこと)に対して寛大な処置をとるよう、将軍宮(仁和寺宮嘉彰親王)へのとりなしを依頼				1通	
234	0	0	三条実美書簡柳原前光宛	三条実美	柳原前光	(明治元年)10月27日					1通	
235	0	0	横井小楠書簡勝海舟宛	横井小楠	勝海舟	8月3日					1通	
236	0	0	伊藤博文書簡伊東巳代治宛	伊藤博文	伊東巳代治	(明治25年)8月20日	地方官の発表は明後日にて然るべし。				1通	
237	0	0	吉田茂書簡南原繁宛	吉田茂	南原繁	昭和24年4月17日	ペーチー博士処遇国民新道徳			『吉田茂書簡』中央公論社、1994 p472に翻刻あり	1通	
238	0	0	伊達宗城、東久世通禧、小松帯刀、木戸準一郎 連名書簡三条実美 岩倉具視宛	伊達宗城、東久世通禧、小松帯刀、木戸準一郎	三条実美 岩倉具視宛	(明治元年)11月8日					1通	
239	0	0	元田永孚書簡一川(研三)宛	元田永孚	一川(研三)	7月19日					1通	
240	0	0	蓑田胸喜書簡太田良平宛	蓑田胸喜	太田良平	(昭和8年)3月24日	「ファチスト出現前の伊太利」云々の御言葉同感、『原理の日本』一部送付	ペン	葉書	当時太田は慶応予科時代	1通	
241	0	0	張≡(日に曹)書簡								2通	
241	1		張≡(日に曹)書簡	張≡(日に曹)	奥田[義人]	(大正2年カ)	袁世凱政権が中国世論の支持を受けているとの主張を伝えるもの	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
241	2		牧野伸顕書簡	牧野伸顕	奥田[義人]	(大正2年)7月26日	上記書簡の差出人(張)の人物評価、中国情勢、特に南北戦争への懸念	墨書		第一次山本内閣(大正2-3年)で牧野が外相、奥田が文相を務めていた時の書簡と思われる。	1通	封筒「奥田文相閣下 牧野伸顕」封筒に「外務省用」の印と封緘あり。
242	0	0	尺牘偉観 山縣公之巻					卷子(墨書)		箱入り(箱書「尺牘偉観 山縣公之巻」)	1巻(5通)1通	空封筒2点(1-1,1-5)
242	1	1	伊藤博文書簡 河野敏謙宛	[伊藤]博文	河野[敏謙]	(明治) 年3月10日	牟田口云々異議あり 大木参朝無之 野村一条は拝読できず	墨書		河野敏謙文部卿 明治13年2月～14年4月	1通	封筒(別)「河野文部卿殿 伊藤博文」
242	1	2	山縣有朋書簡 三好重臣宛	山縣有朋	三好[重臣]少将	(明治10年)7月11日	連捷之御報告及関中尉現地目撃之処拝承欣然 兵員寡少之儀 当地教導団、大坂より到着の兵直二貴処え加入 野崎中佐引率之兵引揚は大害 豊後遊撃仕損し大害遺憾	墨書			1通	封筒「三好將軍幕下 山縣中将」
242	1	3	山縣有朋書簡 三好重臣宛	山縣有朋	三好[重臣]少将	(明治10年)8月20日	谷少将より之報告落手 高島之軍を肥後二曾我之軍を豊後二差向 三田井街道え別道二旅団より派遣 大山少将首木え向け出張	墨書			1通	封筒「三好將軍幕下 山縣有朋」
242	1	4	山縣有朋書簡 三好重臣宛	芽城山人[山縣有朋]	秋畝[三好重臣]老兄	(明治) 年5月21日	一昨日御内話仕候乗馬之儀、未だ決着不致 先方は第一師団には無之歟と察し	墨書		三好重臣監軍 明治23年6月～27年12月	1通	封筒「三好監軍殿 有朋」
242	1	5	山縣有朋書簡 河野敏謙宛	[山縣]有朋	河野[敏謙]	(明治25年カ)8月15日	枢密院官舎に罷在貴答を相待申候	墨書		河野敏謙文部大臣 明治25年8月～26年3月	1通	封筒(別)「河野文部大臣 山縣有朋」
242	2		福羽美静書簡 河野敏謙宛	[福羽]美静	河野[敏謙]	(明治13年カ)10月12日	今朝太政大臣へ面会、直に東京師範学校へ参り可申	墨書		箱の中に卷子と主に収納されていた書簡河野敏謙文部卿 明治13年2月～14年4月	1通	封筒「河野文部卿殿 福羽美静」
243	0	0	桐野利秋宛書状集								1巻(8通)	

## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
243	1		吉井友実書簡 中村半次郎宛	吉井[友実]	中村[半次郎]	(明治4年)8月11日		墨書		吉井宮内大丞(明治4年在任)から中村少将宛。中村半次郎は桐野利秋の旧名。	1通	
243	2		後藤象二郎書簡 桐野利秋宛	後藤象二郎	桐野利秋	2日	「私学校之件」	墨書			1通	
243	3		後藤象二郎書簡 桐野利秋宛	後藤象二郎	桐野利秋	7月2日	「魯人乱暴」他	墨書			1通	
243	4		山田[顕義]書簡 桐野利秋宛	山田[顕義]	桐野利秋	(明治4年)10月17日		墨書		桐野と山田の在京期が10月で重なるのは、桐野上京の明治4年2月から山田が岩倉使節団に加わって出発した同年11月までの間のみ。	1通	
243	5		大山格之助書簡 桐野晋作、山ノ内半左衛門宛	大山格之助(綱良)	桐野晋作、山ノ内半左衛門	6月11日		墨書		桐野利秋の別名が桐野信作。晋作は当て字か。	1通	
243	6		淵辺高照書簡 桐野利秋宛	淵辺高照	桐野利秋	9月20日		墨書			1通	
243	7		樺山[資紀]書簡 桐野利秋宛	樺山[資紀]	桐野利秋	(明治5年カ)9月9日	「台湾」、「出兵」、「琉球」、「西郷大先生」他	墨書		樺山は明治6年2月から翌7年6月まで台湾に派遣、次いで同年7月より12月まで清国へ派遣。	1通	
243	8		後藤象二郎書簡 桐野利秋宛	後藤象二郎	桐野利秋	7月31日		墨書			1通	
244	0	0	石原莞爾書簡								5通	
244	1		石原莞爾書簡 児玉誉士夫宛	石原莞爾	児玉誉士夫	昭和14年5月25日	支那の真剣さに比し日本の軽薄。国策の決定せざるは必然。	ペン	封緘葉書		1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
244	2		石原莞爾書簡 児玉誉士夫宛	石原莞爾	児玉誉士夫		新日本の新政治体を組織する事が昭和維新の道也と確信	ペン	封緘葉書		1通	
244	3		石原莞爾書簡 児玉誉士夫宛	石原莞爾	児玉誉士夫	昭和14年10月2日	今日南京に赴かれたる板垣司令に兄の御意見紹介の必要を痛感。	ペン	封緘葉書		1通	
244	4		石原莞爾書簡 児玉誉士夫宛	石原莞爾	児玉誉士夫	昭和14年12月6日	現地の事情改善の風なき由痛憤に不堪	墨書	封緘葉書		1通	
244	5		石原莞爾書簡 児玉誉士夫宛	石原莞爾	児玉誉士夫	昭和15年4月2日	熱血の国士辻兄も兄を知り得たる歡喜手紙に尽し難きものある様子	ペン	封緘葉書		1通	
245	1		伊東巳代治書簡 伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文	(明治) 年4月28日	谷森書記官より尋来候	墨書			1通	
245	2		井上馨書簡 伊藤博文宛	井上馨	伊藤博文	(明治15年カ)1月6日	明朝九字三十分之汽車にてピードン横浜より帰京 十二字之汽車にて出浜仕可	墨書			1通	
245	3		井上馨書簡 伊藤博文宛	井上毅	伊藤博文	(明治8年)6月19日	警察調書一閱仕候 新聞条例校閲本奉呈	墨書			1通	
245	4		桂太郎書簡 伊藤博文宛	桂太郎	伊藤博文	(明治38年)6月17日	別紙高平公使より副進仕候 明朝御出京相願度	墨書			1通	
245	5		西園寺公望書簡 伊藤博文宛	西園寺公望	伊藤博文	(明治28年)7月19日	在韓日置書記官意見書呈覽候 荒川領事より原次官えの私信中抜書呈覽候	墨書			1通	
245	6		西園寺公望書簡 伊藤博文宛	西園寺公望	伊藤博文	(明治29年)7月25日	弁理公使を兼官として申立候事は外務省に於て六ヶ敷く趣に候	墨書			1通	封筒「伊藤公爵閣下 西園寺公望」(消印)2.6.24
245	7		品川弥二郎書簡 伊藤博文宛	品川弥二郎	伊藤博文	(明治17年)12月8日	田中議官の気付にて別紙申出 草按の儘差出候 やじも十一日出帆の近江丸にて高知県共進会えでかける積りに候	墨書			1通	
245	8		松方正義書簡 伊藤博文宛	松方正義	伊藤博文	(明治) 年7月18日	先日差上置候書状此者え御渡被下度	墨書			1通	
246	0	0	伊藤博文書簡	伊藤博文	西徳二郎	(明治31年)1月30日	1月27日付の林駐露公使の電報に関し、日本の朝鮮政策を論ず	墨書			1巻	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
247	0	0	杉浦重剛・真鉄宛書簡					卷子(墨書)			1巻(4通)	
247	1		杉浦重剛書簡 杉浦真鉄宛	杉浦重剛	杉浦真鉄	(明治40年カ)4月26日	家族間書簡、重郎病氣回復、鉄彦鉄道学校へ転官、鉄若入学	墨書		作成年は封筒消印より推定		封筒「杉浦真鉄宛 杉浦重剛」
247	2		中村弥六書簡 杉浦重剛宛	中村弥六	杉浦重剛	3月12日	垂井氏の一件、選挙に関しては何故か政府が小生を排擠せんと欲したるは実に非常のものに有之	墨書				封筒「杉浦重剛殿 中村弥六」
247	3		巖谷小波書簡 杉浦重剛宛	巖谷小波	杉浦重剛	11月22日	献上物の件	墨書				
247	4		古島一雄書簡 杉浦真鉄宛	古島一雄	杉浦真鉄	11月25日	正式に井上家へ承諾を経申候、来月中旬尤も好機	墨書				
248	0	0	楢取素彦宛書簡					卷子(墨書)			1巻(3通)	
248	1		品川弥二郎書簡 楢取素彦宛	品川弥二郎	楢取素彦	3月17日	治水の一件、利根川水害始末のこと	墨書				
248	2		山田顕義書簡 楢取素彦宛	山田顕義	楢取素彦	10月25日	お礼状	墨書				
248	3		木戸孝允書簡 楢取素彦宛	木戸孝允	楢取素彦	11月26日	大遷延のこと	墨書				
249	0	0	高崎正風宛書簡					卷子(墨書)			1巻(15通)	6点(斉藤千代蔵宛犬養毅封筒、斉藤千代蔵宛東郷執事封筒、斉藤千代蔵宛桜内幸雄書簡1通、斉藤千代蔵宛鈴木正寿書簡1通(封筒なし)、断簡1通(封筒なし)、一色將軍宛斉藤封筒)
249	1		小出粲書簡 高崎正風宛	小出粲	高崎正風	9月3日		墨書				
249	2		加藤高明書簡 高崎正風宛	加藤高明	高崎正風	10月26日		墨書				
249	3		平田東助書簡 高崎正風宛	平田東助	高崎正風	8月15日	旌表式の参会について	墨書				

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
249	4		高崎正風書簡 西郷[従道]宛	高崎正風	西郷[従道]	12月25日		墨書				
249	5		桂太郎書簡 高崎正風宛	桂太郎	高崎正風	7月1日		墨書				
249	6		曾禰荒助書簡 高崎正風宛	曾禰荒助	高崎正風	1月13日		墨書				
249	7		東久世通禧書簡 高崎正風宛	東久世通禧	高崎正風	2月15日		墨書				
249	8		東郷平八郎・上村彦之丞書簡 高崎正風宛	東郷平八郎・ 上村彦之丞	高崎正風	10月10日	伊地知之儀追々快気之方に之有、 門司に於いて横浜までの郵便舟に乘 り相州地方に於いて療養の事に内定 致され候	墨書				
249	9		大谷光尊書簡 高崎正風宛	大谷光尊	高崎正風	7月24日		墨書				
249	10		松方正義書簡 高崎正風宛	松方正義	高崎正風	9月21日		墨書				
249	11		勝海舟書簡 高崎正風宛	勝海舟	高崎正風	10月30日		墨書				
249	12		松平慶永書簡 高崎正風宛	松平慶永	高崎正風	11月9日		墨書				
249	13		大久保利通書簡 高崎正風宛	大久保利通	高崎正風	1月5日		墨書				
249	14		岩倉具視書簡 高崎正風宛	岩倉具視	高崎正風	12月24日		墨書				
249	15		三条実美書簡 高崎正風宛	三条実美	高崎正風	11月15日		墨書				
250	0	0	名家書簡					卷子(墨書)			2巻(9通)	
250	1	1	山県有朋書簡	山県有朋	小野田元熙	12月23日		墨書			1通	
250	1	2	桂太郎書簡	桂太郎	小野田元熙	11月25日		墨書			1通	
250	1	3	乃木希典書簡	乃木希典	小野田元熙	2月22日		墨書			1通	
250	1	4	児玉源太郎書簡	児玉源太郎	小野田元熙	5月28日		墨書			1通	
250	2	1	川路利良書簡	川路利良	小野田元熙	11月29日		墨書			1通	
250	2	2	川上操六書簡	川上操六	小野田元熙	1月4日		墨書			1通	
250	2	3	鳥尾小弥太書簡	鳥尾小弥太	小野田元熙	5月12日		墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
250	2	4	榎本武揚書簡	榎本武揚	小野田元熙	4月25日		墨書		日付は維夏念五より判定	1通	
250	2	5	川村純義書簡	川村純義	小野田元熙	7月29日		墨書			1通	
251	0	0	寺内正毅書簡 長谷川好道宛	寺内正毅	長谷川好道	(明治38年)8月17日		卷子(墨書)			1巻(1通)	
252	0	0	伊藤公四賢堂唱和尺牘	伊藤博文	三島毅	明治41年3月14日	伊藤博文が岩倉・三条・大久保・木戸(四賢)のことを詠んだ漢詩。	墨書		日付は書簡中の漢詩創作日	1通	伊藤書簡の後、三島毅による説明書き及び唱和漢詩あり。封筒あり。
253	0	0	穴戸璣書状					卷子(墨書)			1巻(4通)	
253	1		野村素介・木梨信一・穴戸璣書簡	野村素介・木梨信一・穴戸三郎[璣]	松原音三	30日		墨書			1通	
253	2		差出人不明書簡			2月27日		墨書			1通	
253	3		穴戸璣書簡	穴戸璣	松原音三	6月5日		墨書			1通	
253	4		穴戸璣書簡	穴戸璣	松原音三	6月12日		墨書			1通	
254	0	0	陸奥宗光自筆書状(伊達宗興宛)	陸奥宗光	伊達宗興	3月3日	病気看病、両議人帰藩、山口藩内乱鎮静	卷子(墨書)			1巻(1通)	栗山萬葉莊山人「陸奥宗光自筆書状(義兄伊達宗興宛・陽之介署名)筆蹟考証」あり
255	0	0	東海散士(柴四朗)書簡					断簡(墨書)			3通	
255	1		東海散士書簡	柴四朗	武田範之	4月3日		墨書			1通	
255	2		東海散士書簡	東海散士	武田範之	19日	閔妃事件の判決等現地報告	墨書			1通	
255	3		東海散士書簡	柴四朗	武田範之	10月22日	露の東方政策など	墨書			1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
256	0	0	武田範之宛書簡					卷子(墨書)			1巻(3通)	
256	1		林田守隆書簡	林田守隆	武田範之	6月8日		墨書			1通	6月8日
256	2		石橋六郎書簡	石橋六郎	武田範之	9月27日		墨書			1通	9月27日
256	3		生田長浩書簡	生田長浩	武田範之	6月2日		墨書			1通	6月2日
257	0	0	武田範之宛書簡					卷子(墨書)			1巻(2通)	
257	1		宮崎民蔵書簡 武田範之宛	宮崎民蔵	武田範之	5月9日		墨書			1通	
257	2		二十助書簡 武田範之宛	二十助	武田範之	12日		墨書			1通	
258	0	0	黒龍会・一進会関係者書簡集					卷子(墨書)			1巻(11通)	
258	1		内田良平書簡	内田良平	武田範之	12月19日		墨書			1通	
258	2		尾崎行昌書簡	尾崎行昌	武田範之			墨書			1通	
258	3		騰 庵書簡	騰 庵	武田範之			墨書			1通	
258	4		岡本慶次郎書簡	岡本慶次郎	ヲシヨ[武田範之]	2月1日		墨書			1通	
258	5		勤書簡	勤	保定山人			墨書			1通	
258	6		春照書簡	春照	顯聖寺大和尚 武田範之	1月24日		墨書			1通	
258	7		正吉書簡	正吉	武田範之	4月11日		墨書			1通	
258	8		為吉書簡	為吉	武田範之	3月28日		墨書			1通	
258	9		井上好人書簡	井上好人	武田範之	1月19日		墨書			1通	
258	10		井上藤三郎書簡	井上藤三郎	武田範之	9月6日		墨書			1通	
258	11		高野義作書簡	高野義作	中村部長	1月10日		墨書			1通	
259	0	0	小室信夫書状巻					卷子(墨書)・封筒			3巻と2袋(19通)	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
259	1	1	小室信夫書簡	小室信夫	士戴	[明治] 年12月22日		墨書		巻物(1)、獄中からの書簡カ	1通	
259	1	2	小室信夫書簡	小室信夫	不明	[文久3年]		墨書		巻物(1)、獄中からの書簡カ	1通	
259	1	3	小室信夫書簡	小室信夫	不明	[文久4年]		墨書		巻物(1)、獄中からの書簡カ	1通	
259	1	4	小室信夫書簡	小室信夫	士戴	[慶応3年]11月16日		墨書		巻物(1)、獄中からの書簡カ	1通	
259	2	1	小室信夫書簡	小室信夫	士戴	明治元年1月2日		墨書		巻物(2)	1通	
259	2	2	雪菴書簡	雪菴	如岡	1月16日		墨書		巻物(2)	1通	
259	2	3	小室信夫書簡	小室信夫	御本家兄貴			墨書		巻物(2)	1通	
259	3	1	小室信夫書簡	小室信夫	士戴	明治元年1月1日		墨書		巻物(3)	1通	
259	3	2	小室信夫書簡	小室信夫	士戴	[慶応3年]3月10日		墨書		巻物(3)	1通	
259	3	3	不明書簡	不明	不明			墨書		巻物(3)、小室信夫が作成カ	1通	
259	3	4	小室信夫書簡	小室信夫	不明	8月1日		墨書		巻物(3)	1通	
259	4	1	小室むつカ書簡	小室むつカ	小室糸い		小室信夫母むつから信夫妻糸い宛、近況報告、暇乞の相談のすすめ	墨書		標題は封筒より	1通	
259	4	2	小室信夫書簡	小室信夫	正平	[明治5年]ないし[明治6年]9月5日	留守宅への報告、佐喜蔵家統取継、土地入手、ロンドンの商業隆盛の様子など	墨書		標題は封筒より。明治5年1月、蜂須賀茂韶とともにロンドンに出発、明治6年12月帰国	1通	
259	4	3	保科正脩書簡	保科正脩	小室信夫	[明治] 年5月27日	戸籍の件	墨書		標題は封筒より	1通	
259	5	1	戸籍書類(小室信次男小室三吉戸籍)					墨書		標題は封筒より	1通	

## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
259	5	2	小室糸い書簡	小室糸い	小室信夫	(明治) 年5月7日	返書、近況の報告	墨書		標題は封筒より	1通	
259	5	3	小室信夫書簡	小室信夫	かはた	(明治) 年9月8日	近況報告	墨書		標題は封筒より	1通	
259	5	4	小室信夫書簡	小室信夫	母・栄・卯之介・咲・三吉	(明治) 年9月9日	家族宛の近況報告	墨書		標題は封筒より	1通	
259	5	5	不明書簡	不明	不明		近況報告	墨書		標題は封筒より。5-3,5-4と同筆ながらも、日付・差出人・宛先の記載なし。	1通	
260	0	0	山県有朋書簡	山県有朋	伊藤博文	(明治37年)3月1日	派遣大使の件で朝比奈知泉とは聞き違いではないか、老生は老閣が最適任との意見	墨書			1通	
261	0	0	長谷場純孝書簡					墨書			2通	
261	1		長谷場純孝書簡 益田信五郎宛	長谷場純孝	益田信五郎	(明治28年)3月27日	帰郷報知、馬関での襲撃事件後における戦争の談判についての意見	墨書			1通	
261	2		長谷場純孝書簡 寺崎宛	長谷場純孝	寺崎	12日	台湾兵備制限申込の件でお聞き込みのことあらば報知願う	墨書			1通	
262	0	0	松方正義書簡	松方正義	高谷恒太郎	10月3日	鉄道会社創立事件につき両会社の意見聴取予定	墨書			1巻(1通)	
263	0	0	元田永孚書簡	元田永孚	副島種臣・谷干城	11月20日	黎公使との懇談に付き相談	墨書			1巻(1通)	
264	0	0	松方正義書簡								2巻(5通)と3通	
264	1		松方正義書簡巻								1巻	
264	1	1	松方正義書簡 野田豁通宛	松方正義	野田豁通	(明治4年)4月10日	大参事の馬の儀、帰京の上は大参事へ御直に多謝は必然、貴兄より御取成下されたい	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
264	1	2	松方正義書簡 伊藤博文宛	松方正義	伊藤博文	6月24日	森村の件細大了承、北岡の主意森村に誘引、同件の形行は分った、いずれ拜晤	墨書			1通	
264	2		松方正義書簡巻								1巻	
264	2	1	松方正義書簡 田辺新之助宛	松方正義	田辺新之助	(大正9年)6月28日	御閑暇あれば御光臨、御高話願う	墨書			1通	
264	2	2	松方正義書簡 田辺新之助宛	松方正義	田辺新之助	(大正9年)7月1日	黒竜江行の漢詩拝見、感慨に堪え兼ねる、昨日したためたものを貴覧に入れたい	墨書			1通	
264	2	3	跋文	田辺新之助		大正11年(壬戌)中秋	尼港事件悲憤の漢詩を田辺が松方公に贈り、公の感激三日に渡る、程なく田辺が越後の久須美雪堂翁を訪問、松方の尺牘二通を贈り、久須美翁がこの巻物を直装した	墨書			1通	
264	3		松方正義書簡 稲垣満次郎宛	松方正義	稲垣満次郎	8月21日	今日午後一時半より陸軍大臣・次官・監察長同伴にて来諭、正則ではなく変則での財源案提出が然るべし	墨書			1通	
264	4		松方正義書簡 榎村宛	松方正義	榎村	8月27日	波多野を二等から一等へ昇進させるよう依頼	墨書			1通	
264	5		松方正義書簡 藤波宛	松方正義	藤波	11月26日	御懇書恐縮、別に約束、遅参御海恕を願う	墨書			1通	
265	0	0	歴代首相元勳 尺牘偉観					墨書			6巻(22通)	
265	1	1	三条実美書簡 右大臣全権公使〔岩倉具視〕宛	三条実美	〔岩倉具視〕	(明治6年)3月16日	国内状勢報告、華盛頓頓着後之御消息無之日々屈指渴望仕候	墨書			1通	
265	1	2	三条実美書簡 岩倉具視宛	三条実美	岩倉具視	(明治6年)7月9日	国内状勢報告、皇居御炎上二なるも当節仮皇居二	墨書			1通	
265	1	3	三条実美書簡 岩倉具視宛	三条実美	岩倉具視	(明治6年)6月17日	国内状勢報告、大久保氏事無滞帰朝相成、各国形勢等も詳二伝承	墨書			1通	
265	2	1	〔岩倉具視〕書簡	〔岩倉具視〕			連日不参実二恐懼、諸官ノ不平頻リニシテ	墨書		無署名	1通	

## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
265	2	2	対(岩倉具視)書簡 硯宛	(岩倉具視)	硯	4月8日	今日八愚孫何か旁々差出候	墨書		差出人は対岳の「対」	1通	
265	2	3	岩倉具視書簡 井上馨宛	岩倉具視	井上馨	1月28日	昨日御文通後三条家ヨリ今日帰京之旨報知	墨書			1通	
265	2	4	(岩倉具視)書簡	(岩倉具視)			御依頼候金子借用之事、澤家意外大借存亡之境二立至り	墨書		無署名	1通	
265	3	1	伊藤博文書簡 黒田清隆宛	伊藤博文	黒田清隆	(明治21年)4月26日	内大臣今朝帰京相成、枢密院組織案八同大臣之一覧二	墨書			1通	
265	3	2	伊藤博文書簡 世外(井上馨)宛	伊藤博文	(井上馨)	12月2日	昨夜之談合之結果八如何相成候哉	墨書		宛先は「世外」	1通	
265	4	1	椿山荘主(山県有朋)書簡 朝比奈宛	(山県有朋)	朝比奈	9月15日	陸海予算削減の件	墨書		差出人は「椿山荘主」	1通	
265	4	2	椿山荘主(山県有朋)書簡 山県伊三郎宛	(山県有朋)	山県伊三郎	12月18日	昨日白根氏二面会、幹助渡台之一事八已二先便を以其元二申遣候	墨書		差出人は「椿山荘主」	1通	
265	5	1	三条実美書簡 岩倉具視宛	三条実美	岩倉具視		家政之不行届より奉汚尊聞候義二立至り慚愧之至二存候も	墨書			1通	
265	5	2	岩倉具視書簡 大原重実宛	岩倉具視	大原重実	(明治6年)10月9日	両伊国親王所参内何日二候哉	墨書			1通	
265	5	3	大久保一蔵書簡 北岡宛	大久保一蔵	北岡	11月29日	昨日御評議之形行拝承仕候得共、今晚山脚え尚断じて御示談可被遊、申刻より御出行二候間	墨書			1通	
265	5	4	準一郎(木戸孝允)書簡	(木戸孝允)	(欠損)	11月29日	豊端丸来着二御座候處二十五日揚碇、一建之蒸気艦今一艘被帰不申而八平六郎様御一建御出発難相成	墨書		差出人は「準一郎」	1通	
265	6	1	三条実美書簡 岩倉具視宛	三条実美	岩倉具視	10月23日	御安全奉賀候、明日は是非拜眉を得申度候	墨書			1通	
265	6	2	伊藤博文書簡 外務卿(井上馨)宛	伊藤博文	(井上馨)	(明治13年)4月17日	井上書記官を清国へ派遣シ戸公使二談判ヲ聞カシムルニ付	墨書		宛先は「外務卿」	1通	
265	6	3	黒田清隆書簡 松方正義宛	黒田清隆	松方正義	明治31年5月14日	岩崎総裁からは是非増徴必要無之件は	墨書			1通	
265	6	4	山県有朋書簡 横井宛	山県有朋	横井	12月27日	其節御談話、参謀服務要領序文	墨書			1通	

## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
265	6	5	松方正義書簡 黒田清隆宛	松方正義	黒田清隆	2月16日	今日午前は拝謁仕候而小田原之形行は逐一言上、沼津伯之模様は何分相分不申候間	墨書			1通	
265	6	6	西園寺公望書簡 三好重臣宛	西園寺公望	三好重臣	11月10日	此書持参人椋木唯慎八先年馬関二而御承知之、此度上京一番ヲ以テ照会仕呉候	墨書			1通	
265	6	7	西園寺公望書簡 原田真義宛	西園寺公望	原田真義	明治27年6月24日	御手紙御申越之趣承知仕候如命司法大臣官邸可然と存候間借用万端其運ニ御取計	墨書			1通	
266	0	0	熊本藩士書状集					墨書			1巻(3通)	
266	1		長岡是容書簡 萩昌国宛	長岡是容	萩昌国	11月28日	文武御委任の儀、昨日御免となる。近日、雲上も不塩梅。横井と宜しく話し合ってほしい。	墨書			1通	
266	2		横井小楠書簡	横井小楠		4月19日	昨日帰府とのこと、私も28日出発、明日出府するのでお会いしたい。	墨書		宛名人欄は抹消されている	1通	
266	3		元田永孚書簡	元田永孚		5月14日	勅書返上難易論、素懐書の両書、誤落多く探索中。天下大霧茫茫、時勢を待つのみ。	墨書		宛名人欄は抹消されている	1通	
267	0	0	五代友厚書簡巻					墨書			1巻(3通)	
267	1		五代友厚書簡 北畠治房宛	五代友厚	北畠治房	明治7年1月17日	南白の云々疾御成功と奉存候、なお事情わかればお洩らし願う	墨書			1通	
267	2		五代友厚書簡 北畠治房宛	五代友厚	北畠治房	明治7年1月21日	岩倉公の幸運は則ち日本政府の機運未だ尽きずというべし、御富殖一条につき早川の論は尤も、鉦山学は今後必要なるも洋行は国内で出来るだけ学んでからにすべし	墨書			1通	
267	3		五代友厚書簡 北畠治房宛	五代友厚	北畠治房	3月6日	自分は牧山震太郎と面会出来ない、閣下の東行に際してひとこと	墨書			1通	
268	0	0	大木喬任書簡巻・自筆草案巻					墨書			3巻(6通)	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
268	1	1	大木喬任書簡	大木喬任			鷺津九蔵の話した件は全くの間違い、松浦氏のみならず先年頃より大變の讒言を受けている、去年来大政に参与しているのを嫉むもの不少	墨書			1通	
268	1	2	大木喬任書簡	大木喬任			大隈氏に面会、必ず御請被致候事と奉存候、同氏御請前に十分の御協議相整居候様熱望、政府十全の力を養成して二十三年を待つべきの秋	墨書			1通	
268	2	1	大木喬任書簡	大木喬任	村上(警視)	10月5日	過日ご送付の新聞記事につき取消しをさせた、不満足なるもこれ以上致し方なし	墨書			1通	
268	2	2	大木喬任書簡	(大木喬任)			貴族院における商法延期法案の見直しについて	墨書			1通	
268	3	1	大木喬任書簡			明治6年12月15日	一大区九小区町用扱所小遣の行動につき申立書	墨書		朱字にて事実確認の書き込みあり	1通	
268	3	2	大木喬任書簡	(大木喬任)			昨日御内談の件勘考したが伊藤氏は大丈夫であろう、自分は病身にて困難に堪えず、同様の事は六、七日前に佐野氏からも言われた	墨書			1通	
269	0	0	永田秀次郎宛書簡等					墨書			9通	
269	1		松方正義書簡 稲垣宛	松方正義	稲垣	2月15日	昨日より大蔵大臣も来朝、昨夜大阪にて伊藤伯と面会、軍費増加一条・朝鮮公債一条につき、近日中御地へ出掛けお調べの方面拝見したし、山海関の事件も速やかに準備調べたし	墨書			1通	
269	2		寺内正毅書簡 中村弥六宛	寺内正毅	中村弥六	5月9日	先日ご内話の件につき過般別封の回答があり大いに失望、湯本氏の来簡を念のため貴覽に供す	墨書			1通	
269	3		寺内正毅書簡 中村弥六宛	寺内正毅	中村弥六	大正4年6月24日	失礼のわび、病状見舞い	墨書			1通	
269	4		寺内正毅書簡 畑良太郎宛	寺内正毅	畑良太郎	大正6年9月10日	妻への見舞・土産への礼状	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
269	5		若槻礼次郎書簡 中村是公宛	若槻礼次郎	中村是公	大正14年11月11日	第2回明治神宮競技大会への後援感謝	墨書			1通	
269	6		白川義則書簡 永田秀次郎宛	白川義則	永田秀次郎	昭和5年9月19日	昭和御大礼奉祝志寄贈感謝	墨書			1通	
269	7		牧野伸顕書簡 永田秀次郎宛	牧野伸顕	永田秀次郎	昭和5年9月19日	昭和御大礼奉祝志寄贈感謝	墨書			1通	
269	8		平沼騏一郎書簡 永田秀次郎宛	平沼騏一郎	永田秀次郎	昭和5年9月20日	昭和御大礼奉祝志寄贈感謝	墨書			1通	
269	9		小泉又次郎書簡 永田秀次郎宛	小泉又次郎	永田秀次郎	昭和5年9月21日	昭和御大礼奉祝志寄贈感謝	墨書			1通	
270	0	0	佐藤忠淳等宛書簡巻								1巻(9通)	
270	1		田中光顕書簡 佐藤忠淳宛	田中光顕	佐藤忠淳	8月18日	古碑摺物の件	墨書			1通	
270	2		田中光顕書簡 佐藤忠淳宛	田中光顕	佐藤忠淳	2月1日	図書寮文庫の東大寺の過去帳一巻を一覧致したい	墨書			1通	封筒
270	3		竹添進一郎書簡 佐藤忠淳宛	竹添進一郎	佐藤忠淳	10月16日	左伝巻末の行の表記につき問い合わせ	墨書			1通	
270	4		竹添進一郎書簡 佐藤忠淳宛	竹添進一郎	佐藤忠淳	(明治34)年12月23日	周礼注疏校正の依頼	墨書			1通	封筒
270	5		南摩綱紀書簡 佐藤忠淳宛	南摩綱紀	佐藤忠淳	(明治33)年1月25日	添削を乞う	墨書			1通	漢詩(1枚)
270	6		宗重望書簡 佐藤忠淳宛	宗重望	佐藤忠淳	10月8日	電話にて取調、忝く存候	墨書			1通	封筒
270	7		渡辺千秋書簡 山県篤蔵宛	渡辺千秋	山県篤蔵	8月16日	図書集成拝借	墨書			1通	
270	8		渡辺千秋書簡 山県篤蔵宛	渡辺千秋	山県篤蔵	8月18日	露国の部は図書集成の俄国、幹国にあり	墨書			1通	封筒
270	9		山県篤蔵書簡 寺師宗徳宛	山県篤蔵	寺師宗徳	7月7日	病気につき史談会参加せず	墨書			1通	封筒
271	0	0	西園寺公望書簡	西園寺公望	小池靖一	(大正4)年7月25日	兆民居士の碑背面文写を来遊の際、譲る	墨書			1通	封筒
272	0	0	黒田清隆・川村純義書簡	黒田清隆・川村純義				墨書			2巻(2通)	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
272	1		黒田清隆書簡 西郷従道、川村純義宛	黒田清隆	西郷従道、川村純義	(明治14年)8月21日	開拓使官有物払下げ問題に関連して、大隈、三菱社等の術中に陥らざるよう警告	墨書			1巻(1通)	
272	2		川村純義書簡 川上操六、西郷従道宛	川村純義	西郷(従道)、川上(操六)	9月29日	鹿児島県知事並びに島津久賢両氏へ別紙大洲(鉄然力)氏書面相添差廻致度、照国神社建築については東京にて別に建築事業に関係する事も御座なく候、島津久賢氏は照国社宮司に御座候	墨書			1巻(1通)	
273	0	0	山本達雄書簡巻 小林万吉宛					墨書			1巻(17通)	
273	1		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	(明治42)年8月10日	(大阪)大火の件。道幅広いたし候が先決問題、寄付金増加之模様、分配之方法其宜しきを得る。	墨書			1通	
273	2		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	(明治42)年9月24日	久敷懸案之支那問題も可なり之結果二而落着、差当是れと申大問題も無之。小生勸銀候補之義、六月中桂公より内々勧誘有之、藤公並二松侯之意見を聞きたる処、数日中二東上応諾之返事可致積二候。	墨書			1通	
273	3		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	(明治42)年12月2日	勸銀就職二付而八早速御礼状を辱し感謝二不堪候	墨書			1通	
273	4		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	(明治43)年7月15日	去月松村方再ひ男児出産、達郎と命名。勸銀之方八両三年之内二八可なり之発展を観る事も可有之歟。新統監本日出發。	墨書			1通	
273	5		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	(明治43)年10月4日	銀行之方八此曲又壹千五百万之債券発行いたし候	墨書			1通	
273	6		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	(明治41)年12月23日	先日八赤新聞御送被下大略読了、高崎氏更々痛痒を感せぬ事ト被察候、毎日新聞社員拘留杯ト八近来之珍事。井上(光)大将之永眠八為国家痛情之無。	墨書		宛名は「竹溪」(山本達雄の号)	1通	

## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
273	7		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	(明治42)年12月24日	小弟勤銀就職一已来已二ヶ年、気分至極活撥二有之候、孫達郎八何奈故障無之生育、二女文子広幡忠隆より結婚之申込有之。	墨書			1通	
273	8		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	(明治45)年7月10日	桂公後藤男一行貴地送別之実況御通報、東京出発当時之人気八実二強勢之もの二有之	墨書			1通	
273	9		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	(大正元)年12月31日	過日来政変之為再度御投函二預り御厚情感謝。国民之多数八西園寺侯之处置を諒とせられ同情、今度の議会八結局解散之事ト拝察、貴新聞八大二西園寺二同情有之甚力強く。	墨書			1通	
273	10		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	大正2年3月5日	農相拝命、御祝詞御祝品御贈与御礼	墨書			1通	
273	11		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	(大正2)年7月8日	有栖川宮殿下薨去。新陸相楠瀬親任。行政整理八不満足ながら一段落、任用令八結局妥協相調可申歎。電燈合併問題八不意之反抗を受け遂二中止之不得止、貴市長肝付男二三之策士二おだてられ電燈市営云々之事有之。	墨書			1通	
273	12		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	(大正3)年4月21日	山本内閣総辞職、海軍収賄問題之為政友会も自然手疵を負ひ不人望になり、当分八内閣之遣り方を傍観いたし休養之体度を取るが上策と存候、大隈伯も是迄大言壮語せしも實際責任者となりし八容二実行出来申間敷	墨書			1通	封筒(小林万吉殿 親展 山本達雄〔表印〕 3.4.21〔裏印〕 3.4.22)
273	13		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	(大正5)年3月22日	最近撮影之御写真御郵贈。大隈内閣八議会閉会后八直二瓦解可致様一般二拝察せしも肝腎之御本人八毫も其意思無之、小生八寛二停観之積二候、对支はしめ外交八一定之方針なく朝令暮改之有様二候。	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
273	14		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	(大正3)年9月4日	過日八小生写真挿入之大坂毎日新聞御送被下感謝。欧州之戦乱八本邦二飛火し遂二独塊を敵とする二立至り候八実二意外之至。戦争区域八支那海二限られ南洋二手出しも出来ざる模様、如斯窮屈之下二出兵之止むを得ざる二至りし八外交上適當之処置なるや、識者間二八外交上非難之声頗る喧しく、北浜銀行遂二今日之境遇二立至り営業継続之有無八偏二藤田男之決心如何。	墨書			1通	
273	15		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	(大正6)年5月2日	総選挙之結果自党優勝之地位二立候事二なりし、勢ひ二走らず自重を專一となし、厳正中立を守り徐二世間之推移二応じて処断するを得策と存候。貴市を中心として奈良兵庫京都二おける政友会之不振八全く二大新聞より常二攻撃を受け候結果之趣果て然るや否八不相分候。支那二対する前内閣之失敗八寺内内閣二於て速二矯正し日支親善之実を挙げもらひ度事二候。	墨書			1通	
273	16		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	(大正6)年9月24日	小生近日支那行之義新聞二掲載有之候、兼テ希望いたし居候朝鮮満洲支那一部之漫遊ヲ試ミ度、観光旅行二外ならず	墨書			1通	
273	17		山本達雄書簡	山本達雄	小林万吉	(大正8)年7月2日	農商務山田技師大罪事件八実二意外、省内二八他二何等関係せし者八断して無之。米問題二付テ八就職当時より今日二到迄攻撃之中心となり閉口、諸物価一般之騰貴する二米独り下落為致候事之不可能なる事八識者間之認容する所、八九月之端境期迄二八大都市二多量之外米を堆積為致一般之安心を得る様いたし度。講和問題も愈調印相済ミ御同慶之至、支那之近況シベリヤ将来又思想界之激流等二預る時八寒心之事不少。	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
274	0	0	松平慶永書簡	松平慶永	松平正直	(明治14年)12月28日	約束の密書上呈の品贈付候間決して他言断申入候、御返却に及ばず	墨書		『明治天皇紀』第5巻に収録あり	1通	明治14年10月12日の勅諭についての連名の上疏(松平慶永・伊達宗城・毛利元徳・島津忠義・池田茂政・池田章政・伊達宗徳・池田輝知)
275	0	0	三条実美書簡	三条実美	岩倉具視	明治4年12月11日	内地平穩、今頃は米国にご到着と想像、国内情勢異常なし、留学学生の件	墨書			1通(2枚)	
276	0	0	井上毅書簡							元は幅に貼っていた	2通	
276	1		井上毅書簡	井上毅	白木(為直)、財津(志満記)	(明治13年)11月5日	清朝、李鴻章ありといえども衰運、山繭の件ほか。	墨書			1通	
276	2		井上毅書簡	(井上毅)	(記載なし)		秘啓 山田、嘉悦の権在立法院の説英国衰運の現況我国に適用いたすべきにあらず	墨書			1通	
277	0	0	犬養毅書簡 堀川家関係								33点	
277	1		犬養毅書簡 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	大正6年5月1日	来諭の如く五氏に礼状差し出す	墨書			1通	
277	2		犬養毅書簡 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	大正6年6月3日	新設臨時外交委員会に付相談したし	墨書			1通	
277	3		犬養毅書簡 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	大正7年6月21日	貴君御担当いただければ幸い、鈴木とも相談し永續させし	墨書			1通	
277	4		犬養毅書簡 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	大正7年7月21日	事実公になれば列国の猜疑を除く上に好都合、しかし自分が公開したことにするのは不都合	墨書			1通	
277	5		犬養毅書簡 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	大正7年8月21日	貴諭御尤も	墨書			1通	犬養毅名刺、1枚
277	6		犬養毅書簡 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	大正7年9月23日	この作は備前の有網ではなく、珍重するほどのものではなし	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
277	7		犬養毅書簡 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	大正7年9月 日	祭文に加筆しすぎたため、御取捨下されたし	ペン			1通	(1)立憲国民党頸城支部故人に対する祭文原稿 / (2)祭文原稿に関する堀川美哉覚書
277	8		犬養毅葉書 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	大正8年7月29日	御囑の揮毫完成	ペン			1通	
277	9		犬養毅書簡 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	大正8年9月16日	馬岡氏より木堂会発会式への出席要請あり、出席するので手続きを願う	ペン			1通	
277	10		犬養毅書簡 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	大正9年3月28日	福地君難儀に付最大額の援助したし、ついでに貴君よりお渡しされたし	ペン			1通	
277	11		犬養毅書簡 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	大正9年12月9日	伊賀の松永才助より揮毫依頼あり、いかなる人物か。	墨書			1通	
277	12		犬養毅葉書 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	大正10年10月14日	揮毫完成、栗林勝太郎死去	ペン	葉書		1通	
277	13		犬養毅書簡 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	昭和4年12月28日	加藤は票を譲らないであろうから、出馬は森幹事長と打合わせ下されたし	ペン			1通	
277	14		犬養毅葉書 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	昭和5年2月 日	佐藤安之助君の応援を願う	墨書	絵葉書		1通	
277	15		犬養毅書簡 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	昭和5年10月7日	昨夜上州より帰来、メロン感謝	墨書			1通	
277	16		犬養毅葉書 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	4月1日	茶話会御招待感謝、出席す	墨書	葉書		1通	
277	17		犬養毅書簡 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	7月6日	調査の件、鈴木と相談し1ヵ年支出することに決定、直ちに御着手されたし	墨書			1通	
277	18		犬養毅書簡 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉	31日	3日夕方は最上直吉弟の結婚式の為出席できず	墨書		封筒消印は7月6日カ	1通	
277	19		犬養毅書簡 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉		大蔵報告および新聞差上げます	墨書			1通	
277	20		犬養毅書簡 堀川美哉宛	犬養毅	堀川美哉					封筒のみ	1通	
277	21		犬養毅書簡 本部幹事長他宛	犬養毅	本部幹事長、幹事	大正7年7月12日	秋田支部会、都合よくまとまる	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
277	22		犬養毅書簡	犬養毅		大正9年4月 日	衆議院議員候補福地銭吉推薦状	印刷			1通	
277	23		藤堂高成書簡 犬養毅宛	藤堂高成	犬養毅	大正10年4月27日	堀川氏応援のため書状を出す	墨書			1通	
277	24		堀川幾瑛書簡 堀川美哉宛	堀川幾瑛	堀川美哉	大正3年1月16日	「第二信」とあり	墨書			1通	
277	25		堀川幾瑛書簡 堀川美哉宛	堀川幾瑛	堀川美哉	4月20日	「第七信」とあり	墨書			1通	
277	26		堀川美哉書簡 堀川義雄・堀川幾瑛宛	堀川美哉	堀川義雄・堀川幾瑛	大正3年4月28日	米国での近況報告	ペン			1通	
277	27		堀川保郎書簡 堀川家一同宛	堀川保郎	堀川家一同	12月 日		ペン	クリスマスカード		1通	
277	28		H. Kok. Haus o書簡 J.Horikawa宛	H. Kok. Haus o	J.Horikawa	1921年1月7日		ペン		欧文	1通	
277	29		[H. Kok. Haus o]カード	[H. Kok. Haus o]				ペン	絵葉書	欧文	1通	
277	30		[差出人不明]カード					ペン	絵葉書	欧文	1通	
277	31		空封筒(外国郵便)								5通	
277	32		犬養毅書簡	犬養毅		大正6年3月	衆院議員候補堀川美哉推薦状	墨書			1通	
278	0	0	大久保春野書簡 長岡外史宛	大久保春野	長岡外史	明治43年2月28日	石塚総務長官より別紙綴内報有之韓国現況八日二面倒ヲ重ナル状態統監府之不統一不活發 老生八統監ニ対シ飽迄温和之方針ヲ主持 内閣ニモ韓国現在将来之事ヲ熟考之上ニ断案ハ必要之時機ニ相迫リ 大臣えも御熟議冀望 別紙釜山龜山理事官内報書 明石参謀長ニ意見ヲ徴シ候所別冊之通リ申出デ	墨書		「別紙釜山龜山理事官内報書」は添付なし	1巻(1通)	覚書「韓国ノ処分」明石元二郎作成カ 墨書 陸軍野紙(卷子中に貼り合わせ)
279	0	0	五代友厚書簡 木戸孝允宛	五代友厚	木戸孝允(城戸寛二)	[慶応3年]1月15日	長州藩士土肥又一(毛利親直変名)と福原芳山の英国留学の件、ガラバ(トーマス=グラバー)との打ち合わせ内容	墨書		城戸寛二は木戸孝允の変名	1巻(1通)	
280	0	0	岩倉具視宛書簡巻					墨書			1巻(15通+3枚)	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
280	1		有栖川宮熾仁書簡 三条・岩倉宛	有栖川宮熾仁	三条実美・岩倉具視	(明治16年)3月21日	内務卿よりの別紙回付	墨書			1通	
280	2		三条実美書簡 岩倉宛	三条実美	岩倉具視	(明治16年)	左府公よりの別紙送付、昨夜新潟県令よりの電報では国事犯拘引のため警部巡查主張のよし	墨書			1通	
280	3		佐々木高行書簡 山田顕義宛	佐々木高行	山田顕義	(明治16年)3月21日	只今別紙到来したので回付す	墨書			1通	
280	4		電信中央局電報 佐々木高行宛	電信中央局	佐々木高行	(明治16年)3月20日	中頸城郡高田の暴動に関する新潟新聞社から報知新聞社宛の電報の内容上申	墨書			1通	
280	5		大久保利通書簡 岩倉具視宛	大久保利通	岩倉具視	(明治6年)11月3日	内務省創立にき是非内務は此節御引分ケの方可然と愚考、山県を参議兼陸軍卿とすることにつき早々拝命の運びご尽力願う、久光のことについて	墨書			1通	
280	6		大久保利通書簡 岩倉具視宛	大久保利通	岩倉具視		主上ご満足のよし国家の大慶、速やかなご上京を待つ	墨書			1通	
280	7		(諸改革案のメモ)				兵制、官制、人事などについて	墨書		280-6と同じ用紙	3枚	
280	8		[大久保利通書簡 岩倉具視宛]	[大久保利通]	[岩倉具視]		別紙の鍋島への書状草案へ加筆願う、大橋慎蔵転任の件、明日丸山作楽を招きたい	墨書			1通	
280	9		[大久保利通書簡案]	[大久保利通]			民蔵分割の目的に関する説明	墨書		280-8と同じ用紙、鍋島宛書状草案か	1通	
280	10		三条実美書簡 岩倉宛	三条実美	岩倉具視	2月7日	布哇の件で相対請求の義について外務卿より纒々言上あり、別紙新聞広告の件は思召なければ文部卿へ内意伝える所存	墨書			1通	
280	11		三条実美書簡 岩倉宛	三条実美	岩倉具視	2月23日	大隈へ賜物書状ご披見の上ご加筆願う、森金之丞上京	墨書			1通	
280	12		三条実美書簡 岩倉宛	三条実美	岩倉具視	7月31日	木曾源太郎の大宮司就任は既に他人が内決しているため難しい	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
280	13		三条実美書簡 岩倉宛	三条実美	岩倉具視	8月27日	過日来外務卿の議論で空しく過ごしていたが魯公使忠告は誠に幸甚、華族の建言には失望、久光卿の外国人接待はしかるべからず	墨書			1通	
280	14		[差出人不明書簡]			6月15日	本日入来をお願いしたがただいま横港へ出張のため在宅で待たれたい	墨書			1通	
280	15		三条実美書簡	三条実美	(岩倉具視)	7月7日	今日中都合次第入来願う	墨書			1通	
280	16		三条実美書簡	三条実美	(岩倉具視)	7月20日	今朝八時入来願う	墨書			1通	
281	0	0	吉田章信宛書簡	大久保利武・林博太郎・石黒忠憲・嘉納治五郎・佐藤恒丸	吉田章信	6月13日、大正15年10月14日、大正5年10月1日、9月1日、大正8年12月28日	『運動生理学』寄贈への礼状ほか	墨書			1巻	
282	0	0	渡辺幾治郎書簡 君島一郎宛								9通	
282	1		渡辺幾治郎書簡 君島一郎宛	渡辺幾治郎	君島一郎	昭和13年12月15日	過日は初めて拝顔の栄を賜候二長時間二亘りて御清閑を妨げ誠ニ失礼致候、若し向後御会談ニよって予定の研究に邁進致候を得ば拙生幸福これに過ぐるもの無之候、何卒宜敷御願申上候。	墨書			1通	
282	2		渡辺幾治郎書簡 君島一郎宛	渡辺幾治郎	君島一郎	昭和14年1月9日	小生研究費補助につき御繁忙中に關らず種々御高配被下誠に感謝罷在候、別紙御仰せにまかせ研究目的の費用書に略履歴書を添へ提出仕候、御一覽の上可然候取計被下度候。	墨書			1通	
282	3		渡辺幾治郎書簡 君島一郎宛	渡辺幾治郎	君島一郎	昭和14年2月23日	拙著外交と外交家、日本憲政基礎資料上梓相成候に付、御高覧の栄を賜はり候はば幸甚の至と存候、過日関屋氏にも一書差上御依頼致置候、御面会の折は宜敷御伝へ願下度候。	墨書			1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
282	4		渡辺幾治郎書簡 君島一郎宛	渡辺幾治郎	君島一郎	昭和14年3月7日	別紙二通記入差出し候二付可然御取計被下度、報公会常務理事方面に可然御高配被下度、尚ほ審査の爲め著書論文の提出要求有之候はば御報被下度候、小生も来週位に穂積先生に面会奉て御依頼可申候、関屋先生にも宜しく御願ひ申上候。	墨書			1通	
282	5		渡辺幾治郎書簡 君島一郎宛	渡辺幾治郎	君島一郎	昭和14年3月29日	小生今日穂積理事を訪問詳細冀望を陳述御依頼申上候、四月末日までに申込が非常に多いと詮考に頗る困難すると申し居られ候、且つ最近の例は二ヶ年と前から申込むは少なく、初め一ヶ年として成績により翌年継続するが多いと申し居られ候、尚ほ小生は研究と史料の蒐集の二目的とし差当り史料の蒐集を主としたき旨など申上置き候、宇野理事は小生面識無之候へ共、紹介を得るは困難に有之候、先生の方に可然人有之候はば御一報被下度。	墨書			1通	
282	6		渡辺幾治郎書簡 君島一郎宛	渡辺幾治郎	君島一郎	(昭和14)年4月11日	小生の昭和政治史研究の要説二つあり、その一は精確なる根本史料によって従来伝へられたる昭和史の誤謬を正す事、神戸川崎家、京都岩倉村、東京川上某氏の三か所にある岩倉公の文書を徹底的に調査仕度。その二は、明治天皇を拝察して昭和史を研究する事。それには熊本市の元田男爵家の文書の研究に有之候。右文書の調査謄写整理等二は相当の費用を要する事二有之、若しこの際報公会の方を成願し得ば徹底的に是非着手仕候。	墨書			1通	
282	7		渡辺幾治郎書簡 君島一郎宛	渡辺幾治郎	君島一郎	昭和14年12月12日	服部報公会の方は御高配を以て七月決定研究援助金も二回に分ちて千円支給も受け遅々乍ら研究も継続、毎月三十円乃至四十円の範囲にて資料も謄写いたさせ居り候、一ヶ年内には多少報告申すべき成績も得べしと期待仕居り候。	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
282	8		渡辺幾治郎書簡 君島一郎宛	渡辺幾治郎	君島一郎	昭和15年3月17日	拙著小冊子別封を以て拝呈致候。報公会により神戸市川崎文書研究罷在候、東洋経済社にて出版の希望有之、目下川崎家に交渉中。朝日新聞社より皇国大日本史出版、神武天皇祭を期して発売の運に相成り候。	墨書			1通	
282	9		渡辺幾治郎書簡 君島一郎宛	渡辺幾治郎	君島一郎	昭和15年7月11日	拙著皇国大日本史一部拝呈、報公会の援助により研究中の岩倉文書は東洋経済社より公刊の事に決定、秋頃よりその運になり可申候。	墨書			1通(2枚)	
283	0	0	大矢馬太郎関係書簡								30通	
283	1		足達良平書簡 大矢馬太郎宛	足達良平	大矢馬太郎	昭和5年7月13日		ペン	絵葉書	鎌倉・長谷観音 絵葉書	1通	
283	2		天野屋旅館書簡 大矢馬太郎宛	天野屋旅館	大矢馬太郎	(7)年1月1日	年賀状	墨書、印刷			1通	
283	3		小田島禎治郎書簡 大矢馬太郎宛	小田島禎治郎	大矢馬太郎	(7)年1月1日	年賀状	墨書			1通	
283	4		後藤清郎書簡 大矢馬太郎宛	後藤清郎	大矢馬太郎	大正10年4月15日		ペン	絵葉書	もたれの瀬戸絵 葉書	1通	
283	5		小西善七書簡 大矢馬太郎宛	小西善七	大矢馬太郎	大正14年9月13日		ペン	絵葉書	ロサンゼルス絵 葉書	1通	
283	6		佐々木兵次書簡 大矢馬太郎宛	佐々木兵次	大矢馬太郎	8月4日	暑中見舞い	ペン	絵葉書	銚子・犬吠埼灯 台絵葉書	1通	
283	7		佐々木兵次書簡 大矢馬太郎宛	佐々木兵次	大矢馬太郎	8月5日	暑中見舞い	ペン	絵葉書	銚子・犬吠埼灯 台絵葉書	1通	
283	8		大安生命保険株式会社書簡 大矢馬太郎宛	大安生命保険株式会社	大矢馬太郎	昭和5年1月1日	年賀状	ペン、印刷			1通	
283	9		高橋信太郎書簡 大矢馬太郎宛	高橋信太郎	大矢馬太郎	大正元年11月17日		ペン	絵葉書	三保松原絵葉 書	1通	
283	10		出淵書簡 大矢馬太郎宛	出淵	大矢馬太郎	昭和10年9月1日		ペン	絵葉書	ニュージーラン ド・クック山絵 葉書	1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
283	11		藤兵衛書簡 大矢馬太郎宛	藤兵衛	大矢馬太郎			ペン	絵葉書	東京・銀座通り 絵葉書	1通	
283	12		仁科信太郎書簡 大矢馬太郎宛	仁科信太郎	大矢馬太郎	(8)年5月1日		ペン	絵葉書	米沢市役所絵 葉書	1通	
283	13		日華万歳生命保険株式会社書簡 大矢馬太郎宛	日華万歳生命保険株式会社	大矢馬太郎	昭和5年1月1日	年賀状	ペン、印刷			1通	
283	14		野本治平書簡 大矢馬太郎宛	野本治平	大矢馬太郎	昭和5年1月1日	年賀状	墨書			1通	
283	15		野本治平書簡 大矢馬太郎宛	野本治平	大矢馬太郎	6月4日		ペン	絵葉書	北海道・大雪山 絵葉書	1通	
283	16		日澤剛太郎書簡 大矢馬太郎宛	日澤剛太郎	大矢馬太郎	(7)年11月8日		ペン	絵葉書	善光寺絵葉書	1通	
283	17		馬杉日進書簡 大矢馬太郎宛	馬杉日進	大矢馬太郎	(11)年12月18日		ペン	絵葉書	福島県・飯坂温泉 絵葉書	1通	
283	18		松崎憲司書簡 大矢馬太郎宛	松崎憲司	大矢馬太郎	大正14年8月7日		ペン	絵葉書	福井県・小浜絵 葉書	1通	
283	19		三田源四郎書簡 大矢馬太郎宛	三田源四郎	大矢馬太郎	(10)年6月12日		ペン	絵葉書	ベルリン絵葉書	1通	
283	20		南澤隆次郎書簡 大矢馬太郎宛	南澤隆次郎	大矢馬太郎	昭和6年1月9日		ペン	絵葉書	高野山絵葉書	1通	
283	21		山形市一行書簡 大矢馬太郎宛	山形市一行	大矢馬太郎			ペン	絵葉書	山形県・山寺絵 葉書	1通	
283	22		旅館呉服橋龍名館書簡 大矢馬太郎宛	旅館呉服橋龍名館	大矢馬太郎	昭和5年1月1日	年賀状	墨書、印刷			1通	
283	23		旅館呉服橋龍名館書簡 大矢馬太郎宛	旅館呉服橋龍名館	大矢馬太郎	昭和8年1月1日	年賀状	墨書、印刷			1通	
283	24		成田みつ書簡 大矢絹子宛	成田みつ	大矢絹子	(11)年11月4日		ペン	絵葉書	葉山御用邸下 海岸絵葉書	1通	
283	25		大矢まさ書簡 大矢こう子宛	大矢まさ	大矢こう子	(14)年4月14日		ペン	絵葉書	長野県・善光寺 絵葉書	1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
283	26		大矢末次郎書簡 大矢こう子宛	大矢末次郎	大矢こう子	{4}年11月19日		ペン	絵葉書	城崎温泉絵葉書	1通	
283	27		山崎キツ書簡 大矢さく子宛	山崎キツ	大矢さく子	{大正元}年11月11日		墨書	絵葉書	川崎大師庭園絵葉書	1通	
283	28		大矢ふさ書簡 大矢絹子宛	大矢絹子	大矢ふさ	8月26日		墨書	絵葉書	十和田湖絵葉書	1通	
283	29		大矢エイ子書簡 大矢力弥宛	大矢エイ子	大矢力弥	{昭和10}年5月12日		鉛筆	絵葉書	鶴岡八幡宮絵葉書	1通	
283	30		順弥書簡 大矢富二郎宛	順弥	大矢富二郎	{11}年8月16日		ペン	絵葉書	朝鮮・平壤絵葉書	1通	
284	0	0	諫早家崇書簡 大久保海龍宛	諫早家崇	大久保海龍	7月31日、8月27日		墨書			2通	封筒2枚
285	0	0	板谷宮吉書簡 勝野次郎右衛門宛	板谷宮吉	勝野次郎右衛門	昭和12年7月20日	暑中見舞い	墨書	絵葉書	昭和12年北海道大博覧会絵葉書	1通	
286	0	0	江木千之書簡 原田熊雄宛	江木千之	原田熊雄	明治43年11月27日		墨書			1通	
287	0	0	大木遠吉書簡 松浦厚宛	大木遠吉	松浦厚			墨書			1通	
288	0	0	島津忠亮書簡 五十嵐甚蔵宛	島津忠亮	五十嵐甚蔵	11月16日		墨書			1通	
289	0	0	立花鑑徳書簡 酒井忠良宛	立花鑑徳	酒井忠良	{9}年4月11日	従三位への陞位祝辞	墨書			1通	
290	0	0	田中比左良書簡 酒井忠良宛	田中比左良	酒井忠良	昭和10年10月18日	酒井忠良令嬢結婚祝い	墨書			1通	
291	0	0	成信書簡	成信	二條			墨書			1通	
292	0	0	鉄道省懇親会招待状 辻太郎宛								5通	
292	1		仙石貢書簡	仙石貢(鉄道大臣)	辻太郎	大正14年12月24日		印刷			1通	
292	2		井上匡四郎書簡	井上匡四郎(鉄道大臣)	辻太郎	大正15年12月14日		印刷			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
292	3		井上匡四郎書簡	井上匡四郎 (鉄道大臣)	辻太郎	昭和2年3月18日		印刷			1通	
292	4		小川平吉書簡	小川平吉(鉄道大臣)	辻太郎	昭和2年12月20日		印刷			1通	
292	5		小川平吉書簡	小川平吉(鉄道大臣)	辻太郎	昭和3年12月20日		印刷			1通	
293	0	0	仲小路廉関係文書(仲小路宣宛書簡)							資料番号1441と出所は同一	164点	
293	1		靄軒会書簡 深見幸雄宛	靄軒会	深見幸雄	大正14年4月	『仲小路廉集』両巻頒布案内	墨書			1通	
293	2		天野亮一書簡 仲小路宣宛	天野亮一	仲小路宣	[大正14]年2月14日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	3		五十嵐秀助書簡 仲小路宣宛	五十嵐秀助	仲小路宣	大正14年1月14日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	4		五十嵐秀助書簡 仲小路宣宛	五十嵐秀助	仲小路宣	[大正14]年2月16日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	5		池辺龍一書簡 仲小路宣宛	池辺龍一	仲小路宣	[大正14]年2月2日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	6		石塚英蔵書簡 仲小路宣宛	石塚英蔵	仲小路宣	大正14年1月19日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	7		磯村豊太郎書簡 仲小路宣宛	磯村豊太郎	仲小路宣	大正14年1月20日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	8		市村一郎書簡 仲小路八重子宛	市村一郎	仲小路八重子	[大正14]年1月12日	仲小路廉一周忌欠席の通知	墨書			1通	
293	9		市村一郎書簡 仲小路宣宛	市村一郎	仲小路宣	大正14年1月25日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	10		伊東祐忠書簡 仲小路宣宛	伊東祐忠	仲小路宣	大正14年14年1月14日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	11		伊東祐忠書簡 仲小路宣宛	伊東祐忠	仲小路宣	大正14年14年2月17日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	12		伊藤義人書簡 仲小路宣宛	伊藤義人	仲小路宣	大正14年1月18日	仲小路廉一周忌参列の際の礼	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
293	13		稲垣孝照書簡 仲小路八重子・仲小路彰宛	稲垣孝照	仲小路八重子・仲小路彰	大正14年1月14日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	14		稲垣孝照書簡 仲小路八重子宛	稲垣孝照	仲小路八重子	大正14年2月16日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	15		稲毛三郎書簡 仲小路宣宛	稲毛三郎	仲小路宣	大正14年6月22日	仲小路篤子逝去への弔辞	墨書			1通	
293	16		井上禧之助書簡 仲小路宣宛	井上禧之助	仲小路宣	大正14年1月19日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	17		井上禧之助書簡 仲小路宣宛	井上禧之助	仲小路宣	大正14年2月16日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	18		猪木勝書簡 仲小路宣宛	猪木勝	仲小路宣	大正14年1月19日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	19		宇佐美勝夫書簡 仲小路宣宛	宇佐美勝夫	仲小路宣	大正14年1月15日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼、一周忌欠席の通知	墨書			1通	
293	20		宇佐美勝夫書簡 仲小路宣宛	宇佐美勝夫	仲小路宣	大正14年2月16日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	21		内田誠太郎書簡 仲小路宣宛	内田誠太郎	仲小路宣	[大正14]年1月15日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	22		内田誠太郎書簡 仲小路宣宛	内田誠太郎	仲小路宣	大正14年3月6日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	23		梅地庸之丞書簡 仲小路宣宛	梅地庸之丞	仲小路宣	大正14年1月10日	仲小路廉一周忌欠席の通知	墨書			1通	
293	24		梅地庸之丞書簡 仲小路宣宛	梅地庸之丞	仲小路宣	大正14年1月15日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	25		大森房吉(東京市公認多磨墓地第二附属休憩所)書簡 仲小路宣宛	大森房吉(東京市公認多磨墓地第二附属休憩所)	仲小路宣	大正15年6月23日	多磨墓地案内	印刷			1通	
293	26		岡田治衛武書簡 仲小路宣宛	岡田治衛武	仲小路宣	大正14年1月15日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	27		岡田治衛武書簡 仲小路宣宛	岡田治衛武	仲小路宣	[大正14]年2月14日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
293	28		岡本英太郎書簡 仲小路宣宛	岡本英太郎	仲小路宣	大正14年1月14日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	29		岡本貴二郎書簡 仲小路宣宛	岡本貴二郎	仲小路宣	大正14年2月15日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	30		小澤甚市書簡 仲小路宣宛	小澤甚市	仲小路宣	大正15年6月21日	仲小路篤子逝去への弔辞	墨書			1通	
293	31		押小路昌信書簡 仲小路彰宛	押小路昌信	仲小路彰	(大正15)年6月22日	仲小路篤子逝去への弔辞	ペン			1通	
293	32		親川良国書簡 仲小路宣宛	親川良国	仲小路宣	大正14年2月17日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	33		影山銑三郎書簡 仲小路宣宛	影山銑三郎	仲小路宣	大正14年1月27日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	34		賀田生次書簡 仲小路宣宛	賀田生次	仲小路宣	大正14年2月15日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	35		亀山妥書簡 仲小路宣宛	亀山妥	仲小路宣	大正14年1月25日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	36		亀山妥書簡 仲小路宣宛	亀山妥	仲小路宣	大正14年2月21日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	ペン			1通	
293	37		河井弥八書簡 仲小路宣宛	河井弥八	仲小路宣	大正14年1月16日	仲小路廉一周忌欠席の通知	墨書			1通	
293	38		川上次郎書簡 仲小路宣宛	川上次郎	仲小路宣	大正14年1月17日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	39		川上直之助書簡 仲小路宣宛	川上直之助	仲小路宣	大正14年1月15日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	40		北島種彦書簡 仲小路宣宛	北島種彦	仲小路宣	大正14年1月25日	『仲小路廉集』寄贈への礼、仲小路廉一周忌欠席の通知	墨書			1通	
293	41		北島種彦書簡 仲小路宣宛	北島種彦	仲小路宣	大正14年2月23日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	42		木下末吉書簡 仲小路宣宛	木下末吉	仲小路宣	大正15年6月22日	仲小路篤子逝去への弔辞	墨書			1通	
293	43		清浦家執事書簡 仲小路家執事宛	清浦家執事	仲小路家執事	大正14年1月14日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	44		桐島像一書簡 仲小路宣宛	桐島像一	仲小路宣	大正14年1月14日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	45		桐島像一書簡 仲小路宣宛	桐島像一	仲小路宣	大正14年1月16日	『仲小路廉集』寄贈への礼、仲小路廉一周忌欠席の通知	墨書			1通	
293	46		国沢新兵衛書簡 仲小路宣宛	国沢新兵衛	仲小路宣	(大正14)年2月14日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
293	47		窪田都太郎書簡 仲小路宣宛	窪田都太郎	仲小路宣	大正14年2月16日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	48		熊本喜一書簡 仲小路宣宛	熊本喜一	仲小路宣	大正14年2月21日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	49		倉富勇三郎書簡 仲小路宣宛	倉富勇三郎	仲小路宣	大正14年1月18日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	50		倉富勇三郎書簡 仲小路宣宛	倉富勇三郎	仲小路宣	大正14年2月23日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	51		栗屋前兆書簡 仲小路宣宛	栗屋前兆	仲小路宣	大正14年1月15日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	52		来見安吉書簡 仲小路宣宛	来見安吉	仲小路宣	大正15年6月23日	仲小路篤子逝去への弔辞	墨書			1通	
293	53		桑田透一書簡 仲小路宣・仲小路彰宛	桑田透一	仲小路宣・仲小路彰	大正14年2月19日	『仲小路廉集』寄贈への礼	ペン			1通	
293	54		小宅伴書簡 仲小路宣宛	小宅伴	仲小路宣	[大正14]年1月20日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	ペン			1通	
293	55		小宅伴書簡 仲小路宣宛	小宅伴	仲小路宣	大正14年1月27日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	56		児玉孝顕書簡 仲小路宣宛	児玉孝顕	仲小路宣	大正14年1月15日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	57		児玉秀雄書簡 仲小路宣宛	児玉秀雄	仲小路宣	大正15年6月14日	『含雪山県公遺稿』発刊案内	印刷			1通	
293	58		小林吉右衛門書簡 仲小路宣宛	小林吉右衛門	仲小路宣	大正13年1月24日	仲小路廉葬儀参列後、帰宅の挨拶	墨書			1通	
293	59		小林吉右衛門書簡	小林吉右衛門		大正13年1月25日	仲小路廉死去挨拶状	印刷		宛先記名なし	1通	
293	60		小林吉右衛門書簡 仲小路宣宛	小林吉右衛門	仲小路宣	[大正13]年1月28日	葬儀後の挨拶状送付についてほか	墨書			1通	礼差出先名簿1枚
293	61		小林吉右衛門書簡 仲小路八重子宛	小林吉右衛門	仲小路八重子	大正14年1月2日	新年の挨拶	墨書			1通	
293	62		小林吉右衛門書簡 仲小路八重子宛	小林吉右衛門	仲小路八重子	大正14年1月5日	墓石についてほか	墨書			1通	
293	63		小林吉右衛門書簡 仲小路宣宛	小林吉右衛門	仲小路宣	大正14年7月9日	メロンの送付についてほか	墨書			1通	
293	64		小林吉右衛門書簡 仲小路八重子宛	小林吉右衛門	仲小路八重子	大正14年6月28日	葬儀後の挨拶等	墨書			1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
293	65		小林ため書簡 仲小路八重子宛	小林ため	仲小路八重子	大正14年1月15日	仲小路廉一周忌に際し挨拶、亡母死去に際する礼	墨書			1通	
293	66		金剛峰寺書簡 仲小路宣宛	金剛峰寺	仲小路宣	大正14年2月24日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	67		坂田高三書簡 仲小路宣宛	坂田高三	仲小路宣	大正14年1月19日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	68		坂田保書簡 仲小路宣宛	坂田保	仲小路宣	大正15年6月21日	仲小路篤子逝去への弔辞	墨書			1通	
293	69		阪本鈺之助書簡 仲小路宣宛	阪本鈺之助	仲小路宣	大正14年1月14日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	70		阪本鈺之助書簡 仲小路宣宛	阪本鈺之助	仲小路宣	大正14年2月14日	仲小路廉一周忌および『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	71		薩摩雄次書簡 仲小路邸内霽軒会宛	薩摩雄次	仲小路邸内霽軒会	大正14年2月19日	大東文化協会幹事並びに法学博士・江木衷の秘書をしており、参考として『仲小路廉集』を御送付願う	墨書			1通	
293	72		薩摩雄次書簡 仲小路邸内霽軒会宛	薩摩雄次	仲小路邸内霽軒会	大正14年2月21日	『仲小路廉集』二冊代金として金7円送付	墨書			1通	
293	73		佐藤市十郎書簡 仲小路宣宛	佐藤市十郎	仲小路宣	大正14年1月18日	『仲小路廉集』寄贈への礼、一周忌欠席の通知	ペン			1通	
293	74		澤浦源吾書簡 仲小路宣宛	澤浦源吾	仲小路宣	大正14年1月12日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	75		澤浦源吾書簡 仲小路宣宛	澤浦源吾	仲小路宣	大正14年3月2日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	76		澤浦源吾書簡 仲小路宣宛	澤浦源吾	仲小路宣	大正15年6月21日	仲小路篤子逝去への弔辞	墨書			1通	
293	77		柴藤章書簡 仲小路宣宛	柴藤章	仲小路宣	大正14年1月16日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	78		松涛菊五郎書簡 仲小路宣宛	松涛菊五郎	仲小路宣	[大正14]年1月14日	仲小路廉一周忌に際し挨拶	墨書			1通	
293	79		松涛誠心書簡 仲小路宣宛	松涛誠心	仲小路宣	大正14年1月14日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	80		白仁武書簡 仲小路宣宛	白仁武	仲小路宣	大正14年1月14日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	81		末兼要書簡 仲小路宣宛	末兼要	仲小路宣	大正14年1月23日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	82		杉耕三書簡 仲小路宣宛	杉耕三	仲小路宣	[大正14]年1月16日	『仲小路廉集』寄贈への礼	ペン			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
293	83		杉本義勝書簡 仲小路宣宛	杉本義勝	仲小路宣	[大正15]年6月21日	仲小路篤子逝去への弔辞	墨書			1通	
293	84		瀬川東代子書簡 仲小路宣宛	瀬川東代子	仲小路宣	大正14年1月15日	仲小路廉一周忌欠席の通知、『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	85		副島道正書簡 仲小路宣宛	副島道正	仲小路宣	大正14年14年1月17日	仲小路廉一周忌欠席の通知	墨書			1通	
293	86		平幸吉書簡 仲小路宣宛	平幸吉	仲小路彰	[大正14]年1月14日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	87		高岡熊雄(北海道帝国大学附属図書館長)書簡 仲小路宣宛	高岡熊雄(北海道帝国大学附属図書館長)	仲小路宣	大正14年3月18日	『仲小路廉集』寄贈への礼	印刷	北海道帝国大学罫紙		1通	
293	88		高田太次郎書簡 霧軒会宛	高田太次郎	霧軒会	大正14年2月9日	『仲小路廉集』第1巻分譲願い	ペン			1通	
293	89		高橋文之助書簡 仲小路宣宛	高橋文之助	仲小路宣	大正14年1月19日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	90		高橋文之助書簡 仲小路宣宛	高橋文之助	仲小路宣	大正14年2月18日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	91		瀧本豊之輔書簡 仲小路宣宛	瀧本豊之輔	仲小路宣	大正14年1月14日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	92		瀧本豊之輔書簡 仲小路宣宛	瀧本豊之輔	仲小路宣	大正14年2月16日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	93		武井守正書簡 仲小路宣宛	武井守正	仲小路宣	大正14年2月14日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	94		多田正雄書簡 仲小路宣宛	多田正雄	仲小路宣	大正14年1月19日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	95		田中重兵衛書簡 仲小路宣宛	田中重兵衛	仲小路宣	大正14年1月21日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	96		田中次郎書簡 仲小路宣・仲小路彰宛	田中次郎	仲小路宣・仲小路彰	大正14年1月14日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	97		田中次郎書簡 仲小路八重子宛	田中次郎	仲小路八重子	大正14年1月19日	仲小路廉一周忌出席の際の礼	墨書			1通	
293	98		田中次郎書簡 仲小路方 宮根信介宛	田中次郎	仲小路方 宮根信介	大正14年1月21日	昨日穂積陳重男より金拾円送付、御記帳並に挨拶方頼む	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
293	99		田中次郎書簡 仲小路八重子宛	田中次郎	仲小路八重子	大正14年2月22日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	100		田中善立書簡 仲小路宣宛	田中善立	靄軒会	大正14年2月16日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	101		田辺隆二書簡 仲小路宣宛	田辺隆二	仲小路宣	大正14年2月24日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	102		田辺隆二書簡 仲小路宣宛	田辺隆二	仲小路宣	大正15年6月26日	仲小路篤子逝去への弔辞	墨書			1通	
293	103		谷森淳子書簡 仲小路宣・仲小路彰宛	谷森淳子	仲小路宣・仲小路彰	大正14年2月20日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	104		田村新吉書簡 仲小路宣宛	田村新吉	仲小路宣	大正15年6月24日	仲小路篤子逝去への弔辞	墨書			1通	
293	105		丁場勇次書簡 仲小路宣宛	丁場勇次	仲小路宣	大正14年2月16日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	106		遠原吉平書簡 仲小路宣宛	遠原吉平	仲小路宣	大正15年6月24日	仲小路篤子逝去への弔辞	墨書			1通	
293	107		富永謙治書簡 仲小路宣宛	富永謙治	仲小路宣	大正14年1月28日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	108		富永謙治書簡 仲小路宣宛	富永謙治	仲小路宣	大正14年2月21日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	109		長満欽司書簡 仲小路宣宛	長満欽司	仲小路宣	大正14年1月16日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	110		南洋協会書簡 仲小路宣宛	南洋協会	仲小路宣	大正14年1月14日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書	南洋協会 罫紙		1通	
293	111		南洋協会書簡 仲小路宣宛	南洋協会	仲小路宣	大正14年2月14日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書	南洋協会 罫紙		1通	
293	112		西大助書簡 仲小路宣宛	西大助	仲小路宣	大正14年1月20日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	113		西大助書簡 仲小路宣宛	西大助	仲小路宣	大正14年2月16日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	ペン			1通	
293	114		西原亀三書簡 仲小路宣宛	西原亀三	仲小路宣	大正14年1月10日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	115		野本正一書簡 仲小路宣宛	野本正一	仲小路宣	大正14年2月2日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	116		長谷川昴二書簡 仲小路宣宛	長谷川昴二	仲小路宣	大正14年1月17日	姉上様容体についての知らせ	ペン			1通	
293	117		長谷川昴二書簡 仲小路宣・仲小路彰宛	長谷川昴二	仲小路宣・仲小路彰	(大正15)年6月21日	仲小路篤子逝去への弔辞	墨書			1通	
293	118		長谷川富士太郎書簡 仲小路宣宛	長谷川富士太郎	仲小路宣	大正14年1月15日	仲小路廉一周忌への挨拶、『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	

## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
293	119		長谷川富士太郎書簡 仲小路彰宛	長谷川富士太郎	仲小路彰	大正14年2月18日	御父上様の逝去見舞い	墨書			1通	
293	120		長谷川富士太郎書簡 仲小路宣宛	長谷川富士太郎	仲小路宣	大正15年6月25日	近況報告	墨書			1通	
293	121		畠山敏行書簡 仲小路宣宛	畠山敏行	仲小路宣	(大正14)年1月16日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	122		畠山敏行書簡 仲小路宣宛	畠山敏行	仲小路宣	大正14年2月16日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	123		服部賢成書簡 仲小路家宛	服部賢成	仲小路家	大正14年1月20日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	124		濱田恒之助書簡 仲小路宣宛	濱田恒之助	仲小路宣	大正14年2月11日	仲小路廉一周忌案内および『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	125		播磨喜三良書簡 仲小路宣宛	播磨喜三良	仲小路宣	大正14年1月15日	『仲小路廉集』寄贈への礼	ペン			1通	
293	126		福井栄三郎書簡 仲小路宣宛	福井栄三郎	仲小路宣	大正14年2月15日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	127		藤井伴助書簡 仲小路宣宛	藤井伴助	仲小路宣	大正14年1月15日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	128		藤井伴助書簡 仲小路宣宛	藤井伴助	仲小路宣	大正14年2月18日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	129		藤井伴助書簡 仲小路宣宛	藤井伴助	仲小路宣	大正15年6月21日	仲小路篤子逝去への弔辞	墨書			1通	
293	130		藤田四郎書簡 仲小路宣宛	藤田四郎	仲小路宣	大正14年1月15日	仲正路廉一周忌に際し挨拶	墨書			1通	
293	131		藤田四郎書簡 仲小路宣宛	藤田四郎	仲小路宣	大正14年2月21日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	132		星子可雄書簡 仲小路彰宛	星子可雄	仲小路彰	(大正15)年	仲小路篤子逝去への弔辞	ペン			1通	
293	133		星一書簡 仲小路宣宛	星一	仲小路宣	大正14年2月14日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	印刷			1通	
293	134		堀江季雄書簡 仲小路宣宛	堀江季雄	仲小路宣	大正14年1月15日	『仲小路廉集』寄贈の礼、仲小路廉一周忌欠席の通知	墨書			1通	
293	135		前田利定書簡 仲小路宣宛	前田利定	仲小路宣	(大正14)年2月14日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	136		前所文二書簡 仲小路宣宛	前所文二	仲小路宣	大正14年2月15日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	137		馬島渡書簡 仲小路宣宛	馬島渡	仲小路宣	大正14年1月17日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	138		馬島渡書簡 仲小路宣宛	馬島渡	仲小路宣	大正14年2月15日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
293	139		松浦厚書簡 仲小路宣宛	松浦厚	仲小路宣	大正14年1月15日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	140		松本求書簡 (仲小路邸)小林吉右衛門宛	松本求	小林吉右衛門	大正15年6月22日	仲小路篤子逝去への弔辞	墨書			1通	
293	141		三宅論馬書簡 仲小路宣宛	三宅論馬	仲小路宣	[大正14]年1月13日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	142		宮崎清則書簡 仲小路宣宛	宮崎清則	仲小路宣	大正14年1月20日	『仲小路廉集』第1巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	143		宮崎清則書簡 仲小路宣宛	宮崎清則	仲小路宣	大正14年2月15日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	『仲小路廉集』案内1枚、振込用紙1枚
293	144		宮之原三之助書簡 仲小路宣宛	宮之原三之助	仲小路宣	大正14年2月14日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	145		棟本義智書簡 仲小路八重子宛	棟本義智	仲小路八重子	2月23日	先日夕刻に長居、礼状	墨書			1通	
293	146		村上恭一書簡 仲小路宣宛	村上恭一	仲小路宣	大正14年2月15日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	147		森井樗太郎書簡 仲小路宣宛	森井樗太郎	仲小路宣	大正14年1月12日	仲小路廉一周忌欠席の通知	墨書			1通	
293	148		森井樗太郎書簡 仲小路宣宛	森井樗太郎	仲小路宣	大正14年1月16日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	149		八木逸郎書簡 仲小路宣宛	八木逸郎	仲小路宣	[大正14]年1月14日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	150		八木逸郎書簡 仲小路宣宛	八木逸郎	仲小路宣	[大正14]年2月16日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	151		矢口長右衛門書簡 仲小路宣宛	矢口長右衛門	仲小路宣	大正14年1月18日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	152		山岡ふみ子書簡 仲小路宣宛	山岡ふみ子	仲小路宣	[大正14]年1月11日	仲小路廉一周忌欠席の通知	墨書			1通	
293	153		山縣伊三郎書簡 仲小路宣宛	山縣伊三郎	仲小路宣	大正14年2月14日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	154		山縣久子書簡 仲小路八重子宛	山縣久子	仲小路八重子	大正14年1月11日	海苔の礼状	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
293	155		山品信介書簡 仲小路宣宛	山品信介	仲小路宣	大正14年1月15日	仲小路廉一周忌欠席の通知、『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	156		矢里亮一書簡 仲小路宣宛	矢里亮一	仲小路宣	(大正14年1月11日)	仲小路廉一周忌欠席の通知	ペン			1通	
293	157		湯川寛吉書簡 仲小路宣宛	湯川寛吉	仲小路宣	大正14年1月20日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	158		吉田貞治書簡 仲小路宣宛	吉田貞治	仲小路宣	大正15年6月22日	仲小路篤子逝去への弔辞	墨書			1通	
293	159		米田奈良吉書簡 仲小路宣宛	米田奈良吉	仲小路宣	大正14年2月22日	『仲小路廉集』第2巻寄贈への礼	墨書			1通	
293	160		林栄龍書簡 仲小路宣宛	林栄龍	仲小路宣	大正14年1月14日	『仲小路廉集』寄贈への礼	墨書			1通	
293	161		渡水住藤書簡 仲小路宣宛	渡水住藤	仲小路宣	大正15年6月22日	仲小路篤子逝去への弔辞	墨書			1通	
293	162		[差出人不明]書簡	[差出人不明]	[宛先不明]		片山代議士の横死、澤正の死亡、日本の芝居について(後欠)	ペン	絵葉書		1通	
293	163		[差出人不明]電報 仲小路彰宛	[差出人不明]	仲小路彰	大正14年3月3日	「ハハサクヤ9ジ シキヨシタ」				1通	
293	164		仲小路宣宛名刺、封筒		仲小路宣		『仲小路廉集』寄贈への礼	印刷、墨書			33点(名刺16枚、封筒付き名刺2枚、空封筒15枚)	
294	0	0	野村寿之介宛書簡他								16点	
294	1		犬養毅書簡 野村寿之介宛	犬養毅	野村寿之介	大正10年5月11日	多忙と病気のため揮毫作成は不可能	印刷			1通	
294	2		犬養毅書簡 野村寿之介宛	犬養毅	野村寿之介	大正11年4月8日	当分地方出張せず、代議士演説立会は絶対なし	ペン			1通	
294	3		犬養毅書簡 野村寿之介宛	犬養毅	野村寿之介	大正12年5月21日	今後は贈り物無用	ペン			1通	
294	4		犬養毅書簡 野村寿之介宛	犬養毅	野村寿之介	大正12年8月12日	信州富士見にて御見舞有難い	ペン			1通	
294	5		犬養毅書簡 野村寿之介宛	犬養毅	野村寿之介	(昭和)3年4月10日	如何なる人か一報を	墨書			1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
296	1		辻政信書簡	辻政信	太田宇之助	(昭和)15年9月9日	(太田の)寧日なき御活躍について、先月二十二日隷下参謀長会同し軍に嚮ふべき方針を徹底した、南支広東方面と一緒に御同伴を願うべく中山先生への連絡と二十四五日頃御到着を乞う	ペン			1通	
296	2		辻政信書簡	辻政信	太田宇之助	(昭和)15年12月8日	最後の置土産に各種の癪を切開致し度馳せ廻り、東亜聯盟による国民党中心の新体制も全面的拡充の目鼻が立ったことについて、汪(兆銘)先生が日本側の好意を感得したるに際しての太田様や中山、吉岡さん等の御指導御努力への感謝、各方面に東亜聯盟を了解せしめるに際し、蔭の人になりたい	ペン			1通	
296	3		辻政信書簡	辻政信	太田宇之助	(昭和)25年8月24日	二十七日、午後の御高談を楽しみにしている旨伝え、中山先生によくお伝えを願う	ペン			1通	
296	4		辻政信書簡	辻政信	太田宇之助	昭和36年1月2日	年賀状	墨書			1通	
297	0	0	木戸孝允書簡 山田顕義宛	木戸孝允	山田顕義	(明治7年)10月14日	過日井上馨馬関来訪、東京の近況も承知。勝間田一条も冤罪少なからず、萩士族一条は実に困却。授産も教育も始より大言は被吐不申。今日之弊は尾大より生ず、今莫大之大兵を募るのは内変内外を醸するものとなる、今海外に事を生じ又重而内地に事を生じるとは兆民の不幸。	墨書			1巻	
298	0	0	野村靖書簡 久坂玄瑞宛	野村靖	久坂玄瑞	(文久元年)12月3日	ご帰国後多忙を察す、和宮着府遊ばさる、大橋順蔵の動向について、時山直八の帰国予定について	墨書			1巻	
299	0	0	土方久元宛書簡								4通	
299	1		伊藤博文書簡 土方久元宛	伊藤博文	土方久元	3月24日	御揮毫二葉萬謝、拙筆いまだ相認ず	墨書			1通	
299	2		三条実美書簡 土方久元宛	三条実美	土方久元	(明治22年カ)8月23日	過日来御配慮相成候総理一件、伊藤伯には其後相尋不申候、大山伯面会黒田の都合も承候	墨書			1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
299	3		松方正義書簡 土方久元宛	松方正義	土方久元	(明治14年)10月3日	迂生昨日帰京、宮内省内閣へも罷出度、鳥取県再置一条御細書拝受	墨書			1通	
299	4		山県有朋書簡 土方久元宛	山県有朋	土方久元	5月29日	岡部書記官司法転任の儀に付如何の運びと相成り候や、県令出京に際し代理云々、岩村にて取量候訳には参り不申也	墨書			1通	
300	0	0	柳原博光書簡 生山忠雄宛	柳原博光	生山忠雄	昭和19年1月6日	海軍機関学校出身戦公没者招魂祭、50周年記念式相催、式典の状況を御一報申上げ御厚意に対し厚く御礼申上候	墨書			1通	
301	0	0	高橋是清書簡								5通	
301	1		高橋是清書簡	高橋是清	高橋是孝	明治37年6月27日	格言	ペン	絵葉書	ロンドンより発信、東京宛	1通	
301	2		高橋是清書簡	高橋是清	高橋是孝	(明治37年)9月7日	是賢と今朝一時大陸へ出立、十日間計りにて一先当地へ戻る	ペン	絵葉書	ロンドンより発信、東京宛	1通	
301	3		高橋是清書簡	高橋是清	高橋是孝	明治37年11月10日	格言	ペン	絵葉書	ロンドンより発信、東京宛	1通	
301	4		高橋是清書簡	高橋是清	高橋是賢	明治38年6月10日	ニューヨークより	ペン	絵葉書	ニューヨークより発信、ブリュッセル宛、レザーシューズ型絵葉書	1通	
301	5		高橋是清書簡	高橋是清	高橋是賢	明治42年4月21日	九時Hofbräuhaus(王立酒や)にて三リットルヲ傾け申候	ペン	絵葉書	ミュンヘンより発信、ブリュッセル宛	1通	
302	0	0	井上準之助書簡								4通	
302	1		井上準之助書簡	井上準之助	箕浦勝人	大正5年7月12日	来る十五日貴官邸ニ御寵招ヲ辱シ、然ルニ当日同刻ニ於テ総理大臣御官邸ニ於テ佐藤大使并ニ林公使ノ為メ御宴会有之御招ヲ蒙リ居リ	墨書			1通	便箋2枚(作成者「種徳」、宛先「少巒賢契大人」、墨書、用紙「上海九華堂厚記製」)

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
302	2		井上準之助書簡	井上準之助	都倉儀一	大正9年1月9日	第一ノ方モ不採用ト相成リ候由、日本銀行ノ内情ヲ探知スル処ニテハ極々少数ノ人ヲ採ルニ非常ニ多数之申込有之、社会ノ事物ニ余リ経験ノナキ青年ニ失望セシメサル様ニ呉々モ御注意ナレ	墨書			1通	
302	3		井上準之助書簡	井上準之助	都倉儀一	6月11日	英国ニ滞在中見聞シタル彼地ノ金融事情又ハ銀行実務ニ関スルー端ヲ書綴ラント思立チ、此次ノ一章丈ケ出来上リ候	墨書			1通	
302	4		井上準之助書簡	井上準之助	都倉儀一	11月10日	原稿御送付被下候処、過日来病氣臥床中、遅延仕リ候	墨書			1通	
303	0	0	石黒忠篤書簡 豊原道也宛	石黒忠恵	豊原道也	[昭和31年]7月13日	当選御礼、神奈川ノ得票ノ意外ニ多くを得ました事は殊ニ横浜等ノ得点は全く御力に依る事を深謝	墨書			1軸	
304	0	0	松浦厚書簡	松浦厚	近藤薫	[大正3年]11月14日	土方伯八十歳ノ賀筵のため別紙に揮毫を願う	墨書			1通	
305	0	0	明治名家書簡								1巻(16通)	
305	1		伊藤博文書簡 川村純義宛	伊藤博文	川村純義	[明治9年]4月6日	神戸鉄道出火ノ節、海兵発砲一条に付、昨日横浜へ行き出訴を取下げよう申付けた。関係書類は外務卿寺島へ渡したので、英公使より催促があった場合は同卿より公使へ示されても差支無しと申し伝えた。	墨書			1通	
305	2		伊藤博文書簡 伊東祐磨宛 明治(10)年2月9日	伊藤博文	伊東祐磨	[明治10年]2月9日	別紙山県陸軍卿より到来、薩摩国境にて兵器を携旅行人往來を差留めとの電報もあり。今日十一時西京へ帰る予定。	墨書			1通	
305	3		山県有朋書簡 伊藤博文宛	山県有朋	伊藤博文	[明治10年2月]8日	別紙の電報あり、伊東少将へ御通知下されたし。	墨書			1通	
305	4		山県有朋書簡 川村純義宛	山県有朋	川村純義	[明治10年]7月18日	昨日品川書記官に面会、当地方へ御出浮されるようとの伝言あり。	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
305	5		山県有朋書簡 川村純義宛	山県有朋	川村純義	(明治10年)7月27日	官隊野尻着、山田、三好少将と会し攻撃部署を定め、明朝より攻撃の予定。梶山口、山口、高城の模様わからずお教えを願う。日州海へ日本船往復の説あり、取締を願う。	墨書			1通	
305	6		井上馨書簡 川村純義宛	井上馨	川村純義	(明治15年)8月19日	迅鯨艦を明二十日正午十二時に馬関に向かわせ、さらに直に仁水へ向け相発するよう致されたし。	墨書			1通	
305	7		井上馨書簡 川村純義宛	井上馨	川村純義	(明治15年)8月(19日)	迅鯨艦、明二十日正午出発するようお願いしたが、都合あり午後四時に出帆してほしい。	墨書			1通	
305	8		勝海舟書簡 軍務宛	勝海舟書簡	軍務	(明治) 年12月25日	工部卿より別紙あり、幸い少輔も西行故都合よし。御同人から御聞取願う。出船の日合わかれば工部卿へ伝えてほしい。	墨書			1通	
305	9		勝海舟書簡 (林晴康)宛	勝海舟	(林晴康)	(明治) 年7月30日	御申立儀の事、御議論御尤、御衆評しだいで宜しい。伊東少将申出の昇級の件。	墨書			1通	
305	10		川村純義書簡 原田中秘書・福島中秘書宛	川村純義	原田中秘書・福島中秘書	(明治10年)8月10日	細島港へ進入したので、テイホル船を至急同港へ回船して下されたし。拙者鹿児島、長崎へ預け置いた荷物を同船に積み込んで下されたし。開戦すれば高雄丸を細島まで回船してほしい。警視隊乗船出帆の儀は如何。	墨書			1通	
305	11		川村純義書簡 海軍省宛	川村純義	海軍省	(明治15年)8月19日	迅鯨艦につき、別紙の通りまたまた時刻の件申し越してきたので、最前の時刻通りなれば都合よし。	墨書			1通	
305	12		川村純義書簡 中牟田倉之助・南郷茂光宛	川村純義	中牟田倉之助・南郷茂光	(明治15年)8月26日	明廿七日午後四時、孟春艦朝鮮仁川港へ大至急発艦用意致されたし。	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
305	13		寺島宗則書簡 川村純義宛	寺島宗則	川村純義	(明治9年)5月22日	別紙の通り、今年後一時頃には出省し弁解しなければならないので、いかがが下令するのか詳しく承知したし。	墨書			1通	5月21日付英公使書簡の翻訳。神戸英領事よりカスウェルに砲発せる日本水兵士に関する電報を聞き大に驚けり。明22日閣下の弁明を得たし。
305	14		吉田清成書簡 川村純義宛	吉田清成	川村純義	(明治15年)9月4日	外務卿より御報道あったと思うが、孟春艦を直ちに仁川へ差向け下されたし。今度の数ヶ条の約束上に付、左府へ注意を加えたいことあり。	墨書			1通	
305	15		星亨書簡 長谷川・下条宛	星亨	長谷川・下条	(明治) 年12月24日	別冊参考書中不審の廉あり、それぞれ御答え下されたし。且つ太政官への伺書を大審院へ差出すのならば、其前に御知らせくださいましたし。	墨書			1通	
305	16		金玉均書簡 川村純義宛	金玉均	川村純義	(明治15年)	比叡艦敵国へ向け出帆の由、少々差送りたき品あるので、同艦に依頼したし。	墨書			1通	
306	0	0	木戸孝允・寺内正毅・杉孫七郎・無署名書簡								1巻(4通)	
306	1		木戸孝允書簡 中村敬宇宛	木戸孝允	中村敬宇	(明治) 年1月6日	民政はよほど御手をつけなくては民心の方向定まらず。大津辺も民心洵に不穩。且つ連合維持も御手をつけられたし。会計先生達も工夫ありたし。干城を往復艦船将等へ云々之一条、遷延しないことを望む。民政少しは緩にしなくては今日の形勢御しがたし。	墨書			1通	
306	2		寺内正毅書簡 池田宛	寺内正毅	池田	3月4日	御委託の招魂社建築の件、中村、芳沢氏快気した後、談合するのでその結果をご連絡するつもり。	墨書			1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
308	1		成田安賢書簡 細川護貞宛	成田安賢(共同通信社開発局)	細川護貞	昭和43年4月5日	書状拝受。訂正個所の件、第3刷で直したい。謹呈本送付ただちに手配。	ペン			1通	
308	2		高木惣吉書簡 細川護貞宛	高木惣吉	細川護貞	昭和43年4月10日	「近衛日記」御恵投御礼	ペン			1通	
308	3		高村坂彦(徳山市長)書簡 細川護貞宛	高村坂彦	細川護貞	昭和43年4月11日	「近衛日記」拝受	ペン			1通	
308	4		菊池行夫書簡 細川護貞宛	菊池行夫	細川護貞	昭和43年4月13日	「近衛日記」御恵贈を深謝	ペン			1通	
308	5		安井英二書簡 細川護貞宛	安井英二	細川護貞	昭和43年4月30日	「近衛日記」を拝読	ペン			1通	
308	6		「近衛日記 国体の本質に触れる 太平洋戦争末期の記録」(『読売新聞』夕刊 記事切抜)	読売新聞社		昭和43年4月25日		印刷			1枚	
309	0	0	三条実美書簡 有栖川宮熾仁親王(左大臣)宛	三条実美	有栖川宮熾仁親王(左大臣)	(明治28年)12月15日	只今西郷入来。今朝宮内卿内閣相談之辞表 一海軍卿 西郷、一農商務卿 谷、一文部卿 森、一通信卿 榎本、一警視總監 三島 右御報道申上ぐ。	墨書			1巻(1通)	
310	0	0	山県有朋書簡							『公爵山県有朋伝』(下巻, 1933)収録。当室「山県有朋関係文書(所蔵)」資料番号6-2[写本]にも収録	1巻(2通)	
310	1		山県有朋書簡	山県有朋	田中光顕	(明治27年)10月10日	平壤より呈進の一簡で開陳の通り、進軍至難輜重運輸上之困難海路之運搬は定州付近之海辺は遂に目的を達せざるの報知を得。	墨書			1通	
310	2		山県有朋書簡	山県有朋	田中光顕	(明治27年)10月10日	猶留守中は殊更家事高配を煩し、鳴謝之至、其他何事も御決行御指図御依頼	墨書			1通	
311	0	0	木戸孝允書簡 田中光顕宛	木戸孝允	田中光顕	(明治6年10月)	南方士官十名余辞表を出し陸軍省へ申出候。政府も政府ならず士官も士官ならず歎息之至。	墨書		『木戸孝允文書 第5』(日本史籍協会, 1931)収録。箱書の日付(12月20日)は誤りカ	1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
312	0	0	山県有朋書簡 朝比奈知泉宛	山県有朋	朝比奈知泉	明治34年1月6日	歴遊の一事も談合の末ほぼ内定。伊藤博文首相は内閣為政の大綱につき取調中。外交の時局は憂慮に堪えず平和の結了を祈る。	墨書			1通	
313	0	0	小畑忠良書簡 山下亀三郎宛	小畑忠良	山下亀三郎	昭和15年8月23日	思いも寄らず役人に転身。実業界は潔く見切りたれば住友の敷居は二度と跨がぬ決心。	墨書			1通	整理用封筒、1枚
314	0	0	明治元勲書簡 巻二～四							巻一は欠	3巻	
314	1	1	有栖川宮熾仁書簡 岩倉具視宛	有栖川宮熾仁	岩倉具視	(明治) 年9月15日	先日ご依頼の揮毫出来につき受取られたし	墨書			1通	
314	1	2	三条実美書簡 岩倉具視宛	三条実美	岩倉具視	(慶應4年)5月15日	東叡山賊徒は討伐の計画、卯刻に進撃。日誌4巻の熟覧を乞う。官軍士気は大いに奮う、安心されたし。	墨書			1通	
314	1	3	三条実美書簡 岩倉具視宛	三条実美	岩倉具視	(明治) 年7月23日	府民より願出の件、宮内省へ申出るのが適當。明後日決定すべし。拙官からの意見はなし。	墨書			1通	
314	1	4	徳大寺実則書簡 岩倉具視宛	山県有朋	岩倉具視	(明治) 年9月8日	多忙での不参を謝す。今日も体調不良にて出仕ならず。三条公にも宜しく伝言を願う。	墨書			1通	
314	1	5	(不明)書簡 岩倉具定宛		岩倉具定		別紙加筆の分は篤と評議加筆すべし。三条公の分は暫時借受けご覧に入れる積り。	墨書			1通	
314	1	6	柳原前光書簡 岩倉具定・岩倉具経宛	柳原前光	岩倉具定・岩倉具経	(明治) 年4月3日	明日4日は千住表まで進発、形勢を見て上総・下総・房州・常州を巡撫す	墨書			1通	
314	1	7	(不明)書簡 (不明)宛				上野戦争開始により波花丸の当港滞在は危険につき即刻出帆する旨の別紙文通の抜書き	墨書			1通	
314	2	1	伊藤博文書簡 山県有朋宛	伊藤博文	山県有朋	(明治17年)2月25日	警察官訓練制度の件、ドイツより士官・警部3名招聘しても邦貨で年俵5000円位と概算、右概算にて3ヶ年雇入れで如何。至急ご意見を乞う。	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
314	2	2	松方正義書簡 黒田清隆宛	松方正義	黒田清隆	(明治) 年5月10日	ご返却の書面2冊は確かに拝受。大同派への御懸念は尤も。持参した鉄道取調は小牧氏へ託す。ご一覧の上ご意見を乞う。	墨書			1通	
314	2	3	山県有朋 和歌七首	山県有朋				墨書			1通	
314	2	4	井上馨書簡 稲生真履宛	井上馨	稲生真履	3/7	虚堂墨跡の件、元値800円のところ750円で交渉なさる事については示定に従う。それ以上ならば謝絶も已む無し。	墨書			1通	
314	2	5	井上馨書簡 稲生真履宛	井上馨	稲生真履	12/9	脇坂の大小刀の件は橋本から聴取されたし。真物との認定付なれば270~280円まで抛出の積り、ご尽力を乞う。明日は磯部行きなれど、橋本へ仰付けくだされば代価は差出す。	墨書			1通	
314	3	1	山田顕義書簡 小澤宛	山田顕義	小澤	(明治) 年3月2日	相撲力士よりの輜重隊編入願の件、高砂・梅ヶ谷より周旋依頼。山県・西郷・大山へは相談済。相応の御用勤の名目あらば有事は従軍させ平時も取締によし。不採用にても連絡ください。	墨書			1通	
314	3	2	副島種臣書簡 岩倉宛	副島種臣	岩倉	(明治) 年5月10日	本日拝趨の予定のところ、俄に風邪気味のため拝趨叶わず。悪しからず。	墨書			1通	
314	3	3	後藤象二郎書簡 岩倉宛	後藤象二郎	岩倉	(明治) 年7月13日	今朝参殿すべきところ、先日お申付けの御用件等につき早々会計官判事に相談すべきこと出来ず。参殿時刻に差掛り時間もないため参殿は取り止めたし。	墨書			1通	
314	3	4	寺島宗則書簡 川村純義宛	寺島宗則	川村純義	明治11年4月15日	英国へ注文の軍艦を買受けたき者ありとの件、パークス英公使より照会。貴方にても同氏より御問合せあらば当方と同様の回答されたし。	墨書			1通	
314	3	5	品川弥二郎書簡 (不明)宛	品川弥二郎		(明治) 年9月14日	元勸農局勤務の村田昌寛の人事につき相談。村田は岩国人ゆえ実着なり。西郷君出発時期の問合せ。従行書記官の件。	墨書			1通	



## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
314	3	6	榎本武揚書簡 川村純義宛	榎本武揚	川村純義	(明治) 年12月28日	体調不良にて御招待の30日午餐はお断り。浮袋周旋・ロシア海軍士官への贈物等については1月に折を見て相談に伺う。	墨書			1通	
314	3	7	曾祢荒助書簡 葉袋義一宛	曾祢荒助	葉袋義一	明治30年10月21日	一昨日の手紙拝読、先日苦淡楼でご相談の件もあり貴兄には面目なし。今月急用分は九段へ申入れにつき受取られたし。小生も今月下旬に上京の積り。	墨書			1通	
314	3	8	寺内正毅書簡 小澤武雄宛	寺内正毅	小澤武雄	3/19	昨日ご来示の口演筆記につき、少々手を加え別紙の通り返却。受領されたし。	墨書			1通	
314	3	9	佐野常民書簡 岩倉宛	佐野常民	岩倉	(明治) 年4月29日	5月9日星ヶ岡茶寮へ御招待の件、去る12月来多病にて臥床し、不本意ながら当日参上叶わず。悪しからず。	墨書			1通	
314	3	10	土方久元書簡 岩倉宛	土方久元	岩倉	(明治) 年6月8日	来る23日星ヶ岡茶寮へご招待の件、時間通り必ず参上す	墨書			1通	
314	3	11	林董書簡 川上操六宛	林董	川上操六(参謀次長)	(明治) 年8月27日	先年韓廷改革の計画ならずして米国防命中の林殷明・金俊龍2名につき、当地より仁川まで御用船に便乗できるよう何卒お取計らいを願う	墨書			1通	
314	3	12	前田正名書簡 西宛	前田正名	西	(明治) 年 月13日	石黒県令も近日帰国、同氏拝聴を熱心に希望につき、貴方に15日の御出でを乞う。小生も帰京すべし。	墨書			1通	
314	3	13	伊東巳代治書簡 岩倉宛	伊東巳代治	岩倉	(明治) 年4月26日	5月9日星ヶ岡茶寮での晩餐会へのご招待の件、必ず参上す。碁将棋の嗜みは未熟なるも拝見がてら早目に参上する積り。	墨書			1通	
315	0	0	田付七太・景一関係書簡								10件	
315	1		(在ロシア大使館(サンクトペテルブルク)勤務時期)		田付七太	大正元年～大正3年	田中義一、荒木貞夫、黒沢準、阪谷芳郎書簡等を含む	ペン	絵葉書		328通	
315	2		(在フランス(パリ)勤務時期)		田付七太	大正3年		ペン	絵葉書		3通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
315	3		[駐ブラジル大使(リオデジャネイロ時代)]		田付七太	大正12年		ペン	絵葉書		18通	
315	4		[東京宛]		田付七太	大正6年～昭和5年	芦田均、内田嘉吉、北島謙次郎、小林美登利、千葉三郎書簡等を含む	ペン	絵葉書		190通	
315	5		(時期不明)		田付七太			ペン	絵葉書	未使用品絵葉書を含む	18通	
315	6		[家族書簡 田付七太宛]	田付交子・田付景一・田付文子 他	田付七太	大正2年～大正12年	妻子より田付七太宛書簡	ペン	絵葉書		20通	
315	7		家族宛	田付七太 他	田付交子・田付景一・田付文子 他			ペン	絵葉書		83通	
315	8		田付景一宛書簡		田付景一			ペン	絵葉書		81通	
315	9		[家族書簡 田付景一宛]		田付景一		田付文子宛、田付景一 家族書簡、他	ペン	絵葉書	家族と連名での田付景一宛書簡はこちらに分類した	38通	
315	10		脱落切手						切手		4片(5枚)	
316	0	0	田子一民書簡 村上順平宛	田子一民(内務省社会局)	村上順平	(大正) 年8月24日	訪問の際に高話を拝聴し欣快の至り。御蔭で滞り無く旅程を終える。	墨書			1通	
317	0	0	安達謙蔵宛品川弥二郎書簡巻								2巻(11通)	
317	1	1	品川弥二郎書簡 安達謙蔵宛	品川弥二郎	安達謙蔵	明治30年10月7日	議会における国民協会の態度。議題によっては公同倶楽部や進歩党と連携の可能性も。	墨書			1通	
317	1	2	品川弥二郎書簡 安達謙蔵宛	品川弥二郎	安達謙蔵	明治30年11月5日	佐伯誠一郎と会談し、国民協会との温度差を感じる。同盟を組むのは難しい。	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
317	1	3	品川弥二郎書簡 安達謙蔵宛	品川弥二郎	安達謙蔵	明治30年11月10日	高嶋は安場の入閣を要求したが西郷が拒否し、最終的に山田信道を入閣させた。熊本出身者が大臣になっても、国民協会と国権党で歩調を合わせることを確認。	墨書			1通	
317	1	4	品川弥二郎書簡 安達謙蔵宛	品川弥二郎	安達謙蔵	明治30年11月12日	樺山や高嶋への批判。薩長の末路は後世の笑いものになる。国民協会と熊本国権党は、軍備の観点から増税に反対しない。院外決議では五十嵐が大暴れ。三角同盟には四種類あり。	墨書			1通	
317	1	5	品川弥二郎書簡 安達謙蔵宛	品川弥二郎	安達謙蔵	明治30年11月17日	これまでの静観的態度では同志の愛国心を満足させられなかった。議会としては、決議と上奏の他に方法が無いので困る。次の議会では、国民協会内で意見がまとまらなくても、上奏など強い態度に出る。	墨書			1通	
317	2	1	品川弥二郎書簡 安達謙蔵宛	品川弥二郎	安達謙蔵	明治30年11月21日	方針が一定しない内閣への批判。清浦や大浦も、薩摩の親芋若芋にふりまわされている。	墨書			1通	
317	2	2	品川弥二郎書簡 安達謙蔵宛	品川弥二郎	安達謙蔵	明治30年11月30日	決議案の時と異なり、政府に対して強硬な態度に出ることを確認。賛同しない人を引きとめることも、他派と交渉して加勢を乞うこともしない。山林下げ戻し問題に関して、錦旗党主義の局長を農商務省へ送り込む必要がある。	墨書			1通	
317	2	3	品川弥二郎書簡 安達謙蔵宛	品川弥二郎	安達謙蔵	明治30年12月5日	今のところ、国民協会の強硬姿勢に反対して出ていく者はいないが、油断はできない。	墨書			1通	
317	2	4	品川弥二郎書簡 安達謙蔵宛	品川弥二郎	安達謙蔵	明治30年12月19日	佐々友房が翌日帰朝。種々の事情により、上奏前に決議案を出すことにした。	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
317	2	5	品川弥二郎書簡 安達謙蔵宛	品川弥二郎	安達謙蔵	明治31年2月10日	選挙に関して、筑前から熊本へ壮士が派遣されるとの計画あり。また、予想では純粋な国民協会派が30人、準国民協会派が10人程度となり、50人には届かない。しかし30年来の同志は百余名分の力がある。	墨書			1通	
317	2	6	品川弥二郎書簡 安達謙蔵宛	品川弥二郎	(安達謙蔵)	明治	川本達を農工銀行役員に選挙。	墨書			1通	
318	0	0	吉田茂書簡 辻嘉六宛	吉田茂	辻嘉六	(昭和22年1月14日)	政界時ならぬ村雨、おかげにて新聞二付まと八れ大磯二避けても付けらるゝ始末にて新春尚未た拝芝の機を不得	墨書		『吉田茂書翰追補』(財団法人吉田茂国際基金、2011)収録	1通	
319	0	0	梧陰先生手翰	井上毅	福羽美静	(明治 年)6月20日	公文書における陛下・殿下の称号や送り仮名の用法について、福羽の質問に答えたもの	墨書			1巻(1通)	
320	0	0	明治名家書簡(3通)								3通	
320	1		辻維岳書簡	辻維岳	野村文夫	明治24年5月15日	(ロシア)皇太子への、県地惣代・県会議長からの御見舞が都合克く相済んだ	墨書			1通	
320	2		松方正義書簡	松方正義	川村純義	(明治 年)	海軍省云々之儀、黒田参議へ委細陳述	墨書			1通	
320	3		内田政風書簡	内田政風	太田衛太郎(酒田県少参事)	(明治 年)7月20日	山形県之儀	墨書			1通	
321	0	0	日伊関係書状集(卷子本)								3巻	
321	1	1	坊城俊章、伊達宗城、山階宮晃親王 書簡	坊城俊章、伊達宗城、山階宮晃親王	ヴィットリオ・サリエ・ド・ラ・トゥール(イタリア公使)	慶應4年閏4月	我皇帝は徳川慶喜の征服と内外人民鎮撫のため大坂まで出駕したが、降伏恭順の実情が顕れ、謝罪の道が立ったので七日、京師に還御した	墨書			1通	
321	1	2	田安慶頼 書簡	田安慶頼		慶應4年4月7日	徳川慶喜が来る十日、水戸表より退去し謹慎することを通知	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
321	1	3	東久世通禧(外国官准知事) 書簡	東久世通禧(外国官准知事)	ヴィットリオ・サリエ・ド・ラ・トゥール(イタリア公使)	明治2年2月7日	天皇陛下、伊勢祖廟参拝より東京へ再幸。来る三月上旬、京都表発輦。	墨書			1通	
321	1	4	伊達宗城(外国官知事)・東久世通禧(外国官准知事) 書簡	伊達宗城(外国官知事)・東久世通禧(外国官准知事)	ヴィットリオ・サリエ・ド・ラ・トゥール(イタリア公使)	明治2年3月10日	天皇陛下本月七日京都発輦、東海道より伊勢大廟参拝より東下	墨書			1通	
321	1	5	徳大寺実則(宮内卿) 書簡	徳大寺実則(宮内卿)	ラッファエーレ・ウリッセ・バルボラーニ(イタリア特命全権公使)	明治12年11月30日	我皇帝陛下、貴国皇族ジュック、ド、シエーヌ殿下へ食饌被進候間貴官モ御陪食可有之旨被仰出	墨書			1通	
321	1	6	小松宮彰仁親王 書簡	小松宮彰仁親王	シャバリエール・カルカノ(イタリア公使館附書記官代理)	明治12年12月2日	芝離宮ニ於テ同族ヨリ貴国皇族ジュック、ド、シエーヌ殿下へ晚餐進呈候ニ付貴下ニモ御同伴ありたし	墨書		差出人は「二品嘉彰親王」名義。	1通	
321	1	7	伏見宮貞愛親王 書簡	伏見宮貞愛親王	トンマーズ・アルベルト・ディ・サヴォイア＝ジェノヴァ	明治12年12月29日	午餐への招待を受けて同日必参艦	墨書		宛名は「ジュック、ド、ジェーン」(Duka di Genova)名義。	1通	
321	2	1	大隈重信 書簡	大隈重信		(明治22年)2月5日	明六日故奥国皇太子祭典式場はフロックコート着用で臨場のこと。				1通	
321	2	2	海江田信義 書簡	海江田信義		(明治29年)3月22日	伊藤侯爵御親父への供物、小生儀は別に取計申度				1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
321	2	3	岩倉具視 書簡	岩倉具視	ラッファエーレ・ウリッセ・バルボラーニ(イタリア公使)	7月14日	近日西京へ御発途二付来十六日再度来臨候旨御厚情万々忝ク存候。然ル処同日都合ニヨリ御近辺通行致し候二付 従小生参上相伺度御差聞無之哉。				1通	
321	2	4	榎本武揚 書簡	榎本武揚	エウジェニオ・マルティン・ランチアールス	(明治19年)8月1日	来ル六日之御招状拝披、御厚意忝なく奉謝候。然ル処同日は拙者亡父二十七回忌にて親類を相招き祭式取行候二付乍遺憾友人共心じ難し。				1通	
321	2	5	林清康 書簡	林清康	伊国公使	9月25日	吾海軍水路局にて調整致置海図、昨夕三巻差上置候二付 総て進呈致した筈二付、貴下より艦長へ御通告祈望				1通	
321	2	6	西郷従道 書簡	西郷従道	エウジェニオ・マルティン・ランチアールス(伊国代理公使)	9月25日	来十月二日晚餐会御招被下難有。然ル処、今日ヨリ福島県へ出発可仕候間、乍遺憾参館難仕候。				1通	
321	2	7	伊藤博文(内務卿) 書簡	伊藤博文(内務卿)	ラッファエーレ・ウリッセ・バルボラーニ(イタリア国全権公使)	明治12年12月26日	貴皇族ジュクトシエーヌ殿下於艦内陪食之光荣を可賜旨 招帖致落手致候処、拙官儀昨今風邪にて外出不致候二付不得止難奉尊命候間、貴公使閣下ヨリ此候宜布殿下江御上申致下度				1通	
321	2	8	川村純義 書簡	川村純義	コントダルベルム(伊国皇族殿下参議官)	(明治12年)12月30日	午餐倍食の件、拙者義来一月二日頃より公用二付、旅行可致筈二付、甚遺憾之至二候得共当日は御断申上度				1通	
321	2	9	山田顕義(工部卿) 書簡	山田顕義(工部卿)	伊太利国公使	明治13年1月12日	明日は貴国皇族殿下御招待ヲ蒙り難有敬承仕居候処、俄二明日天皇陛下陸軍操練御覧被游候二付、供奉致様被命				1通	
321	2	10	黒田清隆 書簡	黒田清隆		明治21年7月6日	藻柄子入道宗則後年七十六歳制江州彦根住、御落手被下候得八大幸				1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
321	2	11	谷鉄臣 書簡	谷鉄臣	谷村 三郎	(明治32年)11月24日	山内長人紹介の件				1通	
321	2	12	山内長人 書簡	山内長人	谷村 三郎	明治32年11月26日	面会日時調整の件				1通	
321	3	1	岩倉具定 書簡	岩倉具定		5月24日	伏見宮殿下御臨輿ヲ御仰キ鶉鳩二種之射的会相催シニ付、小子陪席候様御芳志忝				1通	
321	3	2	真木長義(伏見宮別当) 書簡	真木長義(伏見宮別当)		明治23年6月6日	水遊会御催ニ付、貞愛親王殿下御招待之趣御了承被遊				1通	
321	3	3	(芳川) 顕正 書簡	(芳川) 顕正		6月8日	本月十五日三浦郡堀内村之御別荘於而昼餐之寵招ヲ蒙、奉鳴謝候				1通	
321	3	4	三宮義胤 書簡	三宮義胤		6月10日	別荘御招待被下難有し。御請仕る。				1通	
321	3	5	土方久元 書簡	土方久元		6月24日	同日八兼而先約之處有之候間甚遺憾ニ存候得共 拜趨致兼候間、不悪				1通	
321	3	6	後藤象二郎 書簡	後藤象二郎		6月25日	近来脚気症ニ相罹リ困却仕居候ニ付、転地療養致サザルヲ得ザルニ依リ、一先御断申上				1通	
321	3	7	田中不二麿 書簡	田中不二麿		6月25日	来ル廿八日堀内村貴邸於テ中餐、該日八生憎前約有之、趨謁ヲ難得、遺憾之至不堪				1通	
321	3	8	矢野二郎 書簡	矢野二郎		明治23年6月25日	来廿八日、伊太利水游之御催、御招待を辱ふし感謝				1通	
321	3	9	小川茂周 書簡	小川茂周		6月26日	来ル廿八日、御昼餐被下候ニ付、参館致候様御案内被下、然ル処、本月中八難止公用有之、来月上旬迄八何分他出仕兼				1通	
321	3	10	浅田徳則(神奈川県知事) 書簡	浅田徳則(神奈川県知事)		6月26日	然ルニ生憎此三四日間八無 先約有之、乍遺憾御来意ニ難応				1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
321	3	11	長岡護美(Baron Nagaoka) 書簡	長岡護美(Baron Nagaoka)	Renato De Martino	6月27日	来ル七月一日、昼餐御寵招与奉鳴謝候、同日新橋一番発車して参趨可仕				1通	
322	0	0	三条実美(太政大臣)書簡 長谷信篤宛	三条実美(太政大臣)	長谷信篤(京都府知事)	明治7年2月17日	佐賀の乱鎮圧のため大久保利通殿下のこと、鹿児島・高知と岩倉大田襲撃以降の東京の状況を伝え、鎮撫警備に心を用い、人心の安堵に注意尽力するよう通達				1通	
323	0	0	溝口市次郎他書簡 高野源之助他宛	溝口市次郎・龍野周一郎・河野広中・板垣退助	高野源一郎・山田吉兵衛・金子元三郎・外同志諸君	明治24年9月30日	先般訪問の際はご懇篤なる待遇を受け、殊に賢人には演説懇親会等を幹旋下され感謝す、将来国家のための尽力を希望す、小生等は16日帰京、まずはお礼まで	墨書			1通	
324	0	0	西郷隆盛書簡 桂四郎(久武)宛	西郷隆盛	桂四郎(久武)	(明治3)年6月12日	過般は篠原、辺見、桐野之三君へ内々相談致候義有之。兎角土肥藩長藩之三藩さへ相纏り候時は其他は如何にも服心可致。其辺御前におゐて確と御協議申上度右得御意。	墨書			1通	
325	0	0	加藤高明書簡 小田切万寿之助宛	加藤高明	小田切万寿之助	明治32年12月29日	青木周蔵(外務大臣)・高平小五郎(外務次官)とも小田切の上海領事の留任を希望していることや、上海問題をめぐる外務省事情	墨書			1通	
326	0	0	谷干城書簡 弘田正太郎宛	谷干城	弘田正郎	明治23年3月25日付	第1回衆議院議員総選挙を控え、愛国公党の再組織化を行っていた板垣退助の新聞紙上の論説を個人主義の誤解と論難。	墨書			1通	
327	0	0	品川子爵贈織田完之牘								1巻(20通)	
327	1		品川弥二郎書	品川弥二郎		明治33年	清入壱 明治庚子孟春 有情無情軒やじ	墨書			1通	
327	2		品川弥二郎書簡 織田完之宛	品川弥二郎	織田完之	(明治28年)8月6日	山県大将は周南の子孫ではない	墨書			1通	
327	3		品川弥二郎書簡 織田完之宛	品川弥二郎	織田完之	(明治29年9月12日)	森寛齋三回忌に同人画像を送りきたりて賛をしてくれとのこと、同人は酒好きなので酒の字を入れて賛をしてほしい	墨書			1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
327	4		品川弥二郎書簡 織田完之宛	品川弥二郎	織田完之	(明治29年)11月13日	御病気の由、全快を祈る	墨書			1通	
327	5		品川弥二郎書簡 織田完之宛	品川弥二郎	織田完之	(明治 年)1月26日	小松宮家令の書状御一読の上御着手を願う。碑文章稿は丹羽が返さず。衣笠の台湾のことは50人採用のところ500人以上申込みがあり望みなし。	墨書			1通	
327	6		品川弥二郎書簡 織田完之宛	品川弥二郎	織田完之	(明治 年)3月21日	来月14日の神野・吉田・新田の式には榎本大臣臨場するとのこと。私の祝文の草稿の起草を願う。	墨書			1通	
327	7		品川弥二郎書簡 織田完之宛	品川弥二郎	織田完之	(明治 年)6月10日	早速御起草感謝、藤田へは書を通ずべし。宮の誌銘は拝見の上工夫すべし。	墨書			1通	
327	8		品川弥二郎書簡 織田完之宛	品川弥二郎	織田完之	(明治 年)7月4日	長谷川翁功德碑に御起草を願う。翁は公共のため資産を擲ち貧乏であったが、満濃池など非常に尽力し地方有志家の間から石碑建立の希望あり。題字は山県に、揮毫は衣笠に依頼のつもり。	墨書			1通	
327	9		品川弥二郎書簡 織田完之宛	品川弥二郎	織田完之	(明治 年)8月7日	広島県片山という人物より重春公の碑を建てたしと起草を依頼してきたので起草を願う	墨書			1通	
327	10		品川弥二郎書簡 織田完之宛	品川弥二郎	織田完之	(明治 年)9月2日	健全で御帰京めでたし。関根に対する務めも一段落し満足。お土産感謝。象山の真蹟帖に題する文のことはその後如何。	墨書			1通	
327	11		品川弥二郎書簡 織田完之宛	品川弥二郎	織田完之	(明治 年)9月3日	過日発見できなかった題額漸く探し出したので御起草下されたし。「君」の字なくて「之」があるのは如何のものか、ご随意に願う。小豆島より返事ありや。なければ自分より寄付致すか。	墨書			1通	
327	12		品川弥二郎書簡 織田完之宛	品川弥二郎	織田完之	(明治 年)9月11日	御願いの一卷、態々お届け下され感謝	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
327	13		品川弥二郎書簡 織田完之宛	品川弥二郎	織田完之	(明治 年)11月23日	別紙京都より到着、宜しくお願いいたす。衣笠への礼として15円差し出したので、いつもながら宜しく。	墨書			1通	
327	14		品川弥二郎書簡 織田完之宛	品川弥二郎	織田完之	(明治 年)12月18日	ご旅行中、田中・河内の墓参感謝。絹笠先生は台湾に行く気があるか。神野新田碑文の御起草を願いたし。	墨書			1通	
327	15		品川弥二郎書簡 織田完之宛	品川弥二郎	織田完之	明治32年11月4日	観菊御会についての御建議は添書して宮内大臣へ差し出した。石村貞一よりも同主意の建議あり、養老の典が行われないのは遺憾。山口県岡直の碑のため御起草を願う。	墨書			1通	
327	16		織田完之書簡 品川弥二郎宛	織田完之	品川弥二郎	明治32年11月4日	御苑観菊会の節、高等官の老親に参観の栄を許すべし。皇太子后冊立の節、甲孝の道を示す勅語あることを希望す。この事をその筋へお伝え下されたし。	墨書			1通	
327	17		品川弥二郎書簡 織田完之宛	品川弥二郎	織田完之	(明治32年11月)5日	金沢翁は老壮にて元気。急いでいるので明日中にも改正を願う。	墨書			1通	
327	18		織田完之書簡 武岡豊太宛	織田完之	武岡豊太	(明治44年)7月18日	故品川子爵の手紙10通程見つかったので差し出す。第二尊攘堂や須磨の別業でお会い致したし。	墨書			1通	
327	19		織田完之書簡 武岡豊太宛	織田完之	武岡豊太	(明治44年)7月24日	故品川子爵の手紙を卷子にすること、さらに5通差し出す。須磨別荘への招待感謝。	墨書			1通	
327	20		(織田完之)書簡 (武岡豊太)宛	(織田完之)	(武岡豊太)	(明治 年)	水戸地方の人の手紙は多いが長州は少ない	墨書		差出人・宛先人記載なし	1通	
327	21		織田完之漢詩	織田完之	武岡豊太	明治45年5月	この品川公遺墨作成の際に武岡氏から求められて詠む	墨書			1通	
328	0	0	床次竹二郎・きよ書簡 海原清平宛								1巻(18通)	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
328	1		床次竹二郎書簡 海原清平宛	床次竹二郎	海原清平	〔大正5年〕11月9日	貴地方の識者階級や若手県会議員の意見取調べの上連絡を願う。坪田君に意見はありがたいが、政界の前途については尚考慮の必要あり。現実主義ばかりでも時勢は許さず、理想主義ばかりも不可。	墨書			1通	
328	2		床次竹二郎書簡 海原清平宛	床次竹二郎	海原清平	〔大正6年2月〕6日	当地出発は延期す。此の節は間違いないよう諸君のご努力を祈る。	墨書			1通	
328	3		床次竹二郎書簡 海原清平宛	床次竹二郎	海原清平	〔大正5年〕8月15日	多可郡長園田竹熊は自分が服部閣下に依頼して採用した人物ゆえ、災難を蒙らないように配慮を願う。政界は落ち着いたようで落ち着かず近々一混乱あるべし。	墨書			1通	
328	4		床次竹二郎書簡 海原清平宛	床次竹二郎	海原清平	〔大正5年〕12月5日	福島等支部大会出席の為不参。世の形勢混沌、来春に至らざれば明瞭にならず。それまで中立不偏主義が宜しいだろう。沈黙するのが上策。	墨書			1通	
328	5		床次竹二郎書簡 海原清平宛	床次竹二郎	海原清平	〔大正4年12月〕22日	来る25日10日祭執行し鹿兒島に向かうので、神戸には26日朝着く予定	墨書			1通	
328	6		床次竹二郎書簡 海原清平宛	床次竹二郎	海原清平	〔大正6年〕4月8日	6日は船遅刻の為漸く間に合う。六日夜は野村局長と同車、好都合に進んでいる由。	墨書			1通	
328	7		床次竹二郎書簡 海原清平宛	床次竹二郎	海原清平	〔大正5年7月〕20日	政界そのうちに変ありそう。坪田氏にしかるべく御礼申し上げてほしい。	墨書			1通	
328	8		床次竹二郎書簡 海原清平宛	床次竹二郎	海原清平	〔大正5年5月〕24日	清野君明後日帰県、貴兄につきよきように申し遣わしおく旨答え置く。26日より北海道に行く。先般来の出張にて眼を患い眼鏡をかける。	墨書			1通	
328	9		床次きよ書簡 海原清平宛	床次きよ	海原清平	〔大正5年5月〕24日	(床次竹二郎は)26日よりまた北海道に行くなど忙しいが元気なので御安心下されたし。愛国婦人会にて徳島の加藤をと様上京。	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
328	10		床次きよ書簡 海原清平宛	床次きよ	海原清平	(大正3年)6月18日	徳島では主人がお世話になり感謝。徳島での名刺をお送り下されたし。	墨書			1通	
328	11		床次きよ書簡 海原清平宛	床次きよ	海原清平	(大正3年)4月26日	お陰様で主人は初陣に当選し感謝。内閣も色々ありそう。	墨書			1通	
328	12		床次きよ書簡 海原清平宛	床次きよ	海原清平	(大正4年)10月28日	当方より坪田さまに参上いたしたく、御礼としてどのような品物がよいかお示し下されたし	墨書			1通	
328	13		床次きよ書簡 海原清平宛	床次きよ	海原清平	(大正6年)2月27日	昨夜は電話下され感謝。今朝無事帰宅。	墨書			1通	
328	14		床次きよ書簡 海原清平宛	床次きよ	海原清平	(大正1年)12月4日	お悔み申し上げます。少々なれども御霊前にお供え下されたし。	墨書			1通	
328	15		床次きよ書簡 海原清平宛	床次きよ	海原清平	(大正3年)7月1日	何よりのお品いただき感謝	墨書			1通	
328	16		床次きよ書簡 海原清平宛	床次きよ	海原清平	(大正3年)7月22日	先日はお世話下され感謝。主人は元気に遊説している由を新聞で散見。	墨書			1通	
328	17		床次きよ書簡 海原清平宛	床次きよ	海原清平	(大正4年)11月2日	松茸お送り下され感謝。主人の京都宿泊所は妹の所。御大典が天気であることを願う。	墨書			1通	
328	18		床次竹二郎メモ 松田宛	床次竹二郎	松田	30日	1000円封入致候	鉛筆書き	「九州線急行列車」用箋		1通	
329	0	0	島津久光に関する岩倉具視書簡・覚書								1巻(2点)	
329	1		岩倉具視書簡(草稿) 島津久光宛	岩倉具視	島津久光	明治3年12月25日	昨日は御来臨下され来春3月東上とのこと感謝、しかしその時になってまたまた延引となつては困るのもう一度お会いして確かめたい	墨書		『岩倉公実記中』877～879頁に書簡の引用あり	1通	
329	2		島津久光出仕に関する岩倉具視覚書	岩倉具視		明治8年5月	島津久光が建白書の実行を要求して出仕しなくなり、それに対し三条・岩倉が出仕を促す交渉の経緯の覚書	墨書		『岩倉公実記下』249～263頁に一部引用あり	1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
330	0	0	木戸孝允・広沢真臣書簡								1巻(8通)	
330	1		木戸孝允書簡 中島錫胤宛	木戸孝允	中島錫胤	(明治 年)1月1日	中納言様御機嫌よく御帰国し恐悦	墨書			1通	
330	2		木戸孝允書簡 中島錫胤宛	木戸孝允	中島錫胤	(明治2年)1月14日	嘗繕・用度両局に不正の趣あり、特に嘗繕司権判事上川伝一郎最もひどいとの由、御探索を希望す	墨書			1通	
330	3		木戸孝允書簡 中島錫胤宛	木戸孝允	中島錫胤	(明治2年)2月2日	昨春来の苦心成功すれば雀躍にたえず。御東幸の上は諸侯同主意の建言あれば一大好機会なので周旋中。	墨書			1通	
330	4		木戸孝允書簡 中島錫胤宛	木戸孝允	中島錫胤	(明治2年)2月4日	過刻御内話の一条、東久世卿に申上げ同卿は利岡と申す者を問い糾した上で申上げるはずなので、御聴き取りの上至当の御計らいを願う	墨書			1通	
330	5		木戸孝允書簡 中島錫胤宛	木戸孝允	中島錫胤	(明治2年)2月5日	土肥実匡判事が甲州府事に転任の由、何か御聴き取りの事あれば窺いたし。東久世の件、少し相違の点あり。お会いして御話したし。	墨書			1通	
330	6		木戸孝允書簡 中島錫胤宛	木戸孝允	中島錫胤	(明治1年)5月25日	徳川脱走の徒を別紙の三藩に預けては如何か。会津人広沢の増上寺内地所を普代所の僧へ預けては如何か。御意見をお聞かせ下されたし。	墨書			1通	
330	7		木戸孝允書簡 中島錫胤宛	木戸孝允	中島錫胤	(明治 年)7月24日	お窺い致したき儀あり、何時まで御局にいるかお答え下されたし	墨書			1通	
330	8		広沢真臣書簡 中島錫胤宛	広沢真臣	中島錫胤	(明治 年)6月4日	当府即今暗殺多く人民の疑惑は藩士、親兵にあり。そこで別紙の布令をだしては如何。御考慮下されたし。	墨書			1通	(別紙)諸藩士や親兵の中に暗殺の疑いある者は刑法官に申し出よとの布令案
331	0	0	三条実美・大久保利通自筆書簡								1巻(2通)	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
331	1		三条実美・大久保利通書簡 井上馨宛	三条実美	井上馨	(明治13年)7月29日	各省費額節減取調方として山県、松方、貴官任用につき御承諾御苦労	墨書			1通	
331	2		三条実美・大久保利通書簡 井上馨宛	大久保利通	井上馨	(明治4年)10月11日	一昨夜の談合の始末分かればすぐに申し上げるべきところ、昨日は何も分からず、今朝大臣を訪ねれば、今日大隈より板垣に示談の筈とのこと、よって後刻大隈方に出頭するが請け合いの含み	墨書			1通	
332	0	0	大久保利通書簡 黒田清隆宛								1巻(4通)	
332	1		大久保利通書簡 黒田清隆宛	大久保利通	黒田清隆	(明治7年)1月20日	酒田県より遷卒云々の件、小楯が三条公を訪問し告訴の件、坂本、国分が三条公を訪問した際の西郷に関する三条の話の件、など	墨書			1通	
332	2		大久保利通書簡 黒田清隆宛	大久保利通	黒田清隆	(明治7年)3月11日	江藤ら早晚捕縛されるであろう。彼らに男子たるものはおらず。	墨書			1通	
332	3		大久保利通書簡 黒田清隆宛	大久保利通	黒田清隆	(明治7年)1月6日	ロシアへの使節は榎本以外に見込の人物おらず、榎本に問い合わせしてほしい	墨書			1通	
332	4		大久保利通書簡 黒田清隆宛	大久保利通	黒田清隆	(明治7年)1月12日	榎本の件、感謝。海軍中將として任命することにしたい。	墨書			1通	
333	0	0	小山勝真収集史料一巻								1巻(27点)	
333	1		角田忠行書	角田忠行		明治43年3月	「慕古人之所志」	墨書			1点	
333	2		差出人不明書簡				山田弁道よりの御著書二冊やっど拝読	墨書			1通	
333	3		平田鍬胤書簡 掛川壱休宛	平田鍬胤	掛川壱休	(明治1年)4月20日	参与職神祇局判事、内国局判事に任命される。正月以来入門者多数。	墨書			1通	
333	4		平田鍬胤書簡 山田弁道宛	平田鍬胤	山田弁道	(慶応1年)5月9日	物価高騰し製本代に苦慮、御依頼の大史伝一部入手したので送付す	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
333	5		三条大橋西詰南高欄の張札			5月26日	政治的怪文書	墨書			1通	
333	6		臨在亭書簡 松所宛	臨在亭	松所	(明治7年)2月19日	佐賀では旧藩士が征韓党と憂国党に別れ対立、江藤参議が蹶起	墨書			1通	
333	7		杉浦譲・林友幸書簡 大久保利通宛	杉浦譲・林友幸	大久保利通	明治7年8月19日	国内は無事、地方官会議延期につき伊藤卿より地方官に説明あり	墨書			1通	
333	8		大久保利通書簡 金井之恭宛	大久保利通	金井之恭	(明治 年)2月13日	弁理大臣からの書状に対し返書案を作成してほしい	墨書			1通	
333	9		沢書簡 金井之恭宛	沢	金井之恭	(明治7年)9月3日	東京では徴兵令を誤解し苦情多し。陸軍少将山田・鳥尾・三浦辞表提出するも若手に動揺なし。	墨書			1通	
333	10		岩橋撤輔書簡 川村宛	岩橋撤輔	川村	(明治 年)5月3日	大久保殿随行とのこと。本日の訪問は差し控えたい。	墨書			1通	
333	11		福原和勝書簡	福原和勝		(明治7年10月)	10月18日以来の清との交渉の顛末の報告	墨書			1通	
333	12		大久保利通書簡 大隈重信宛	大久保利通	大隈重信	(明治7年)	陸海軍の整備、第一大隊長崎回航など御苦心感謝	墨書			1通	
333	13		差出人不明書簡			(明治7年)	蕃地事務局の名称は変更の必要あり、李の功勞に対し優待すべし	墨書			1通	
333	14		福島安正書簡 岡崎生三宛	福島安正	岡崎生三	(明治 年)6月22日	中村邦佐履歴書接手。田中大尉帰朝前北京および秦皇島巡視の希望。	墨書			1通	
333	15		玉松操短歌	玉松操			短歌	墨書			1点	
333	16		(西郷隆盛書簡 勝海舟宛)	(西郷隆盛)	(勝海舟)	(明治1年)1月3日	井上書簡につき伊地知正治と相談したところ異存なし。西の宮、丹波、姫路など戦況の報告。	墨書		偽筆か。同文の大久保宛書簡が国立歴史民俗博物館にあり。	1通	
333	17		樺山資紀書簡 後藤象二郎宛	樺山資紀	後藤象二郎	(明治24年)12月14日	西郷銅像を宮城正門外広場に建立することが決定	墨書			1通	
333	18		山地元治書簡 宮崎長武宛	山地元治	宮崎長武	(明治29年)2月18日	留守宅に引越し下されとのこと感謝。長崎事件は武官の論ずべきことではないが、不満あり。	墨書			1通	

## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
333	19		黒田清隆書簡 時任他宛	黒田清隆	時任為基・柳田友卿・湯地定基	(明治12年)1月22日	本庁は灰仁となり起居自由ならず、一世の誤りなり	墨書			1通	
333	20		書	典			七言絶句	墨書			1点	
333	21		岩村通俊短歌	岩村通俊			短歌、素水(岩村通俊の雅号)とあり	墨書			1点	
333	22		東郷平八郎書	東郷平八郎			「意自如」	墨書			1点	
333	23		井上来図書	(井上来図)				墨書			1点	
333	24		「なそつくし」				なぞなぞあそび	印刷			1点	
333	25		広告ちらし	会津若松屋			広告ちらし	印刷			1点	
333	26		懷宝 越後国全図(地図)					印刷			1点	
333	27		隈部親信書	隈部親信		大正15年	本巻子が小山勝真によって収集された経緯が記されている	墨書			1点	
334	0	0	西園寺公望書簡 伊藤博文宛	西園寺公望	伊藤博文	明治16年2月13日	渡欧中の板垣の様子、務めて板垣を外出に引張り出す、井田は来月半ば帰国、王族の議員・陸海軍将校たるを禁ずる法案修正可決、魯国大礼は5月挙行	墨書			1巻(1通)	
335	0	0	岩倉右府公宛至密手簡								1巻(2通)	
335	1		三条実美書簡 岩倉具視宛	三条実美	岩倉具視	(慶応4年)5月25日	徳川御処置は70万石に取極め申し渡す、亀之助は幼年6歳のため上京は名代にて、交代寄合の朝臣仰付の取調べは多人数のため延引、旧幕の恩義を慕う者はその俣にて然るべし、勝・大久保・山岡は朝臣仰付けては勤王の輩の疑念を生ず、上野敗卒は飯能に集屯す	墨書			1通	
335	2		過日香川敬三を以御示之事件 左二御答申候	(三条実美)		(慶応4年5月頃)	香川敬三をもってお示しの件への回答(戸田・静寛院宮の件、輪王寺宮の行方、外国御借財、四条は仙台征討へ出張、総督官指揮を願う、ほか)	墨書			1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
335	3		極め書(335-1)	野村敷明		大正9年8月15日	三条公真筆不容疑者也	墨書			1通	
335	4		極め書(335-2)	野村敷明		大正9年8月15日	三条公真筆不容疑者也	墨書			1通	
336	0	0	木戸孝允・釜山開港に関する意見書(書簡)								3点	
336	1		釜山開港に関する意見書	木戸孝允	大村益次郎	(明治2年1月)	皇国を万世維持するには釜山開港を迫るべし。『松菊木戸公伝』1279頁、『木戸孝允文書』第3、230頁収載。	墨書			1点	
336	2		「木戸孝允・釜山開港に関する意見書」筆耕				「釜山開港に関する意見書」の筆耕。	墨書			1点	
336	3		「木戸孝允・釜山開港に関する意見書」中の漢詩に関する説明				「釜山開港に関する意見書」中にある漢詩の説明。	墨書			1点	
337	0	0	伊藤博文宛書簡等								4通	
337	1		杉孫七郎書簡 伊藤博文宛	杉孫七郎	伊藤博文	(明治24年)12月22日	松方大臣より解散に備え機密金について問い合わせあり、貴兄に相談の上回答すると返事した	墨書			1通	
337	2		伊東巳代治書簡 伊藤博文宛	伊東巳代治	伊藤博文	(明治 年)3月28日	英国公使への回答は御下命に随い進行。後藤象二郎裁判に関する新聞記事を送付す。	墨書			1通	
337	3		中井弘書簡 伊藤博文宛	中井弘	伊藤博文	(明治1年)4月19日	後藤雲衛よりの薩摩上布の贈り物あり	墨書			1通	
337	4		渡辺国武書簡 伊東巳代治宛	渡辺国武	伊東巳代治	(明治28年)2月8日	金杉より旅行を一週間延期するよう言われたので、その旨首相へ伝えてほしい	墨書			1通	
338	0	0	犬養毅書簡 丹羽豊之助宛	犬養毅	丹羽豊之助	昭和8年10月11日	江藤新作氏、波多野伝三郎氏を喪い野添望月両氏同時に重患、国会選挙御尽力感謝、奈良の代議士中山平八郎氏も療養中。正義の士は公の為に私を顧みずして過度に心身を勞す。	墨書			1通	
339	0	0	長基連旧蔵書簡								7通	
339	1		水野禎三書簡	水野禎三	長基連	(明治43年)5月9日	故児玉大将追悼会の開催につき義捐依頼	墨書			1通	揮毫協力者リスト、1枚

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
339	2		千家尊福書簡	千家尊福(男爵選挙管理者)	長基連	(明治43年)5月23日	封筒のみ	墨書			1通	
339	3		二七会幹事書簡	二七会幹事	長基連	(明治43年)6月2日	貴族院男爵議員補欠選挙につき委任証状等送付、入会申込書送付	墨書			1通	
339	4		宮内省宗秩寮書簡	宮内省宗秩寮	長基連	(明治44年)5月21日	名簿を送付(宗秩寮達第5号)	印刷[活版]			1通	貴族院男爵議員補欠選挙人確定名簿、1冊
339	5		二七会幹事書簡	二七会幹事	長基連	(明治44年)5月22日	選挙にあたり総会にて手南部甕男推挙と決議につき通知	印刷			1通	
339	6		長連茂書簡	長連茂	長基連	(明治44年)10月17日	穴水山城払下げの件につき内々に相談	墨書			1通	
339	7		近藤磐雄書簡	近藤磐雄	松田潤次郎	(大正5年)11月9日	早川の寺内伯訪問の件は不日申上げる、ほか	墨書			1通	
340	0	0	故乃木大将之親翰								11点	
340	1		乃木希典葉書		佐藤正	明治( )年5月5日	寸暇を得て足利に旅行	墨書			1通	
340	2		正木義太書簡		佐藤弘典	大正11年4月10日	乃木將軍親筆御貸与感謝、本日返納す	墨書			1通	
340	3		北宗明譲渡証		近藤虎雄	大正13年9月18日	佐藤少佐より譲られた乃木將軍書幅などを貴殿に譲渡す。別紙、渡辺修「陸軍大将伯爵乃木希典閣下書幅及書翰出所経歴史」。	ペン書き			1通	
340	4		(人名辞典「乃木希典」項の複写)					複写			1点	
340	5		北宗明書簡		津端修	(大正13)年9月23日	この度は突然参上し感謝。明後日帰郷の予定。	墨書			1通	
340	6		近藤虎雄譲渡証		石川昇一	昭和7年6月3日	北宗明氏より譲りうけた乃木大将紙本軸物などを貴殿に譲渡す	墨書			1通	
340	7		覚書「公爵山県有朋元帥和歌伯爵乃木大将和歌」					墨書			1点	

## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
340	8		覚書「乃木神社 四〇二 - 二一八一」					ペン書き			1点	
340	9		覚書「井上毅 文部大臣、肥後熊本の土」					ペン書き			1点	
340	10		写真「上州新田大光院境内呑龍承認御手植松(臥龍松)」								1点	
340	11		(不明)				繊維質の物体				1点	木箱
341	0	0	伊藤公勅書稿・公爵山県元帥和歌・伯爵乃木大将和歌								2巻	
341	1	1	後藤新平書				「盛世光采」	墨書			1点	
341	1	2	伊藤博文書簡		井上毅	明治( )年5月10日	「即位以来執る所の外交の国是は条約の改正に依り其功を完ふせざるべからず。卿等か国是の存する所を体し中外の大局に顧み我帝国将来の長計を一簣に虧くことなきを信す」、大勢を定めるには尋常の手段では不可、尚御熟考を煩わせたし。	墨書			1通	
341	1	3	後藤新平解説			大正13年7月23日	野村徳七の願いにより、伊藤博文の手書き文案巻物に書を寄す	墨書			1点	
341	2	1	後藤新平巻首			大正13年7月23日	野村徳七より、山県元帥が乃木將軍を椿山荘に招き酒席の間に読んだ和歌を示す。野村の求めに応じ巻首を書す。	墨書			1点	
341	2	2	公爵山県元帥和歌、伯爵乃木大将和歌				寄花祝 有朋 春こゝにめて度年の匂ひかな君かちとせのかけになれつゝ、など	墨書			1点	
341	2	3	伏原宣足解説			大正6年2月	二条基弘の解説によれば、山県が乃木を椿山荘に招いた時の和歌である	墨書			1点	
342	0	0	明治元勲書簡巻								2巻	
342	1		三条実美書簡	三条実美	醍醐(忠順)	(明治 年)3月25日	御来駕を乞う	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
342	2		岩倉具視書簡	岩倉具視	大久保利通	(明治 年)12月31日	本日本戸入来、内閣云々の件には種々表情吐露するも成否は不明	墨書			1通	
342	3		西郷隆盛書簡	西郷隆盛	大久保利通	(明治 年)12月21日	小松太夫より貴兄同伴し明朝小室山狩に参りたしとのこと	墨書			1通	
342	4		木戸孝允書簡	木戸孝允	大久保利通	(明治 年)7月9日	私にも御沙汰あるも、満朝の耳目を惑わしては御政体も水泡に帰してしまうので不安	墨書			1通	
342	5		大久保利通書簡	大久保利通	岩下方平	(明治 年) 月 日	帰りがけにお立ち寄り下されたし	墨書			1通	
342	6		杉孫七郎書簡	杉孫七郎	高崎正風	(明治 年) 月 日	西幸吉の件、丸岡に相談したところ不都合なしとのこと	墨書			1通	
342	7		大山巖書簡	大山巖	掛山盛脩	(明治 年)9月7日	御祝文は宮内卿に差し出しておいた	墨書			1通	
343	0	0	岩倉具視書簡巻	岩倉具視	山県有朋	(明治9年)7月27日	華士族禄券売買解禁は大事件ゆえ、別紙意見書を作成	墨書			1通	
344	0	0	伊藤博文書簡	伊藤博文	元田永孚	(明治18年)1月13日	朝鮮事件、無事終結し御同慶。清国との交渉は外務卿帰朝の上着手	墨書			1通	
345	0	0	明治政治家書簡巻物								20通	
345	1		大山巖・西郷従道書簡	大山巖・西郷従道	前田正名	(明治 年)4月6日	那須野原野開墾につき明日現地に御同伴を乞う	墨書			1通	
345	2		川村純義書簡	川村純義	前田正名	(明治27年)1月9日	鹿児島県下殖産につき集会とのこと、残念ながら欠席	墨書			1通	
345	3		牧野伸顕書簡	牧野伸顕	前田正名	(明治 年) 月7日	明日御面会致したし	墨書			1通	
345	4		伊集院彦吉書簡	伊集院彦吉	前田正名	(明治31年)5月7日	無事釜山に到着、露国態度一変以來大いに好望、この際御視察を乞う	墨書			1通	
345	5		佐野常民書簡	佐野常民	前田正名	(明治31年)6月8日	とりあえず100円のみ御用立て致したし	墨書			1通	
345	6		長谷場純孝書簡	長谷場純孝	前田正名	(明治31年)3月30日	意外の火難、お見舞い申し上げる	墨書			1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
346	1		伊藤博文書簡	伊藤博文	松方正義	(明治16年)1月8日	ルーマニア王シグマリンゲン公、ワイマール公を訪問、キリスト教公許について議論あり。この点より、軍備充実の為の増税致し方なし	墨書		『伊藤博文伝』中335-9頁にあり	1通	
346	2		伊藤博文書簡	伊藤博文	岩倉具視	(明治7年)4月5日	台湾出兵は木戸と同じく内地優先論より反対であるが、国家のため木戸とさらに商議する予定	墨書		『伊藤博文伝』上849-50頁にあり	1通	
346	3		伊藤博文書簡	伊藤博文	山県有朋・井上馨・山田顕義	(明治15年)8月4日	憲法調査は想像より困難、もう一年の延期を願う	墨書			1通	
346	4		伊藤博文意見書草稿	伊藤博文	岩倉具視	(明治 年) 月 日	和漢古今の学に通じる者を欧州に派遣すべし	墨書			1通	
347	0	0	名家書簡巻物								9通	
347	1		松方正義書簡	松方正義	福島安正	(明治 年) 月 日	蒙的 経略記御恵贈感謝	墨書			1通	
347	2		陸奥宗光書簡	陸奥宗光	星亨	(明治30年)3月2日	広吉当地へ出発、お引き立てを願う。自由党ほとんど分裂	墨書			1通	
347	3		西園寺公望書簡	西園寺公望	(村上)	(大正2年)3月19日	25日華族会館集会は欠席と連絡してほしい	墨書			1通	
347	4		寺内正毅書簡	寺内正毅	福島安正	(大正3年)9月8日	欧州戦争は人種的争端となり今後の展開に注意。支那の改革と満州利権の確保重要。卑見は日置公使に伝える	墨書			1通	
347	5		加藤高明書簡	加藤高明	武富時敏	(大正3年)10月11日	防務会議書類返却す	墨書			1通	
347	6		後藤新平書簡	後藤新平	高橋享一	(大正2年)1月24日	桂新党の具体案はいまだ発表する時期に至らず	墨書			1通	
347	7		浜口雄幸書簡	浜口雄幸	山崎信樹	(大正 年)3月15日	総選挙に付ご高配感謝。高知支部幹事長小島純太上京の筈なので相談の予定	墨書			1通	
347	8		犬養毅書簡	犬養毅	安岡雄彦	(明治29年)2月28日	新政党結党式に御参加を乞う	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
347	9		尾崎行雄書簡	尾崎行雄	武富時敏	[大正 年]9月7日	北清で事業を経営する加藤代議士との面会を願う	墨書			1通	
348	0	0	杉山直矢関係史料								67通	
348	1		[ファイル表紙]	杉山直矢		[明治18年]6月 日		墨書		「自明治十六年五月至同十八年六月(参謀本部管西局員兼編纂課長在職中)」との書き込み	1枚	
348	2		福島安正書簡	福島安正	杉山直矢	[明治16年]5月10日		墨書	用箋		1通	
348	3		[楊沢新]書簡	[楊沢新]	杉山直矢	[明治16年]12月28日		墨書	用箋		1通	
348	4		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	[明治16年]12月25日		墨書	用箋		1通	
348	5		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	[明治17年]1月16日		墨書	用箋		1通	
348	6		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	[明治17年]1月22日		墨書	用箋		1通	
348	7		伊集院兼雄書簡	伊集院兼雄	杉山直矢	[明治17年]1月27日		墨書	用箋	「三河臥水」は伊集院兼雄の変名か	1通	
348	8		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	[明治17年]1月29日		墨書	用箋		1通	
348	9		伊集院兼雄書簡	伊集院兼雄	杉山直矢	[明治17年]2月5日		墨書	用箋	「三河臥水」は伊集院兼雄の変名か	1通	
348	10		福島安正書簡	福島安正	杉山直矢	[明治17年]2月6日		墨書	用箋		1通	
348	11		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	[明治17年]2月19日		墨書	用箋		1通	
348	12		[八郎]書簡	[八郎]	杉山直矢	[明治17年]3月3日		墨書	用箋		1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
348	13		福島安正書簡	福島安正	杉山直矢	(明治17年)3月12日		墨書	用箋		1通	
348	14		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	(明治17年)3月12日		墨書	用箋		1通	
348	15		(楊沢新)書簡	(楊沢新)	杉山直矢	(明治17年)4月14日		墨書	用箋		1通	
348	16		福島安正書簡	福島安正	杉山直矢	(明治17年)4月22日		墨書	用箋		1通	
348	17		福島安正書簡	福島安正	杉山直矢	(明治17年)5月12日		墨書	用箋		1通	
348	18		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	(明治17年)5月13日		墨書	用箋		1通	
348	19		島村干雄書簡	島村干雄	杉山直矢	(明治17年)5月18日		墨書	用箋		1通	
348	20		福島安正書簡	福島安正	杉山直矢	(明治17年)5月20日		墨書	用箋		1通	
348	21		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	(明治17年)5月20日		墨書	用箋		1通	
348	22		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	(明治17年)5月28日		墨書	用箋		1通	
348	23		福島安正書簡	福島安正	杉山直矢	(明治17年)6月4日		墨書	用箋		1通	
348	24		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	(明治17年)6月12日		墨書	用箋		1通	
348	25		福島安正書簡	福島安正	杉山直矢	(明治17年)6月17日		墨書	用箋		1通	
348	26		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	(明治17年)6月25日		墨書	用箋		1通	
348	27		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	(明治17年)7月1日		墨書	用箋		1通	
348	28		福島安正書簡	福島安正	杉山直矢	(明治17年)7月1日		墨書	用箋		1通	



## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
348	29		島村干雄書簡	島村干雄	杉山直矢	(明治17年)7月2日		墨書	用箋		1通	
348	30		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	(明治17年)7月15日		墨書	用箋		1通	
348	31		小沢豁郎書簡	小沢豁郎	杉山直矢	(明治17年)7月20日		墨書	用箋		1通	
348	32		花坂円書簡	花坂円	杉山直矢	(明治17年)7月21日		墨書	用箋		1通	
348	33		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	(明治17年)7月22日		墨書	用箋		1通	
348	34		島村干雄書簡	島村干雄	杉山直矢	(明治17年)7月23日		墨書	用箋		1通	
348	35		福島安正書簡	福島安正	杉山直矢	(明治17年)8月13日		墨書	用箋		1通	
348	36		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	(明治17年)8月6日		墨書	用箋		1通	
348	37		花坂円書簡	花坂円	杉山直矢	(明治17年)7月29日		墨書	用箋		1通	
348	38		{八郎}書簡	{八郎}	杉山直矢	(明治17年)7月30日		墨書	用箋		1通	
348	39		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	(明治17年)7月30日		墨書	用箋		1通	
348	40		{八郎}書簡	{八郎}	杉山直矢	(明治17年)8月8日		墨書	用箋		1通	
348	41		山根武亮書簡	山根武亮	杉山直矢	(明治17年)8月8日		墨書	用箋		1通	
348	42		山根武亮書簡	山根武亮	杉山直矢	(明治17年)8月13日		墨書	用箋		1通	
348	43		{八郎}書簡	{八郎}	杉山直矢	(明治17年)8月7日		墨書	用箋		1通	
348	44		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	(明治17年)8月19日		墨書	用箋		1通	

## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
348	45		{八郎}書簡	{八郎}	杉山直矢	{明治17年}8月23日		墨書	用箋		1通	
348	46		花坂円書簡	花坂円	杉山直矢	{明治17年}8月28日		墨書	用箋		1通	
348	47		山根武亮書簡	山根武亮	杉山直矢	{明治17年}9月2日		墨書	用箋		1通	
348	48		{八郎}書簡	{八郎}	杉山直矢	{明治17年}9月9日		墨書	用箋		1通	
348	49		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	{明治17年}9月11日		墨書	用箋		1通	
348	50		山根武亮書簡	山根武亮	杉山直矢	{明治17年}9月30日		墨書	用箋		1通	
348	51		木村宣明書簡	木村宣明	杉山直矢	{明治17年}10月1日		墨書	用箋		1通	
348	52		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	{明治17年}10月2日		墨書	用箋		1通	
348	53		花坂円書簡	花坂円	杉山直矢	{明治17年}10月11日		墨書	用箋		1通	
348	54		神尾光臣書簡	神尾光臣	杉山直矢	{明治17年}10月10日		墨書	用箋		1通	
348	55		{八郎}書簡	{八郎}	杉山直矢	{明治17年}10月14日		墨書	用箋		1通	
348	56		島村干雄書簡	島村干雄	杉山直矢	{明治17年}10月14日		墨書	用箋		1通	
348	57		{八郎}書簡	{八郎}	杉山直矢	{明治17年}10月22日		墨書	用箋		1通	
348	58		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	{明治17年}10月30日		墨書	用箋		1通	
348	59		{八郎}書簡	{八郎}	杉山直矢	{明治17年}11月16日		墨書	用箋		1通	
348	60		島村干雄書簡	島村干雄	杉山直矢	{明治17年}11月30日		墨書	用箋		1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
348	61		島村干雄書簡	島村干雄	杉山直矢	(明治17年)12月12日		墨書	用箋		1通	
348	62		(正保)書簡	(正保)	杉山直矢	(明治18年)1月10日		墨書	用箋		1通	
348	63		福島安正書簡	福島安正	杉山直矢	(明治18年)2月25日		墨書	用箋		1通	
348	64		島弘毅書簡	島弘毅	杉山直矢	(明治17年)12月10日		墨書	用箋		1通	
348	65		花坂円書簡	花坂円	杉山直矢	(明治17年)12月29日		墨書	用箋		1通	
348	66		島村干雄書簡	島村干雄	杉山直矢	(明治18年)1月28日		墨書	用箋		1通	
348	67		島村干雄書簡	島村干雄	杉山直矢	(明治18年)2月14日		墨書	用箋		1通	
348	68		島村干雄書簡	島村干雄	杉山直矢	(明治18年)5月27日		墨書	用箋		1通	
349	0	0	山田顕義宛カ書簡								2卷(8通)	書簡差出人と内容に齟齬が生じる書簡が含まれる
349	1	1	西郷隆盛書簡 山田顕義宛	西郷隆盛	山田顕義(参議)	6月3日	改年之御吉度不可有休期目出度	墨書			1通	異筆
349	1	2	伊藤博文書簡 山田顕義宛	伊藤博文	山田顕義(参議)	9月9日	例之事務は此際断然御辞退申上候方得其当候様考候に付可然御取計ひ煩度	墨書			1通	
349	1	3	大久保利通書簡 山田顕義宛	大久保利通	山田顕義	11月18日	全く貴官之御勉務に出候事本日林氏より承知せり、ノルマントン号事件云々	墨書		ノルマントン号事件時に大久保生存せず、書簡差出人と内容が齟齬	1通	
349	1	4	伊東祐亨書簡 山田顕義宛	伊東祐亨	山田顕義(参議)	9月17日	人物紹介	墨書			1通	
349	2	1	伊東祐亨書簡 山田顕義宛	伊東祐亨	山田顕義	3月20日	先般出立之際は態々御送り下されかたしけなく御厚礼申上候	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
349	2	2	松方正義書簡 山田顕義宛	松方正義	山田顕義(司法卿)	3月18日	来月三日芝紅葉館に於て政談演説会開催いたし度心得に候処御賛成下されまじくや	墨書			1通	
349	2	3	桂太郎書簡 山田顕義宛	桂太郎	山田顕義	12月2日	一昨廿一日附御芳書逐一拝見いる。御心配之由、併何分患なる多数には名説も入れ兼可申	墨書			1通	
349	2	4	真蔵書簡 山田顕義宛	真蔵	山田顕義	9月4日	随貴諭学校規則差上申候	墨書			1通	
350	0	0	齊藤重保旧蔵資料(牧野伸顕書簡・近衛文麿書幅)									
350	1		牧野伸顕書簡 齊藤重保宛	牧野伸顕	齊藤重保	3月28日	罹患の際に尊書を受けたことへの感謝。持病も快復。	墨書		齊藤は中国漢口に居住。	1巻	
350	2		牧野伸顕書簡 齊藤重保宛	牧野伸顕	齊藤重保	昭和17年12月8日	日中間問題への尽力(時局下)、20年間の日中間文化事業への献身・努力は将来にわたり扶植される、同文会精神は中国渡航の際重要な役割を果たす、難局処理への苦心は諒解	墨書		齊藤は富山に居住	1巻	短尺紙蔽「牧野伯書簡」、1点
350	3		牧野伸顕伯筆 和歌	牧野伸顕		12月8日		墨書			1巻	
350	4		近衛文麿公筆 書幅	近衛文麿		昭和17年	「闇然而日章」と記す。	墨書		江漢中学設立20周年記念式挙行時に近衛より揮毫を賜る。壬午(昭和17年)晩秋作。「藤原文麿」・「荻外荘」の押印あり。	1巻	
351	0	0	中村覚書簡 乃木希典宛(複製)								1点	
351	1		[丸筒]	中村謙一	慶松勝左衛門			印刷		もと351-2～3を収納していた。	1点	
351	2		中村覚書簡	[中村覚(少将)]	[乃木希典(大将)]	明治37年11月30日	白樺隊失敗の詫び。旅順攻撃につき所思を進言。	印刷			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
351	3		中村謙一書簡	中村謙一	慶松勝左衛門	昭和6年2月	父中村覚の乃木宛書簡が偶然発見される。七回忌記念に複製したので進呈す。	印刷			1通	
352			明治期貴族院・華族関係書簡巻物									
352	1		千家尊福書簡	千家尊福	醍醐忠敬・南部信民	(明治 年)1月11日	別紙伯子男爵へ至急通報下されたし。選挙につき教部無きよう取り纏め下されたし。	墨書			1通	
352	2		浅野長勲書簡	浅野長勲	醍醐忠敬	(明治 年)11月17日	今夕の本居先生の講義は親類中に病人が生じたので欠席す	墨書			1通	
352	3		柳原前光書簡	柳原前光	醍醐忠敬	(明治23年)5月20日	伯子男爵選挙の管理者投票につき、伯爵資格簿の件は首席大木喬任が不熟練につき別紙取調進呈す	墨書			1通	
352	4		阪谷朗廬書簡	阪谷朗廬	華族御会館幹事	(明治9年)4月12日	風邪もやっと快方に向かったので、十五日には出頭し左伝を講義す	墨書			1通	
352	5		本居盛頼書簡	本居盛頼	華族会館第一課	(明治 年)1月11日	皇典講義日の行き違い了解す	墨書			1通	
352	6		藤波言忠書簡	藤波言忠	華族会館	(明治 年)12月21日	吹上行幸の際の門鑑返還す。自分は侍従なので今後は不要。	墨書			1通	
352	7		三条実美書簡	三条実美	華族会館幹事	(明治 年)12月28日	祝詞案修正したいので来年開館式までに返却す	墨書			1通	
352	8		長岡護美書簡	長岡護美	三条実美	(明治 年)8月9日	西沢之助の『国光』中、小生位記に誤りあり。修正の上御頒布下されたし。	墨書			1通	
352	9		福羽美静書簡	福羽美静	華族会館幹事	(明治 年)10月7日	本日風邪で不参。好古会の節は別紙の様に願いたし。	墨書			1通	
352	10		勝海舟書簡	勝海舟	華族会館幹事	(明治 年)4月18日	同方会将来の付相談の件、眩暈の為欠席す	墨書			1通	
352	11		森山茂書簡	森山茂	伊達宗城	(明治 年)5月18日	東久世公とも相談し陶磁器など取り揃えたのでご利用くださいましたし	墨書			1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
356	1		内田信也書簡 加藤高明宛	内田信也	加藤高明	大正9年4月22日	御内談の件愚兄窪田四郎貴宅へ御伺致す事 / 小生大嫌ひの尾崎島田等の人物を後援致さず特に貴下御直系の健全分子を補助する様特別会計として御直裁に預度	ペン		大正10年3月20日「朝日新聞」(夕刊)に写真入りで全文掲載あり(写真と現物は一致、掲載翻刻文もほぼ一致) / 読売新聞等にも翻刻文掲載	1通	
356	2		内田信也電報 加藤高明宛	内田信也	加藤高明	大正10年3月20日		ペン		電報	1通	
356	3		大倉喜八郎書簡 加藤高明宛	大倉喜八郎	(加藤高明)	(大正14年)	瑞宝章一等是を旭日章に直していただきたい / 明年は九十歳ゆへ御高慮	墨書			1通	
356	4		廣岡宇一郎書簡(封筒のみ) 加藤高明宛	廣岡宇一郎	加藤高明	大正10年3月15日		墨書		封筒のみ	1通	
356	5		望月小太郎書簡(封筒のみ) 加藤高明宛	望月小太郎	加藤高明	明治38年5月15日		墨書		封筒のみ / 封筒裏面「五月二六日返事済」と墨書	1通	
356	6		若槻礼次郎書簡(封筒のみ) 加藤高明宛	若槻礼次郎	加藤高明	大正8年3月14日	広岡宇一郎氏の発表せる事件に付昨年四月二二日附貴下の書面を公表するの止むを得ざるに至れり	墨書		封筒のみ、若槻の書簡なし / 中身は3月19日付内田信也宛加藤高明電報の草稿	1通	
356	7		(封筒)				「内田信也事件」と墨書された封筒のみ	墨書			1通	
356	8		栗林よしゑ書簡 中村孝次郎宛	栗林よしゑ	中村孝次郎(北支那開発株式会社副総裁)	(昭和20年)6月24日	主人此の度戦死につき御丁重に御霊前に賜り御礼 / 五月二三日空襲で自宅全焼、五月末山梨へ引き移り食料だけは豊富	ペン			1通	
356	9		宮内省招待状	一木喜徳郎(宮内大臣)	加藤高明(内閣総理大臣)	大正14年12月5日	鴨獵被仰付候旨御沙汰	印刷[活版]			1通	
356	10		宮内省招待状	波多野敬直(宮内大臣)	加藤高明・加藤春路(妻)	大正4年11月1日	大饗夜宴に招待す	印刷[活版]			1通	

## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
356	11		宮内省招待状	波多野敬直 (宮内大臣)	加藤高明・加藤春路(妻)	大正4年11月1日	大饗に招待す	印刷[活版]			1通	
356	12		宮内省招待状	波多野敬直 (宮内大臣)	加藤高明	大正4年12月23日	新年宴会に招待す	印刷[活版]			1通	
356	13		宮内省招待状	波多野敬直 (宮内大臣)	加藤高明	大正6年2月1日	紀元節宴会に招待す	印刷[活版]			1通	
356	14		宮内省招待状	波多野敬直 (宮内大臣)	加藤高明	大正6年12月18日	御倍食被仰付候旨御沙汰	印刷[活版]			1通	
356	15		宮内省招待状	波多野敬直 (宮内大臣)	加藤高明(貴族院議員)	大正7年11月1日	特別大演習終了の後賜饌被為召旨御沙汰	印刷[活版]			1通	
356	16		宮内省招待状	波多野敬直 (宮内大臣)	加藤高明	大正8年12月16日	御倍食被仰付候旨御沙汰	印刷[活版]			1通	
356	17		宮内省招待状	波多野敬直 (宮内大臣)	加藤高明	大正8年12月23日	新年宴会に招待す	印刷[活版]			1通	
356	18		宮内省招待状	波多野敬直 (宮内大臣)	加藤高明・加藤春路(妻)	大正9年4月15日	観桜会に招待す	印刷[活版]			1通	
356	19		宮内省招待状	牧野伸顕(宮内大臣)	加藤高明	大正10年12月20日	新年宴会に招待す	印刷[活版]			1通	
356	20		宮内省招待状	牧野伸顕(宮内大臣)	加藤高明(内閣総理大臣)・加藤春路(妻)	大正13年11月11日	観菊会に招待す	印刷[活版]			1通	
356	21		久邇宮家招待状	野村礼讓(久邇宮附宮内事務官)	加藤高明(内閣総理大臣)・加藤春路(妻)	大正14年4月20日	朝融王殿下知子女王殿下と御結婚、園遊会御案内	印刷[活版]			1通	
356	22		伏見宮家招待状	馬場三郎(伏見宮附別当)	加藤高明	大正7年4月2日	貞愛親王殿下下来四月十日園遊会御催に付御案内	印刷[活版]			1通	
356	23		宮内省招待状	波多野敬直 (宮内大臣)	加藤厚太郎	大正6年2月1日	来る十一日紀元節に付酒饌下賜、参内可有之	印刷[活版]			1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
356	24		宮内省招待状	波多野敬直 (宮内大臣)	加藤厚太郎	大正8年12月23日	来る大正九年一月五日新年宴会に 付酒饌下賜、参内可有之	印刷[活 版]			1通	
356	25		宮内省招待状	一木喜徳郎 (宮内大臣)	松本忠雄(内 閣総理大臣 秘書官)	大正14年12月5日	鴨獵被仰付候旨御沙汰	印刷[活 版]			1通	
356	26		宮内省招待状	一木喜徳郎 (宮内大臣)	松本忠雄(内 閣総理大臣 秘書官)	大正15年5月10日	午餐下賜候旨御沙汰	印刷[活 版]			1通	
356	27		宮内省招待状	一木喜徳郎 (宮内大臣)	松本忠雄(衆 議院議員)	昭和3年12月1日	来る十日宮中に於て催さるる饗宴に 招待す	印刷[活 版]			1通	
356	28		東京市招待状	永田秀次郎 (東京市長)	松本忠雄	大正13年5月28日	皇太子殿下御結婚奉祝会挙行につ き来会被成下度	印刷[活 版]			1通	
357			高橋寿太郎宛書簡									
357	1		安達謙蔵書簡 高橋寿太郎宛	安達謙蔵	高橋寿太郎	(昭和9年)8月27日	御依頼の拙筆出来、明後日午前十 一時半御来邸下されたし	鉛筆			1通	
357	2		安達謙蔵書簡 高橋寿太郎宛	安達謙蔵	高橋寿太郎	(昭和15年)1月13 日	恭賀新禧、御郷里の名産御恵贈御 礼 / 腰痛再発し静養、明日は一寸上 京	墨書			1通	
357	3		阿部虎之助書簡 高橋寿太郎 宛	阿部虎之助 (朝鮮総督府 感化院官長)	高橋寿太郎	(昭和12年)2月17 日	家内入院、次女・末女腸チブス罹患、 次女死去 / 青年時代の追懐 / 昭和 八年以来総督府直轄官立感化院長 として従事	墨書			1通	
357	4		阿部虎之助書簡 高橋寿太郎 宛	阿部虎之助 (朝鮮総督府 感化院官長)	高橋寿太郎	(昭和18年)7月5日	結構な品拝受御礼 / 本年十月頃出 張、東京あたりで或は拜趨の栄を得 るならん / 坂下音次郎君令甥の逝去 をきく	ペン			1通	
357	5		阿部利七郎書簡 高橋寿太郎 宛	阿部利七郎	高橋寿太郎	(昭和16年)2月6日	珍しき塩引鮭御恵贈に預り難有奉謝 候 / 近江帆布会社につき、綿糸紡績 も兼営仕居候関係上最近の企業合 同により同業天満織物会社と合併、 不日正式調印の運び	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
357	6		安保清種書簡 高橋寿太郎宛	安保清種	高橋寿太郎	(昭和16年)2月5日	結構なる塩引御恵贈御礼	ペン		内容は名刺への書き込み	1通	
357	7		安保清種書簡 高橋寿太郎宛	安保清種	高橋寿太郎	(昭和17年)1月29日	珍品南部鮭塩引御恵贈御礼	ペン		内容は名刺への書き込み	1通	
357	8		安保清種書簡 高橋寿太郎宛	安保清種	高橋寿太郎	(昭和17年)5月4日	御当選御出馬の段邦家の為真に慶祝	ペン		内容は名刺への書き込み	1通	
357	9		有馬良橘書簡 高橋寿太郎宛	有馬良橘	高橋寿太郎 (海軍少佐)	(大正2年)12月17日	書籍御恵贈感謝、明日より片瀬へ転地	墨書			1通	
357	10		石井鉄之介書簡 高橋寿太郎宛	石井鉄之介	高橋寿太郎	昭和17年5月6日	御当選大慶至極	墨書			1通	
357	11		石黒英彦書簡 高橋寿太郎宛	石黒英彦	高橋寿太郎	(昭和10年)2月15日	議会速記録御恵贈御礼、災害善後の措置並に東北振興に鋭意勤策中	墨書			1通	
357	12		石原廣一郎書簡 高橋寿太郎宛	石原廣一郎	高橋寿太郎	(昭和10年)2月20日	拙著につき御気付の諸点一々御高見を御指示に預り恐縮 / 内政改革の合法的時代、民族発展の好期到来致し軍人も政党人も財界人も共に協力すべき秋	ペン			1通	
357	13		伊地知季珍書簡 高橋寿太郎宛	伊地知季珍	高橋寿太郎	(昭和8年)9月24日	先日は「東京の防空に就て」之外交時報之抜刷御寄贈被下面白く拝見	墨書			1通	
357	14		一条実孝書簡 高橋寿太郎宛	一条実孝	高橋寿太郎	(昭和9年)9月23日	先日御話できず残念 / 珍品御恵与感謝	墨書			1通	
357	15		一条実孝書簡 高橋寿太郎宛	一条実孝	高橋寿太郎	(昭和9年)12月26日	名産品御恵与御礼	墨書			1通	
357	16		一条実孝書簡 高橋寿太郎宛	一条実孝	高橋寿太郎	(昭和17年)7月23日	金鷄勲章年金の税金について	ペン			1通	
357	17		井出謙治書簡 高橋寿太郎宛	井出謙治	高橋寿太郎	昭和10年2月26日	衆議院予算委員会速記御送付御礼	ペン			1通	
357	18		伊東圭一郎書簡 高橋寿太郎宛	伊東圭一郎	高橋寿太郎	(昭和17年)4月1日	推薦候補となられたこと知り欣快、御当選も確實	墨書			1通	
357	19		人間野武雄書簡 高橋寿太郎宛	人間野武雄	高橋寿太郎	(昭和13年)4月16日	御芳墨拝読、郷里の為御尽瘁慶祝の至り	ペン	絵葉書 (長谷観音)		1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
357	20		宇垣一成書簡 高橋寿太郎宛	(宇垣一成)	高橋寿太郎	(昭和10年)3月18日	御来意敬承、御自重御健闘祈上候	ペン		差出人は「於京城 一成」より推定	1通	
357	21		宇垣一成書簡 高橋寿太郎宛	(宇垣一成)	高橋寿太郎	(昭和11年)9月17日	御来示拝承、御厚情感謝	ペン		差出人は「於国立 宇垣」より推定	1通	
357	22		宇川済書簡 高橋寿太郎宛	(宇川済)	高橋寿太郎	(昭和4年)11月12日	秋の上野御散歩の序御来駕の栄を得たし	墨書		差出人は「宇川」	1通	
357	23		梅津七蔵書簡 高橋寿太郎宛	梅津七蔵	高橋寿太郎	(昭和9年)3月28日	砂鉄鉱利用につき意見 / 学校の方は手を切り重工業に傾倒せん決心、御尊体あたりの援助も受けたし	ペン			1通	
357	24		及川古志郎書簡 高橋寿太郎宛	及川古志郎	高橋寿太郎	(昭和14年)7月18日	拝謝御存問	墨書			1通	
357	25		大川内傳七書簡 高橋寿太郎宛	大川内傳七	高橋寿太郎	(昭和12年)10月11日	御激励感謝厚く御礼	墨書			1通	
357	26		大川内傳七書簡 高橋寿太郎宛	大川内傳七	高橋寿太郎	(昭和12年)11月10日	御祝辞御礼	墨書			1通	
357	27		大川内傳七書簡 高橋寿太郎宛	大川内傳七	高橋寿太郎	(昭和16年)2月22日	結構なる御慰問品御惠贈御礼。極めて不適職に配せられ只々御茶を濁しつつ相過し居申候	墨書		年代は封筒裏面の「支那方面艦隊司令部大川内傳七」より推測	1通	
357	28		大川内傳七書簡 高橋寿太郎宛	大川内傳七	高橋寿太郎	(昭和18年)2月22日	珍しき品御惠贈感謝 / 昨年七月小澤前長官の後を繋いで第一線の指揮官を拜命致し再度の出征の機会を与へられ武人の面目として光栄	墨書			1通	
357	29		大久保偵次書簡 高橋寿太郎宛	大久保偵次	高橋寿太郎	(昭和17年)5月5日	衆議院議員総選挙御当選慶賀、大東亜新秩序建設の為めにも祝福の至り	墨書			1通	
357	30		大角岑生書簡 高橋寿太郎宛	大角岑生	高橋寿太郎	(昭和8年)1月27日	御郷土名産御惠贈御礼 / 議会之方は不慣れにて閉口、余り突然之交代にて俄勉強に困り居候、何分よろしく御願申上く	ペン			1通	
357	31		太田淳書簡 高橋寿太郎宛	太田淳(品川区会議員)	高橋寿太郎	昭和12年5月6日	祝御当選	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
357	32		大野一郎書簡 高橋寿太郎宛	大野一郎	高橋寿太郎	(昭和17か18年)4月5日	上林君の件早速分隊長並に本人招致勤務希望等聴取、本人の希望は舞鶴人事部長へ通し置き候、然し実現に関しては申上げ兼ねる	墨書		年代は封筒裏面の「上海特別陸戦隊 大野一郎」より推測	1通	
357	33		風見章書簡 高橋寿太郎宛	風見章	高橋寿太郎	(昭和9年)8月24日	結構なるもの沢山頂戴御礼 / 明後日よりは在京の予定	墨書			1通	
357	34		風見章書簡 高橋寿太郎宛	風見章	高橋寿太郎	(昭和10年)11月15日	朝鮮総督府内務局長牛島省三氏へ貴台渡鮮の節宜敷たのむ旨の手紙差し出し、渡鮮の節御たずね下されたし	墨書			1通	
357	35		風見章書簡 高橋寿太郎宛	風見章	高橋寿太郎	(昭和12年)2月15日	御健在を祈る / 短歌二首	ペン			1通	
357	36		風見章書簡 高橋寿太郎宛	風見章	高橋寿太郎	昭和17年3月26日	中央に於ては仁台は推薦さる事に相成、御安心被下度候	墨書			1通	
357	37		風見章書簡 高橋寿太郎宛	風見章	高橋寿太郎	(昭和)11月1日	仙台の片平君御紹介、同君は仙台東方会の指導者	墨書			1通	
357	38		川島正書簡 高橋寿太郎宛	川島正(豊橋陸軍教導学校歩兵学生隊副官)	高橋寿太郎	(昭和10年)1月21日	御祝詞を賜り深謝	ペン			1通	
357	39		河村圭三書簡 高橋寿太郎宛	河村圭三(恢弘会常務理事)	高橋寿太郎	昭和18年1月16日	東条首相別邸の噂につき経緯及び真相	印刷[活字]			1通	
357	40		清河純一書簡 高橋寿太郎宛	清河純一	高橋寿太郎	昭和9年2月27日	三月一日午後学校に電話あれ	ペン		輪ゴムの劣化痕あり、一部判読不能	1通	
357	41		清河純一書簡 高橋寿太郎宛	(清河純一)	高橋寿太郎	昭和9年3月1日	入歯の加減で電話不明瞭御気の毒、手軽に晚餐を共にしよう	ペン		葉書には「純」とのみ署名。内容から清河差出葉書と判断	1通	
357	42		煙山専太郎書簡 高橋寿太郎宛	煙山専太郎	高橋寿太郎	(昭和11年)12月2日	計らずも尊顔を拝し欣快 / 拙編座右に呈す	ペン			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
357	43		小松鉄太郎書簡 高橋寿太郎宛	小松鉄太郎	高橋寿太郎	(昭和)12月17日	愚息茂夫入営の際御高配御礼、戸畑市明治鉱業の重役と会見 / 満俺鉄につき、朝鮮側依然無風帯の状況、明治鉱業も日鉄鉱業の態度決定を待望 / 鉄及び満俺増産は内地側より朝鮮に働き掛ける必要	墨書			1通	
357	44		小山田繁蔵書簡 高橋寿太郎宛	小山田繁蔵	高橋寿太郎	昭和9年12月19日	鋼塊落掌、この御品を造刀の冶金とするには作業を要す、一先ず御返送 / 栗原先生に御相談願う	墨書			1通	
357	45		酒井忠正書簡 高橋寿太郎宛	酒井忠正(帝国農会長)	高橋寿太郎	昭和17年5月1日	今次の総選挙において高点御当選慶賀、長期戦下における農業政策の為御高配煩わしたし	印刷[活字]			1通	
357	46		笹川良一書簡 高橋寿太郎宛	笹川良一(国粋同盟総裁)	高橋寿太郎	(昭和19年)7月20日	御自愛御活躍を祈る	ペン	葉書(中華民国郵政明信片)	年代は消印の民国暦33年より推定	1通	
357	47		嶋田繁太郎書簡 高橋寿太郎宛	嶋田繁太郎	高橋寿太郎	(昭和16年)2月19日	小生相変わらず頑健にて奮戦、御郷里名物御礼	墨書		年代は封筒裏面の「支那方面艦隊司令部 嶋田繁太郎」より推定	1通	
357	48		嶋田繁太郎書簡 高橋寿太郎宛	嶋田繁太郎	高橋寿太郎	(昭和17年)3月19日	遠路御来訪、鮭頂き御礼	墨書		内容は名刺への書き込み	1通	
357	49		真藤(慎太郎カ)書簡 高橋寿太郎宛	真藤(慎太郎カ)	高橋寿太郎	(昭和カ)12月25日	出発の際御見送り恐縮、十六日無事着英、三月中には帰朝	ペン		差出人は「真藤」、ロンドンより差出	1通	
357	50		鈴木巖書簡 高橋寿太郎宛	鈴木巖	高橋寿太郎	(昭和11年)1月21日	電報拝謝、無論再起せらるべく、決して御油断あるべからず	ペン			1通	
357	51		園田実書簡 高橋寿太郎宛	園田実	高橋寿太郎	大正15年3月30日	御送付の切れ地落手、御申越の件は何れその内機を見て依頼致すべく候 / 旧患膀胱結石再発	墨書			1通	
357	52		高田利種書簡 高橋寿太郎宛	高田利種	高橋寿太郎	昭和16年12月18日	機密保持・国内態勢整備、今は楽しみ想い出 / 長期建設戦争に関し御指導御支援御願ひ	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
357	53		高梨(弘カ)書簡 高橋寿太郎宛	高梨(弘カ) (少佐)	高橋寿太郎	昭和14年10月2日	御慰問の御言葉感謝 / 連日の掃蕩戦、全山西の明朗化も遠くはないことを確信	ペン		軍事郵便。葉書には「北支那派遣谷口部隊気付 井上部隊高梨隊 高梨少佐」と署名	1通	
357	54		高柳(保太郎カ)書簡 高橋寿太郎宛	高柳(保太郎カ)	高橋寿太郎	(昭和8年)9月1日	祈念の花輪有難し	ペン		差出人は「大連高柳生」より推定。中国大連より発信	1通	
357	55		竹越与三郎書簡 高橋寿太郎宛	竹越与三郎	高橋寿太郎	(昭和)9月3日	東京防空につき御意見示し下さり御礼、豚児等にも回覧	ペン			1通	
357	56		建部遜吾書簡 高橋寿太郎宛	建部遜吾	高橋寿太郎	昭和17年3月15日	毎度の御活躍側聞(漢詩及び和歌を印字)	印刷[活版]・ペン			1通	
357	57		多田(駿カ)書簡 高橋寿太郎宛	多田(駿カ)	高橋寿太郎 (衆議院議員)	(昭和11年カ)1月25日	謹賀新年、この頃の国内情勢痛心の極み	墨書		軍事郵便 / 「多田部隊本部 検閲済 陸軍歩兵少佐古東要」のスタンプあり / 差出人は「北京多田部隊長」と署名	1通	
357	58		館明次郎書簡 高橋寿太郎宛	館明次郎	高橋寿太郎	昭和5年2月23日	初陣の御奏凱奉祝 / 民政党八大政綱実現、海帝国国防の基調を議員に徹底させ、既成政党の弊実を是正匡救翹望	墨書			1通	
357	59		田中軍吉書簡 高橋寿太郎宛	田中軍吉	高橋寿太郎	(昭和)9月25日	書簡なし、封筒の中は新聞切抜3点のみ「田中大尉の熱弁」 / 「田中大尉に聴くの会」 / 「香花料を手向」	印刷[活版]			1通	
357	60		出淵勝次書簡 高橋寿太郎宛	出淵勝次	高橋寿太郎	(昭和11年)2月6日	岩手日報に掲載の政見拝読し多大の興味を感じ申候 / 私情においても老兄の再選を切望	ペン			1通	
357	61		出淵勝次書簡 高橋寿太郎宛	出淵勝次	高橋寿太郎	(昭和13年)3月13日	珍品御恵送有難し	ペン			1通	
357	62		出淵勝次書簡 高橋寿太郎宛	出淵勝次	高橋寿太郎	(昭和17年)3月26日	御丹精の野菜御恵贈有難し	ペン			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
357	63		出淵勝次書簡 高橋寿太郎宛	出淵勝次	高橋寿太郎	(昭和)9月11日	昨日岩手県視察より帰京、するめ及びキャベツ御笑納願う / 宮古町長に面会の際、小生の手紙は直筆なりやと尋ねに付然りと答置候	ペン			1通	
357	64		枅内曾次郎書簡 高橋寿太郎宛	枅内曾次郎	高橋寿太郎	12月29日	大鼻曲頂戴御礼。鳥崎氏丸焼け同情に不堪、御見舞致度も交通不便にて実行致兼ねる / 小生の同情金三十円と内定	墨書			1通	
357	65		豊田豊吉書簡 高橋寿太郎宛	豊田豊吉	高橋寿太郎	(昭和14年)4月16日	御名著御送達賜り御礼、素人の介入を許さぬ幽玄のものあり	ペン			1通	
357	66		永野修身書簡 高橋寿太郎宛	永野修身	高橋寿太郎	(昭和9年)2月26日	御申越により別刺御送り、御役に立たば仕合せ	墨書			1通	
357	67		永野修身書簡 高橋寿太郎宛	永野修身	高橋寿太郎	(昭和14年)1月12日	結構なる御品御贈与感謝	ペン			1通	
357	68		野村吉三郎書簡 高橋寿太郎宛	野村吉三郎	高橋寿太郎	(昭和5年)2月24日	御当選祝上、不公明の政治を排し国利民福の向上に対し十二分の御健闘を願う	ペン			1通	
357	69		野村仁作書簡 高橋寿太郎宛	野村仁作	高橋寿太郎	昭和5年2月24日	御当選を祝す、政界浄化の為め御健闘あらん事を切望	ペン			1通	
357	70		長谷川清書簡 高橋寿太郎宛	長谷川清	高橋寿太郎	(昭和12年)10月6日	御懇篤なる御芳墨多謝、元氣奮闘中 / 陸戦隊、航空隊将士猛勇振りを発揮	ペン		軍事郵便	1通	
357	71		長谷川清書簡 高橋寿太郎宛	長谷川清	高橋寿太郎	(昭和12年)11月14日	戦勝祝として結構なる林檎御恵贈御礼	ペン		軍事郵便	1通	
357	72		長谷川清書簡 高橋寿太郎宛	長谷川清	高橋寿太郎	(昭和12年)12月7日	御名刺多謝、戦線好進展御同慶	ペン		軍事郵便	1通	
357	73		原敢二郎書簡 高橋寿太郎宛	原敢二郎	高橋寿太郎	(昭和9年)12月25日	好物の郷里珍味御恵贈御礼	ペン			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
357	74		原敢二郎書簡 高橋寿太郎宛	原敢二郎	高橋寿太郎	(昭和10年)3月9日	議会速記録及び貴族院に於ける美濃部氏演説のもの御恵贈御礼 / 美濃部氏の憲法論につき私見、美濃部氏所論と菊池らの国体論は離合すべきで相克すべきものにあらず / 国民を駆りて戦闘機関戦闘要具たらしめんとする一派の主張断乎排撃すべき	ペン			1通	
357	75		原敢二郎書簡 高橋寿太郎宛	原敢二郎	高橋寿太郎	(昭和15年)1月17日	結構なる塩引御恵贈御礼 / 米内君への大命降下、新内閣への民政党支持方針につき私見 / 時局を百八十度転回せしめ人間らしき政治へ還元する様切望	墨書		封筒表「米内内閣成立に対する所感」のペン書きあり(高橋筆か)	1通	
357	76		菱刈隆書簡 高橋寿太郎宛	菱刈隆	高橋寿太郎	(昭和17年)6月7日	先日は不在にて失礼、何よりの品物頂戴御礼	ペン			1通	
357	77		平賀讓書簡 高橋寿太郎宛	平賀讓	高橋寿太郎	(昭和14年)3月29日	美味のもの有難し、果物送付御笑納されたし	ペン			1通	
357	78		平賀讓書簡 高橋寿太郎宛	平賀讓	高橋寿太郎	(昭和15年)2月19日	御論文拝受	ペン			1通	
357	79		藤井清治書簡 高橋寿太郎宛	藤井清治	高橋寿太郎	(昭和6年)5月4日	山下閣下を喪い残念至極、陸軍の大江中将病退に続いて社も不運 / 派差別甚しき社を退き勤務に服する所存	墨書			1通	
357	80		本多熊太郎書簡 高橋寿太郎宛	本多熊太郎	高橋寿太郎	(昭和8年)9月6日	倫敦海軍条約に関する御意見書御恵贈佩謝、他山の石として篤と拝読	ペン			1通	
357	81		前野政男書簡 高橋寿太郎宛	前野政男	高橋寿太郎	(昭和14年)3月2日	珍しい送物いただき御礼	ペン			1通	
357	82		松岡忠一書簡 高橋寿太郎宛	松岡忠一	高橋寿太郎	(昭和18年)12月29日	此程本県農業会長就任、決戦下郷土の食糧増産に資したし	墨書			1通	
357	83		松平保男書簡 高橋寿太郎宛	松平保男	高橋寿太郎	(昭和10年)8月12日	残暑御見舞、珍しき御国産晩酌の膳に供す	ペン			1通	
357	84		三宅驥一書簡 高橋寿太郎宛	三宅驥一	高橋寿太郎	(昭和12年)11月11日	誠に結構なる品御恵送深謝	ペン			1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
357	85		三宅驥一書簡 高橋寿太郎宛	三宅驥一	高橋寿太郎	(昭和13年)3月6日	先般渡米帰朝の際御懇電深謝。今回更に訪独、十二月帰朝の予定	ペン			1通	
357	86		三宅驥一書簡 高橋寿太郎宛	三宅驥一	高橋寿太郎	(昭和17年)5月2日	総選挙御当選慶賀	墨書			1通	
357	87		三宅驥一書簡 高橋寿太郎宛	三宅驥一	高橋寿太郎	(昭和カ)11月20日	欧州巡遊を終え今朝ナポリ入港、午後出港の予定	ペン			1通	
357	88		盛合光蔵書簡 高橋寿太郎宛	盛合光蔵	高橋寿太郎	(昭和13年)1月20日	田老村長就任御祝詞 / 故関口松太郎氏補欠選挙立候補につき。私が立候補するとせば周囲の先輩はいづれも政友系、この大勢には如何とも出来ず	墨書			1通	
357	89		八木逸郎書簡 高橋寿太郎宛	八木逸郎	高橋寿太郎	(昭和15年)2月3日	貴著「海陸両戦特異の性質」読了、御恵贈感謝	ペン			1通	
357	90		八角三郎書簡 高橋寿太郎宛	八角三郎	高橋寿太郎	(昭和17年)5月6日	御当選敬祝	墨書			1通	
357	91		山屋他人書簡 高橋寿太郎宛	山屋他人	高橋寿太郎	(昭和7年)1月24日	今回再度立候補にて拙名御持出の件拝承	墨書			1通	
357	92		山屋他人書簡 高橋寿太郎宛	山屋他人	高橋寿太郎	(昭和7年)7月16日	健品拝受、御芳志感謝	墨書			1通	
357	93		山屋他人書簡 高橋寿太郎宛	山屋他人	高橋寿太郎	(昭和8年)12月13日	二十一日盛岡そば差上度 / 原、八角、小山田三君来会の筈	墨書			1通	
357	94		山屋他人書簡 高橋寿太郎宛	山屋他人	高橋寿太郎	(昭和9年)2月1日	銚ヶ崎名物御寄送御礼	墨書			1通	
357	95		山屋他人書簡 高橋寿太郎宛	山屋他人	高橋寿太郎	(昭和9年)9月1日	宮古名産御恵贈感謝 / 本日の防空演習雨中にて気の毒、航空設備拡充の宣伝には好方便	墨書			1通	
357	96		山屋他人書簡 高橋寿太郎宛	山屋他人	高橋寿太郎	(昭和9年)12月11日	十三日夕刻御来臨被下度、小山田、原、八角の諸君も来会の筈	墨書			1通	
357	97		山屋他人書簡 高橋寿太郎宛	山屋他人	高橋寿太郎	(昭和9年)12月26日	御郷産拝受、議会無事成立目出度	墨書			1通	
357	98		山屋他人書簡 高橋寿太郎宛	山屋他人	高橋寿太郎	(昭和10年)1月21日	御依頼の拙書本日小包に附し候間御受留被下度	墨書			1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
358	1		有坂愛彦書簡 宮本吉夫宛	有坂愛彦	宮本吉夫(情報局第二部第三課長)	昭和17年4月19日	「放送と国防国家」御恵と御礼。	ペン	日本放送協会罫紙		1通	
358	2		小野賢一郎書簡 宮本吉夫宛	小野賢一郎	宮本吉夫(内閣情報局第二部第三課長)	昭和15年12月10日	御転任祝詞。近頃はラヂオが面白い。	ペン			1通	
358	3		小野賢一郎書簡 宮本吉夫宛	小野賢一郎	宮本吉夫(情報局第二部第三課長)	2月16日	市川鉄藤・中藪外履歴書	ペン・鉛筆	日本放送協会罫紙		1通	
358	4		小野賢一郎書簡 宮本吉夫宛	小野賢一郎	{宮本吉夫}(情報局第二部第三課長)	5月16日	昨日の打合せの件すぐ実行したい。吹奏楽器二千人以上利用できる。	ペン	日本放送協会罫紙		1通	
358	5		小野賢一郎書簡 宮本吉夫宛	小野賢一郎	{宮本吉夫}(情報局第二部第三課長)		お話しの件、有馬大五郎・野村光一がよい。読売の加田君が音楽部にいたら面白い。	ペン	日本放送協会罫紙		1通	
358	6		小野賢一郎書簡 宮本吉夫宛	小野賢一郎	{宮本吉夫}(情報局第二部第三課長)		雑誌の事につき相本君への事づけ了承。崎山君と相本君交渉に移し一日も早く出版協会の出席を願う。	ペン	日本放送協会罫紙		1通	
358	7		奥屋熊郎書簡 宮本吉夫宛	奥屋熊郎	{宮本吉夫}(情報局新聞課長)	昭和19年8月5日	御高見伺いたく貴台ならびに水谷、並河両氏の御枉駕をいただきたい。	ペン	日本放送出版協会罫紙		1通	
358	8		落合守平書簡 宮本吉夫宛	落合守平	宮本吉夫	昭和18年5月1日	日本新聞協会勤務の前田潔氏に対しても格別の御援助を賜りたい。	墨書			1通	
358	9		杉山憲書簡 宮本吉夫宛	杉山憲	宮本吉夫	昭和17年8月7日	第一課長御栄転慶賀。	墨書			1通	
358	10		多田不二書簡 宮本吉夫宛	多田不二	宮本吉夫	昭和17年4月21日	「放送と国防国家」御恵と深謝。	ペン			1通	
358	11		中村茂書簡 宮本吉夫宛	中村茂	宮本吉夫	昭和17年6月26日	第一課長御栄転慶祝。	墨書			1通	
358	12		矢部謙次郎書簡 宮本吉夫宛	矢部謙次郎	宮本吉夫	昭和17年5月4日	「放送と国防国家」御嘉恵御礼。御公刊洵に時機を得たりと讃称す。	ペン・墨書			1通	
359			小西軍助書簡 藤本喜市宛	小西軍助	藤本喜市	大正3年8月	航海及び入植地の状況を伝える。	墨書			1通	小西家家族写真、1枚

## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
360			山川均書簡 井手実寿宛	山川均	井手実寿	(明治)9月2日	久留米支部設置の件	墨書			1通	
361			岩倉具視書簡 佐佐木高行(司法大輔)宛	岩倉具視	佐佐木高行(司法大輔)	(明治5年)5月29日	先行して英国に到着した佐佐木に対し、米国では交渉の延引が続いている事情を伝える	墨書			1巻(1通)	
362			犬養毅書簡 阿部繁太郎宛	犬養毅	阿部繁太郎	(明治)25年6月15日	選挙干渉、議長・副議長選出、監獄費支弁問題、両院協議会等の事情について	墨書		帙、1箱	1通	
363			桂太郎書簡 田嶋信夫宛	桂太郎	田嶋信夫	明治33年9月16日	北清事変	墨書			1通	
364			吉田茂書簡 田中義一宛	吉田茂	(田中義一)(首相)	(昭和4年)4月10日	済南事件についての首相弁明が同時期の優詔問題と同様の問題を惹起しないよう、注意を払う牧野内大臣の意を取次ぐ	墨書			1通	
365			伊藤博文書簡 伊東巳代治宛	伊藤博文	伊東巳代治	(明治28年)10月12日	朝鮮の出来事(乙未事変)に万一日本人で反乱に加わりたるものあれば嚴重の取り調べを為し躊躇なく処罰。取り敢えず外務省高等官、陸軍省より士官、司法より検事等を派出。西園寺へ今晚にも御面会相なりたし。	墨書			1通	
366			山県有朋書簡 伊藤博文宛	山県有朋	伊藤博文	(明治14年)10月6日	開拓使官有物私下事件、大山の話に、黒田が守株のままならば断然処決のほかなしとのこと。今日の国家危急の際、小事に拘泥すべきではなし	墨書			1巻(1通)	受取覚、1枚

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
367			明治元勲書簡集								3巻	借用書、1枚
367	1		(明治元勲書簡集 第一巻)								1巻	
367	1	1	伊藤博文書簡 柴田家門宛	伊藤博文	柴田家門	(明治)年5月4日	児玉は病気、山田は公務のため、浮洲をお遣わし下されたし	墨書			1通	
367	1	2	西園寺公望書簡 柴田家門宛	西園寺公望	柴田家門	(明治)年3月23日	帝国大学鉄冶金教師雇入の件、御裁可すみ次第衆議院に提出なされたし	墨書			1通	
367	1	3	原敬書簡 柴田家門宛	原敬	柴田家門	(明治26年)10月27日	雇員12円以下とは官制実施直後からか、27年度より実施なのか御決定下されたし	墨書			1通	
367	2		(明治元勲書簡集 第二巻)								1巻	
367	2	1	内海忠勝書簡 柴田家門宛	内海忠勝	柴田家門	(明治)11月24日	首相の京都行は面白からざる致し方なし。会見の参考として南禅寺翁より書面をお取り寄せ下されたし	墨書			1通	
367	2	2	品川弥二郎書簡 榎村正直宛	品川弥二郎	榎村正直	27日	有名な学校だけ見学との事了解。明石より女紅場を見学し感佩	墨書			1通	
367	2	3	山田顕義書簡 前原一誠宛	山田顕義	前原一誠	(明治元年)8月11日	薩摩春日丸、当港到着。この上は丁卯丸は帰国の運びに致したし	墨書			1通	
367	2	4	桂太郎書簡 柴田家門宛	桂太郎	柴田家門	(明治)1月25日	例の件、28日仰せ出されるとのこと、しからは自分は理由をつけて遠慮し寺内大将に代理を願いたし	墨書		消印は明治39年12月30日	1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
367	2	5	曾祢荒助書簡 桂太郎宛	曾祢荒助	桂太郎	(明治)3月17日	いまだ実行上定まらぬ点があるので、御演説原稿に加筆、お許し願いたい	墨書			1通	
367	2	6	乃木希典書簡 寺内正毅宛	乃木希典	寺内正毅	(明治)10月21日	あまりに重大な御諭旨なので申し上げようなし、明日拜趨の上お答えする	墨書			1通	
367	2	7	寺内正毅書簡 柴田家門宛	寺内正毅	柴田家門	(大正3年)10月21日	小生宮野の文庫に御臨検を願う	墨書		年代は消印による	1通	
367	2	8	児玉源太郎書簡 桂太郎宛	児玉源太郎	桂太郎	(明治)12月25日	台湾制度修正案、石塚参事官長の手許ですでに脱稿、いそぎ会合したし	墨書		封筒は柴田内閣書記官宛	1通	
367	3		(明治元勲書簡集 第三巻)								1巻	
367	3	1	毛利元徳書簡 榎村正直宛	毛利元徳	榎村正直	明治21年6月10日	日本美術協会通常会員の指令書受領、すこし困惑したがお請したし	墨書			1通	
367	3	2	杉孫七郎書簡 柴田家門宛	杉孫七郎	柴田家門	(大正2年)1月18日	世論紛擾するも桂公には成算あるべし。離間策に注意されたし	墨書			1通	
367	3	3	井上馨書簡 桂太郎宛	井上馨	桂太郎	(明治34年)12月18日	政府が譲歩するとのことは政友会に示したので現在協議中と思われる。ただし、特別会計の法案は三四倶楽部と交渉の末のことなので賛成演舌は免れないがそこまで留めるよう注意した	墨書			1通	
367	3	4	山尾庸三書簡 柴田家門宛	山尾庸三	柴田家門	(明治)3月9日	3月11日の貴宅宴会への招待感謝、しかし有栖川宮での晩餐ありお断りする	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
367	3	5	山県有朋書簡 柴田家門宛	山縣有朋	柴田家門	(明治)2月9日	徳富に下問したペリー随行員著書翻訳はどのように決定したのか。野村靖と談合願いたし	墨書			1通	
367	3	6	伊藤博文書簡 松方正義宛	伊藤博文	松方正義	(明治29年)10月23日	法典調査会総裁辞職の件、清浦司法大臣も同意したので是非辞職を許されたし	墨書			1通	
367	3	7	野村靖書簡 柴田家門宛	野村靖	柴田家門	(明治33年)10月21日	老兄の進退について新内閣の内相の意向は如何。忍耐が肝要	墨書			1通	
368			清韓外交意見書								2巻	
368	1		(清韓外交意見書 第一巻)								1巻	
368	1	1	岩倉具視書簡 竹添進一郎宛	岩倉具視	竹添進一郎	(明治15年)9月17日	吉田より別紙到来、至急貴官に面会するよう返答した	墨書			1通	
368	1	2	吉田清成書簡 岩倉具視宛	吉田清成	岩倉具視	(明治15年)9月17日	条約第一条解意が整い大幸。しかし井上議官の細報が必要。外務卿ら行き違いになってはまずいので調整必要	墨書			1通	
368	1	3	井上毅書簡 竹添進一郎宛	井上毅	竹添進一郎	(明治14年)4月	中国政府と争うには克蘭氏の証券なる正確の一手束をえずしては納得せず。それをえるには人をアメリカに派遣の必要あり	墨書			1通	
368	1	4	琉球処分に関する清国公使への請訓案	(井上毅)	(竹添進一郎)	(明治13年4月)	外務卿より駐清公使への請訓案。清国側と交渉し議妥結に至れば調印すべし。	墨書		子形から井上毅と推定。「世外井上公伝」第3巻、415頁に正文あり	1通	
368	1	5	筆談筆記	(竹添進一郎)		(明治15年)	「屠用礼来問に付筆談」とあり。壬午軍乱に関する会話か	墨書			1通	
368	1	6	琉球処分に関する意見書	竹添進一郎	大隈重信・伊藤博文・井上馨		清国側は三分の説によってグラント氏の弁法によって日本を圧すべし、日本はピンガムの書函で対抗すべし	墨書	罫紙		1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
368	1	7	請訓	{竹添進一郎}	{井上馨}	{明治13年4月}	公使開談の緩急について御指令ありたし	墨書	罫紙	字形から作成者は竹添と推定	1通	
368	1	8	宍戸璣書簡 竹添進一郎宛	宍戸璣	竹添進一郎	{明治13年}11月10日	石崎を通じて調印を催促したところ、いまだ諭旨を奉らずと返答あり。さらに調印を催促するつもり	墨書	在清国日本公使館罫紙		1通	
368	2		{清韓外交意見書 第二巻}								1巻	
368	2	1	甲申事変に関する上奏文案	竹添進一郎	明治天皇	{明治18年}	甲申事変に関する弁明と辞職願	墨書	在朝鮮国仁川港日本領事館罫紙		1通	
368	2	2	長岡護美書簡 竹添進一郎宛	長岡護美	竹添進一郎	{明治16年}12月2日	不日東洋協会または亜細亜協会として発足する団体には是非加盟して下されたし	墨書			1通	
368	2	3	榎本武揚書簡 竹添進一郎宛	榎本武揚	竹添進一郎	{明治16年}3月22日	御赴任後の状況拝承、米独英は清国の改正干渉を好まず、韓は近々流血の騒ぎ起こるべし、日本は開化党を支持し、もし清が韓に条約義務を尽くさせないようにした時には腕力に訴えるべし、その時は欧米も日本の味方たるべし	墨書			1通	
368	2	4	撤兵に関する覚書			{明治18年}	日本軍の韓からの撤兵に関する二つの学説の紹介	墨書			1通	
369			卷子本(岡崎邦輔宛書簡)								2巻	
369	1		巻物 山県公爵書翰								1巻	
369	1	1	山県有朋書簡 陸奥宗光宛	山県有朋	陸奥宗光	{明治}3月4日	早速御面晤の上、速やかに御決定下され感謝	墨書			1通	
369	1	2	山県有朋書簡 岡崎邦輔宛	山県有朋	岡崎邦輔	{明治}3月12日	議会無事閉会、開会中のご高配感謝。明後日官邸へ御来訪を願う	墨書			1通	



## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
369	1	3	山県有朋書簡 岡崎邦輔宛	山県有朋	岡崎邦輔	10月19日	ご依頼の津田翁に関する題字を差し出す	墨書			1通	
369	1	4	寺内正毅書簡 岡崎邦輔宛	寺内正毅	岡崎邦輔	5月4日	書幅御贈与感謝。この品買い上げた く御受納くだされば幸甚	墨書			1通	
369	1	5	寺内正毅書簡 岡崎邦輔宛	寺内正毅	岡崎邦輔	9月2日	爆発問題につきご高配感謝。爆発すべきものは取り除いたので休校の必要なし	墨書			1通	
369	2		卷子本(桂公爵書翰)								1巻	
369	2	1	桂太郎書簡 岡崎邦輔宛	桂太郎	岡崎邦輔	(明治32年)11月24日	雨森、浜岡、鈴木、井上など日吉倶楽部は事を破るようなことは無き模様	墨書			1通	
369	2	2	桂太郎書簡 岡崎邦輔宛	桂太郎	岡崎邦輔	(明治43年)11月22日	予算説明の件、来月一日大蔵次官を政友会本部に送ること了承	墨書			1通	
369	2	3	桂太郎書簡 岡崎邦輔宛	桂太郎	岡崎邦輔	(明治32年)1月19日	御高見は首相、蔵相にも陳述の予定。内相への件は鉄道問題終了後にしたし	墨書			1通	
370			明治朝名士書(明治初期外交関係書簡卷子本)								1巻	
370	1		三条実美書簡	三条実美		(明治)	明朝8時に朝廷に参集するよう通達して欲しい	墨書			1通	
370	2		岩倉具視書簡 沢宣嘉宛	岩倉具視	沢宣嘉	(明治)12月16日	十津川郷土横浜に出張、ご注意ありたし	墨書			1通	
370	3		松平慶永書簡 沢宣嘉宛	松平慶永	(沢宣嘉)	(明治2年)9月15日	過日参朝のオーストリア公使の手續書等拝借いたしたし	墨書			1通	
370	4		沢宣嘉書簡 寺島宗則宛	沢宣嘉	寺島宗則	(明治2年)8月19日	別紙平松の端書にある英公使書簡云々には心当たりなし。横浜でお取り計らいくだされたし。新潟事件も心付あればお示し下されたし。	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
370	5	1	小松帯刀書簡 町田久成宛	小松帯刀		(明治元年)11月14日	別紙3通送付す。アメリカ留学生、アメリカ水兵殺害事件など、久世公や寺島へ委任。自分は御暇願が認められありがたし	墨書			1通	
370	5	2	小松帯刀覚書	小松帯刀		(明治元年11月)	尾崎三良、中御門寛麿、毛利平六のロンドン留学の資金について	墨書			1通	
370	5	3	小松帯刀覚書	小松帯刀		(明治元年11月)	アメリカ入学生につき御決定を願いたし	墨書			1通	
370	5	4	後藤象二郎書簡 小松帯刀宛	後藤象二郎	小松帯刀	(明治元年)11月10日	陸奥氏太政官に出仕、大隈も出仕の予定なので貴兄も早く御出仕を願う	墨書			1通	
370	6		木戸孝允書簡 外国局宛	木戸孝允	外国局	(明治元年)3月30日	広沢兵助よりの申し越しにつき、同氏と相談されたし	墨書			1通	
370	7		寺島宗則書簡 外国官宛	寺島宗則	外国官	(明治2年)1月15日	横井平四郎暗殺の噂は外国新聞の誤伝	墨書			1通	
370	8		大木喬任書簡 寺島宗則宛	大木喬任	寺島宗則	(明治3年)11月10日	灯明台御雇ロツセル給料の義につき、江川土木正に委曲申し渡したので至急渡すようにしてほしい	墨書			1通	
370	9		東久世通禧書簡 寺島宗則宛	東久世通禧	寺島宗則	(明治)4月13日	カルトネル地所につき李国公使との談判如何	墨書			1通	
370	10		佐佐木高行書簡 沢宣嘉宛	佐佐木高行	沢宣嘉	(明治4年)5月13日	寺島、副島多忙のため、山口中弁に少輔心得を仰せつける	墨書			1通	
370	11		西郷従道書簡 上野景範宛	西郷従道	上野景範	(明治4年)12月8日	清国と締結の条約書借覧いたしたし	墨書			1通	
370	12		副島種臣書簡 上野景範宛	副島種臣	上野景範	(明治)9月25日	お申越の件承知	墨書			1通	
370	13		大隈重信書簡 寺島宗則宛	大隈重信	寺島宗則	明治3年11月25日	明日出張の義承知	墨書			1通	
370	14		板垣退助書簡 土方久元宛	板垣退助	土方久元	(明治4年)9月2日	本日は病気のため出仕せず、また延遠館に罷出るべく達しあり	墨書			1通	
370	15		勝海舟書簡 宮本小一宛	勝海舟	宮本小一	(明治6年)9月5日	イタリアのプリンスが我が邸へ訪問を希望するも、病気にてお断り致したし	墨書			1通	
370	16		井上馨書簡 吉田清成宛	井上馨	吉田清成	(明治4年)3月13日	貿易取引上の法律取調に日数を要す	墨書			1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
373	1		広沢真臣書簡 黒田清隆・山県有朋宛	広沢真臣	黒田清隆・山県有朋	(明治元年)4月25日	会賊が力を専らに用いるのは北越にあり、天下が注目している。委曲は吉井より聞き取られたし	墨書			1通	
373	2		淵辺直知・三好重臣書簡 黒田清隆・山県有朋宛	淵辺直知・三好重臣	黒田清隆・山県有朋	(明治元年)5月22日	当地賊情異状なし。今町港に両藩軍艦到着	墨書			1通	
374			消息文(明治維新之志士書簡卷子本(眞柄蔵))							箱書に「岩倉具視 近衛忠熙 正親町実愛 中山忠能 僧撮信 東久世通禧 沢宣嘉 山中信天」とあり	2巻(1箱)	
374	1	1	岩倉具視書簡 徳大寺実則宛	岩倉具視	徳大寺実則	(明治)6月6日	拝借の一紙返す	墨書			1通	
374	1	2	近衛忠熙書簡 徳大寺実則宛	(近衛忠熙)	徳大寺実則	(明治4年)7月9日	官制潤飾を機会として辞表提出の心底は至当。興僧正が世話になり感謝	墨書			1通	
374	1	3	嵯峨実愛書簡 徳大寺実則宛	嵯峨実愛	(徳大寺実則)	(明治)1月2日	明日行幸延引に付、代拝すべしとの旨、了解す	墨書			1通	
374	1	4	中山忠能書簡 徳大寺実則宛	中山忠能	徳大寺実則	(明治)11月26日	昨夜の件、留守長官に申し遣わし、西京当官にも心得のため申し遣わす	墨書			1通	
374	1	5	僧(撮信)書簡 徳大寺実則宛	僧(撮信)	(徳大寺実則)	(明治4年)7月21日	清風君処分の件	墨書			1通	
374	2	1	東久世通禧書簡 岩倉具視宛	東久世通禧	岩倉具視	(明治3年)閏10月13日	開拓の仕事も順調、清国との条約交渉の任につきたし	墨書			1通	
374	2	2	沢宣嘉書簡 徳大寺実則宛	沢宣嘉	徳大寺実則	(明治)11月晦日	昨日拝借の別紙返却す	墨書			1通	
374	2	3	山中献書簡 徳大寺実則宛	山中献	徳大寺実則	(明治2年)11月14日	石巻県に着任。県下に商法開きたし。県南に吉野先帝碑、県北に田道將軍碑あり	墨書			1通	
374	2	4	岩倉具視書簡(空封筒)	岩倉具視	徳大寺実則	(明治)	封筒のみ「不苦貴答」と書かれている	墨書			1通	
375			井上馨書簡 伊東巳代治宛	井上馨	伊東巳代治	(明治25年カ)8月3日	内閣組織上の件	墨書		もとは額装	1点	

## 憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
376			山県有朋書簡 伊東巳代治宛	山県有朋	伊東巳代治	(明治23年)12月12日	先日シュタイン氏の議論一読、衆議院からの報道によれば高田早苗は議院法改正案、伊藤大八は集会及結社法改正案を提出	墨書		もとは額装	1点	
377			岩倉具視書簡 三条実美宛	岩倉具視	三条実美		久光動向、土佐者示談	墨書		もとは額装	1点	
378			犬養毅書簡 山本愿太郎宛	犬養毅	山本愿太郎	(大正6年)6月11日	対独宣戦時の議会演説等が時局に対する救済策としての意見、眼中に党派なく感情なし、一に国家本位をもって之に当らざるべからず	墨書		卷子本	1巻	翻刻(原稿用紙)、4枚
379			井上馨書簡 伊藤博文宛	井上馨	伊藤博文	(明治25年)5月2日	松方伯に面会、青木周蔵の件、内閣員はなるべく少数の退員に留めたし	墨書		『伊藤博文関係文書』第1巻(塙書房)に収録	1通	
380			伊藤博文書簡 松方正義宛	伊藤博文	松方正義	(明治)4月5日	黒田清隆も進んで尽力の儀、国家の大幸	墨書		卷子本	1巻	
381			重井鹿治ほか書簡 渡邊正喜宛	重井鹿治ほか	渡邊正喜	昭和25年5月4日	日本社会党は参議院議員選挙に江田三郎君を公認候補として推薦する	印刷			1通	
382			原田熊雄宛書簡								2点	
382	1		岡田忠彦書簡 原田熊雄宛	岡田忠彦	原田(原田熊雄)	4月19日	拝眉の上政情伺いたい。近日帰京の予定。	墨書			1通	空封筒(加藤寛治名義)、1枚
382	2		松永安左衛門書簡 原田熊雄宛	松永安左衛門	原田熊雄	1月8日	十三日の件、陸海軍大將ほか返事有無についての報せ	墨書			1通	
383			松方正義宛山縣有朋書簡	有朋(山縣有朋)	松方(松方正義)	明治24年6月28日	訪問の折、面会叶わず。今後帰京の節は拝光を得たし。	墨書			1点	
384			津田三蔵書簡								4点	
384	1		津田三蔵書簡 津田貫一宛	愚弟(津田三蔵)	兄(津田貫一)	(明治)1月22日	軍人軍属帰省休暇差止の達あり	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
384	2		津田三蔵書簡 母宛	三蔵(津田三蔵)	母	(明治10年)10月6日	金沢帰途上、虎列刺(コレラ)症流行の影響による滞留あり。	墨書			1通	
384	3		津田三蔵書簡 津田貫一宛	三蔵(津田三蔵)	貫一(津田貫一)	(明治11年)6月25日	近況報告	墨書	第七聯隊用箋		1通	
384	4		[空封筒]	津田三蔵	津田貫一	(明治)6月2日		墨書			1点	
385			中曽根康弘書簡 佐藤栄作宛 (複製)	中曽根康弘	佐藤栄作	昭和41年5月13日	沖縄問題についてライシャワー駐日米大使と話した内容等	複製(ペン)		複製元(和田純編『オンライン版 楠田實資料 第二期』丸善雄松堂)	1点	
386			徳大寺実則宛書簡								3通	
386	1		有栖川宮威仁親王書簡 徳大寺実則宛	威仁(有栖川宮威仁親王)	徳大寺(徳大寺実則)(侍従長)	5月2日		墨書			1通	
386	2		有栖川宮威仁親王書簡 徳大寺実則宛	威仁(有栖川宮威仁親王)	徳大寺(徳大寺実則)(侍従長)	5月6日		墨書			1通	
386	3		伊藤博文書簡 徳大寺実則宛	伊藤博文	徳大寺(徳大寺実則)(侍従長)	11月23日		墨書			1通	
387			中岡慎太郎書簡板垣退助宛 (複製)	中岡慎太郎	板垣退助	慶応3年6月12日	中村氏書状の行方懸念、詮議中。	複製(墨書)		原本は谷干城関係文書(寄託)104	1通	
388			翰達集							巻末に昭和25年9月25日の裏書「自中山荘地主不二夫氏葺」	1巻	
388	1		土方久元書簡 山口素臣宛	土方久元(宮内大臣)	山口素臣(陸軍少将)	明治28年1月4日	来六日陪食仰せ付けの沙汰あり、参営有るべし	墨書		冒頭に「國府」印	1通	
388	2		山口素臣書簡 土方久元宛	山口素臣(陸軍少将)	土方久元(宮内大臣)		仙台市写真師国府留蔵と申す者が威海衛・劉公島・旅順口等にて撮影せし写真を差上げ、天覧の光栄を給われれば本懐	墨書		冒頭に「國府」印	1通	
388	3		清基秀全書簡 山口素臣宛	清基秀全	山口素臣	(明治27年)11月26日	木山定生従軍の儀 / 国府留蔵へ贈与の名号を別紙に差入れ	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
389			元田永孚書簡 山口正定宛	元田永孚	(山口正定) (侍従長)	(明治)3月5日	拙毫漸く出来、遅延の至り御海容を願う。明日御出仕、拝顔貴意を得べし。	墨書			1巻	翻刻(原稿用紙)、1枚
390			西園寺公望書簡 森山茂宛	西園寺公望	森山茂(鳳羽)	(明治39年)11月18日	石芝氏批評の事	墨書			1通	
391			(阿部信行宛書簡類)									
391	1		石井正二書簡 阿部信行宛	石井正二(正道)(報恩主義普及教会会長)	阿部信行	(昭和27年)3月26日	公職追放解除を喜ぶ、今後の精進を願う	墨書			1通	
391	2		井上ます子書簡 阿部光子宛	井上ます子	阿部光子	(昭和27年)5月10日	お菓子の御礼、御主人様追放解除を喜ぶ	墨書			1通	
391	3		岡田成堂書簡 阿部信行宛	岡田成堂	阿部信行	(昭和27年)5月5日	講和条約、再軍備問題についての持論、追放解除の祝意	墨書			1通	
391	4		阪口繁子書簡 阿部信行・光子宛	阪口繁子	阿部信行・光子	(昭和27年)3月25日	夕刊に閣下の写真、解除の御祝	墨書			1通	
391	5		田村義礼書簡 阿部信行・光子宛	田村義礼	阿部信行・光子	(昭和27年)3月30日	解除の件喜ぶ、上歌志内砒・赤平の合併準備工事	ペン			1通	
392			交友書簡集								2巻	
392	1	1	西園寺公望書簡封筒	西園寺公望	神藤才一	(明治34年)9月27日		墨書		封筒のみ	1点	
392	1	2	高橋泥舟書簡 神藤才一宛	高橋精一(泥舟)	神藤才一	(明治19年)4月29日	お申越しの儀、先方取込中	墨書			1通	
392	1	3	山岡鉄太郎書簡 高橋精一宛	山岡鉄太郎	高橋精一	5月15日	神藤氏一条、山村徳蔵に面会相談	墨書			1通	
392	1	4	犬養毅書簡 神藤才一宛	犬養毅	神藤才一	(大正10年)11月11日	原伝記の巻首題字を差上ぐ。贈り物有難く大貫君へ謝意お伝え下さるよう	墨書			1通	
392	1	5	牧野伸顕書簡 神藤才一宛	牧野伸顕	神藤才一	11月27日	返却の序文について	墨書			1通	
392	1	6	星亨書簡 神藤才一宛	星亨	神藤才一	10月8日	関東倶楽部総会、ご都合よければご出席を。	墨書			1通	
392	1	7	大岡育造・関直彦書簡 神藤才一宛	大岡育造・関直彦	神藤才一	大正2年6月10日	列国議会同盟会議へ御出発につき有志議員食堂にて午餐会催したく	墨書			1通	
392	1	8	珍田捨巳書簡 神藤才一宛	珍田捨巳	神藤才一	(大正10年)12月3日	東宮大夫兼任を拝命、鄭重なる祝詞感謝	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
392	1	9	石井菊次郎書簡 神藤才一宛	石井菊次郎	神藤才一	(大正5年)9月22日	鮮魚お裾分け、有難く賞味	墨書			1通	
392	1	10	楠瀬幸彦書簡 神藤才一宛	楠瀬幸彦	神藤才一	(大正5年)11月16日	出版届行違いを生じ御心配を掛け恐縮。届に捺印して確認したところ小生番地に誤記発見	墨書			1通	
392	1	11	本郷房太郎書簡 神藤才一宛	本郷房太郎	神藤才一	(大正3年)1月22日	御惠贈の貴著鉄舟先生伝を拝読、能文を以て先生の一生を描写	墨書			1通	
392	1	12	青柳義道書簡 神藤才一宛	青柳義道(大雄山最乗寺紀綱)	神藤才一	昭和5年5月28日	幕末三舟伝謹んで拝受、一冊は山主猊下へ、一冊は有難く頂戴	墨書			1通	
392	2	1	岡部長職書簡 神藤才一宛	岡部長職	神藤才一	11月4日	京城着平壤まで御進行の心算至極同意。馬場晴利渡韓	墨書			1通	
392	2	2	本郷房太郎書簡 神藤才一(衆議院議員)宛	本郷房太郎	神藤才一(衆議院議員)	(大正2年)6月30日	相模川の年魚御惠贈有難く拝受。所沢にて令息に面会	墨書			1通	
392	2	3	小幡西吉書簡 神藤才一宛	小幡西吉	神藤才一	(大正11年)2月11日	選挙訴訟判決の結果御当選大慶。当国政況、二大政党の発現、交互に政権を握り国政を管理するが立憲政の一大進境と思考。	墨書			1通	
392	2	4	根津嘉一郎書簡 神藤才一宛	根津嘉一郎	神藤才一	(大正2年)6月3日	昨日御来訪、不在中にて失礼。御書面等にて下されば拝見。	墨書			1通	
392	2	5	上原勇作書簡 神藤才一宛	(上原勇作)	神藤才一	(明治35年)6月25日	搜索しても見当たらず当惑。紛失の覚えなく、必ず発見するつもり。	墨書			1通	
392	2	6	野津鎮武書簡 神藤才一宛	野津鎮武	神藤才一	1月24日	伊集院公使へ紹介状認めたので御落手下されたく。北京の形勢急速進行の様様。	墨書			1通	
392	2	7	林太一郎書簡 神藤才一宛	林太一郎	神藤才一	(明治41年)4月13日	韓国鉱山の一件、野津へ通知されたか否か、また意向は如何。福本という人來訪、概要を聞きその消息承りたく。	墨書			1通	
392	2	8	青木正太郎書簡 神藤才一宛	青木正太郎	神藤才一	(大正6年)6月18日	新株払込、半期決算等銀行の支払勘定嵩み、金御貸与下されたく。	墨書			1通	
392	2	9	小寺謙吉書簡 神藤才一宛	小寺謙吉	神藤才一	(大正12年)11月6日	御来訪の節は失礼。非政友合同問題大いに進行、御高見拝聴仕りたく何時頃御在宅か。	墨書			1通	
392	2	10	大竹貫一書簡 神藤才一宛	大竹貫一	神藤才一	(明治41年)10月13日	西澤之助氏学校敷地問題に関し御高配感謝。外出不自由、書中を以て御礼。	墨書			1通	



憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
393			明治聖代名士書翰集				西川泰彦から中村孫四郎に寄贈されたと思われる著名人の書簡類				2巻	
393	1	1	東郷平八郎書簡 米田虎雄宛	東郷平八郎	[米田虎雄] (主獵頭)	1月6日	愛宕御獵場出獵御許可の御礼。	墨書			1通	
393	1	2	山口正定書簡 主獵局宛	[山口正定]	主獵局	1月12日	鶴の名、別紙の通り命名。	墨書			1通	
393	1	3	後藤新平書簡 戸田氏共宛	後藤新平	[戸田氏共] (主獵局長)	4月16日	御獵場設定の件、実地視察。好適地を認め予選。雉子を内地御獵場にて繁殖、後便にて郵送。	墨書			1通	
393	1	4	貴志一郎書簡 鍋島精次郎宛	[貴志一郎]	[鍋島精次郎] (主獵寮主事)	11月12日	矢吹御獵場において雉子獵、その節は是非とも出獵願う。出発日程、弾薬の量ご一報を。	墨書			1通	
393	1	5	福羽逸人書簡 戸田氏共宛	福羽逸人	[戸田氏共] (主獵局長)	10月29日	浜御苑にて鴨捕開催案内の御礼。欣然参上仕る。	墨書			1通	
393	1	6	小原駿吉書簡 西川宛	[小原駿吉]	西川	29日	鮎を依頼の事、戸田伯爵郷里揖斐川の築鮎甚望み少なく苦心。	墨書			1通	
393	1	7	堀内文次郎・宇都宮太郎書簡 鍋島精次郎・小原駿吉宛	堀内文次郎・宇都宮太郎	[鍋島精次郎] (主獵官)・[小原駿吉] (主獵官)	3月30日	戸田伯爵別邸鶴場に御招きの件。	墨書			1通	
393	1	8	税所敦子書簡 西川泰彦宛	税所敦子	西川泰彦		御惠贈ありがたく、永くたのしみ。	墨書			1通	
393	1	9	清水谷実英書簡 西川泰彦宛	[清水谷実英]	西川泰彦	8月6日	先帝崩御のこと	墨書			1通	
393	1	10	堤正誼書簡 戸田氏共宛	堤正誼	[戸田氏共] (主獵局長)	5月9日	江戸川筋御獵場にて捕獲の千鳥十五羽拝戴御礼。	墨書			1通	
393	2	1	藤波言忠書簡 戸田氏共宛	藤波言忠	[戸田氏共]	2月26日	結構の品沢山御手配御礼。	墨書			1通	
393	2	2	織田信親書簡 西川泰彦宛	織田信親	西川泰彦	7月24日	松平主獵官より貴志君へ送品代余金の件、受領証を郵送。	墨書			1通	
393	2	3	園田安賢書簡 三宮義胤宛	[園田安賢]	[三宮義胤]	7月19日	御来意の事拝承、警部長まで篤と相談。	墨書			1通	
393	2	4	鍋島精次郎書簡 西川泰彦宛	[鍋島精次郎]	西川泰彦	10月10日	松茸沢山御惠投預り御礼。役所の方都合付き、御安神を。	墨書			1通	
393	2	5	堀貞書簡 西川泰彦宛	堀貞(農商務大臣秘書官)	西川泰彦(前橋警察署長)	明治42年4月17日	大臣一行貴地出張の車代、概算為替を以て送付、取計い願う。不足したら直に申越しを。	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
393	2	6	秀司書簡 西川宛	秀司	西川	3月4日	家屋のこと、漸く一件話出来。	墨書			1通	
393	2	7	戸田氏共宛書簡	布	(戸田氏共) (局長)	明治38年2月15日	御獵場計画、新たな編入と不必要箇所 の解除の手續は挙行する時機考慮を要す。	墨書			1通	
393	2	8	伊東巳代治書簡 戸田氏共・ 米田虎雄宛	(伊東巳代治)	(戸田氏共) (米田虎雄)	11月19日	終日山野を跋涉し大愉快、御礼。	墨書			1通	
393	2	9	万里小路正秀書簡 西川泰彦 宛	万里小路正秀	西川泰彦	12月15日	山女魚の儀、御来意の通り献上。	墨書			1通	
393	2	10	片山東熊書簡 戸田氏共宛	片山東熊	(戸田氏共) (主獵局長)	5月23日	中川筋にて鶴狩について御誘引拝謝。 上野へ参集仕る。	墨書			1通	
393	2	11	人見寧書簡 山口正定宛	人見寧	(山口正定)	明治12年11月22日	約束の絵図漸く本日到着、差出し。 地理局書官から、内務卿より達方等の 手續につき聞く。	墨書			1通	
393	2	12	大迫貞武書簡 鍋島精次郎宛	大迫貞武	鍋島精二郎 (精次郎)	12月6日	風邪にて加療中、寮頭へも心付けを願う。 医師は来年二月まで無理せぬよう注意。	墨書			1通	
393	2	13	三宮義胤書簡 西川泰彦宛	(三宮義胤)	西川泰彦	明治32年7月10日	皇族の渡航、本日横須賀出帆、神戸、 呉、佐世保を経て元山港碇泊、九月上旬頃 函館地方へ予定。	墨書			1通	
393	2	14	直井三郎書簡 西川泰彦宛	直井三郎	(西川泰彦) (郡長)	12月13日	本月十一日品評会の節御配慮蒙り深謝	墨書			1通	
393	2	15	西川泰彦書簡 中村孫四郎宛	(西川泰彦)	(中村孫四郎)	2月25日	かねがねご懇請の書翰二十余枚蒐集、 式巻に表装し寄贈。一二代筆の他は自筆。	墨書			1通	
394			大山巖宛書簡									
394	1		岩倉具視書簡 大山巖宛	具視(岩倉具視)	大山(大山巖)	2月23日	三条より電報につき内申。既に黒田も 発途。	墨書			1通	
394	2		大久保利通書簡 大山巖宛	利通(大久保利通)	大山(大山巖) (少将)	(明治10年)11月21日	西郷中将転任の事、近衛都督へ命ぜられる 事に決す。	墨書			1通	
394	3		黒田清隆書簡 大山巖宛	黒田(黒田清隆)	大山(大山巖)	1月25日	伊藤氏下坂の次第閣下へ上陳。	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
394	4		種田政明書簡 大山巖宛	(種田政明)	大山(大山巖)	7月13日	罷上ご遷延の趣承知。	墨書			1通	
394	5		山県有朋書簡 大山巖宛	山県朋(山県有朋)	大山(大山巖)	2月19日	両大臣漸々出征。先般運輸船の一条ご賢慮を煩わし恐縮。	墨書			1通	
394	6		山田顕義書簡 大山巖宛	顕義(山田顕義)	大山(大山巖)	11月29日	射的会につき相談。	墨書			1通	
395			江藤新平書簡 大木喬任宛	江藤(江藤新平)	大木(大木喬任)	10月17日	横浜まで罷越し、会計官よりの御用にて租税取調の積り。	墨書		箱裏に「戊午三月素軒野素観并題(印)」とあり	1巻	
396			伊藤博文書簡 金子堅太郎宛	博文(伊藤博文)	金子(金子堅太郎)	[明治24年10月]21日	予算編製につき両院議員の論点お示しを謝す。翻訳入費の件。	墨書		箱裏に伊藤真一の添書あり(昭和7年6月6日付け)	1点	憲政記念館憲政功労者特別展しおり(昭和52年2月)、2枚
397			小松帯刀書簡 桂久武宛	小松帯刀	桂右衛門(桂久武)	1月24日	長州解兵、五卿の義の五藩申置、兵庫開港の治定云々	墨書			1巻	翻刻・解説(古書店作成カ)、10枚
398			西郷隆盛書簡 桂久武宛	西郷(西郷隆盛)	桂(桂久武)	5月3日	大蔵省へ申立の一条、上野へ打合せて大隈などへご談判あれ。	墨書			1巻	翻刻(古書店作成カ)、1枚
399			中曽根康弘書簡				挨拶状、近況報告	ペン・墨書			45通	
400			勝田吉太郎宛書簡類				書簡31通、名刺3枚	ペン・印刷			34点	
401			大久保鉄作宛書簡巻							木箱に「当麻」と貼付あり	1巻	
401	1		犬養毅書簡 大久保鉄作宛	木堂(犬養毅)	霞城(大久保鉄作)	6月10日	町田兄に聞きたる老兄上京の事、何かの間違か。連戦連敗し如何に兵糧弁し得るか憂う。何とかして今度は勝つべし	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
401	2		下岡忠治書簡 大久保鉄作宛	下岡忠治	大久保(大久保鉄作)	8月22日	当地水害、各地方未曾有の惨害、首相内相の秋田行は見込無し。築港問題は秋田県の死活問題、県民一致が肝要	墨書			1通	
401	3		川村竹治書簡 大久保鉄作宛	川村竹次(竹治)	大久保(大久保鉄作)	1月27日	稀有の大風雪ながら久方振りにて御面談の機を得大慶。年一回は御来遊を希望	墨書			1通	
401	4		田中隆三書簡 大久保鉄作宛	田中隆三	大久保鉄作	明治38年1月22日	来る二十四日粗餐差上げたく、築地に御枉駕を。県代議士諸君、岡知事、野口警部長、大日向県会議長も招致	墨書			1通	
401	5		長谷場純孝書簡 大久保鉄作宛	純孝(長谷場純孝)	大久保(大久保鉄作)	19日	過般の会議の会計七名分取りまとめるので御領掌下されたい	墨書			1通	
401	6		野田卯太郎書簡 大久保鉄作宛	野田(野田卯太郎)	大久保(大久保鉄作)	12月19日	貴県の党勢日進月歩の有様、誠に御同慶。御出京を待ち拝眉いたしたい	墨書			1通	
401	7		水野錬太郎書簡 大久保鉄作宛	錬太郎(水野錬太郎)	大久保(大久保鉄作)	(大正5)年8月25日	今回任期満了にて市長御退任、誠に遺憾、深く感謝。退職後も県国のため御努力の程切望仕る	墨書			1通	
401	8		{俳句}	田辺熊一		昭和7年11月3日	明治節の俳句	墨書		巻子の奥書	(1点)	
402			伊藤博文他書簡								1巻(4通)	
402	1		伊藤博文書簡 伊東巳代治宛	{伊藤博文}	晨亭(伊東巳代治(内閣書記官長))	8月11日	一昨日宮内大臣下命、昨夜黒田伯が来訪、近日帰京の上拝謁。明日は帰路陸奥を訪問	墨書			1通	
402	2		伊藤博文書簡 伊東巳代治宛	{伊藤博文}	{伊東巳代治(内閣書記官長)}	(明治29年)8月22日	日々新聞記事は事実無につき至急御正誤下されたい、板垣入閣の初会議	墨書			1通	
402	3		桂太郎書簡 伊東巳代治宛	{桂太郎}	{伊東巳代治(内閣書記官長)}	(明治28年)12月9日	朝比奈氏来訪。進歩党に反対を試みながら軍事費削減はわけのわからぬこと、自由党将来の為め気の毒千万	墨書			1通	
402	4		山縣有朋書簡 伊東巳代治宛	{山縣有朋}	{伊東巳代治(内閣書記官長)}	10月9日	大木伯出閣、明朝佐野河野が罷越し相談。新聞掲載の懸念、とにかく軍事上同様決談論となる	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
403			黒田清隆宛書簡								1巻(12通)	
403	1		徳大寺実則書簡 黒田清隆宛	徳大寺実則	黒田清隆(枢密院議長)	7月14日	御諮詢の件につき調査出来	墨書			1通	
403	2		松方正義書簡 黒田清隆宛	〔松方正義〕	〔黒田清隆〕	4月29日	伊藤伯宅訪問しては如何。小松君のこと、宮島の書面は暫時御預り	墨書			1通	
403	3		大久保利通書簡 黒田清隆宛	〔大久保利通〕	〔黒田清隆〕	4月23日	明日御宅へ参り粗真竹とも相酌置	墨書			1通	
403	4		伊東祐亨書簡 黒田清隆宛	〔伊東祐亨〕	〔黒田清隆〕	4月30日	近日午前後の内御面晤を承る。午後二時より三時迄に参堂仕る	墨書			1通	
403	5		桂太郎書簡 黒田清隆宛	桂太郎	〔黒田清隆〕	12月8日	尊邸にて晚餐の案内感謝、必ず参上。澳国より来遊中のスタイン博士御招待との事承知	墨書			1通	
403	6		谷干城書簡 黒田清隆宛	谷干城	黒田清隆	(明治19年)2月3日	漫遊見聞録を贈付下され領収	墨書			1通	
403	7		土方久元書簡 黒田清隆宛	〔土方久元〕	〔黒田清隆(議長)〕	9月10日	昨夜の暴風雨、幸に大損害も無し。杉子爵書的一条明朝発表	墨書			1通	
403	8		西寛二郎書簡 黒田清隆宛	西寛二郎	黒田清隆	(明治29年)6月13日	此度清国威海衛占領司令官を命じられ去31日着任、当地の官民との関係平穩、丁提督最後の心情殊更追想	墨書			1通	
403	9		大鳥圭介書簡 黒田清隆宛	大鳥圭介	黒田清隆	明治19年2月2日	清国その他各地御遊歴中の見聞録冊子御分配感謝	墨書			1通	
403	10		伊東巳代治書簡 黒田清隆宛	〔伊東巳代治〕	〔黒田清隆〕	7月28日	伊藤伯令嗣勇吉の負傷、唯今病氣危篤なりとの急報。伊藤伯は早速馬関へ向け出発、宮内大臣へ趣を届け置く	墨書			1通	
403	11		平田東助書簡 黒田清隆宛	〔平田東助〕	〔黒田清隆〕	7月3日	御懇書と御恵賜を蒙り、御精製の御薬品迄御添へくだされ感銘之至	墨書			1通	
403	12		井上馨書簡 黒田清隆宛	〔井上馨〕	〔黒田清隆〕	9月7日	榎本子よりの来書あり、近日の御都合を洩らされたい。条約改正一条ほかにも御咄したい事件あり、差向い御懇談願う	墨書			1通	
404			寺島宗則書簡	陶蔵(寺島宗則)	不識老大人	(慶応2年)9月15日	ウェンリートの書参る、箕作秋坪・津田真一郎に会う、我邦之利は兵庫開港後、坂之大商に商会結社、五代は長崎にて山を致す ほか	墨書			1通	

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
405			寺内正毅・原敬書簡								1巻(5通)	
405	1		寺内正毅書簡 益田孝宛	寺内正毅	益田孝	[大正6年]3月13日	御懇談感謝、安川翁之書面に落胆失望の至り、同氏面晤したい。野田氏の昨日附の書翰によれば松本氏は安川翁に同意の旨麻生氏より申上り	墨書			1通	
405	2		原敬書簡 益田孝宛	[原敬]	益田孝	[大正6年]4月21日	各地情報では大体好結果、本日午後市部開票の結果概ね全体の推測できるが、右の次第、とりあえず御礼。小樽もまずは好結果	墨書			1通	
405	3		寺内正毅書簡 益田孝宛	[寺内正毅]	[益田孝]	[大正6年]5月1日	今回の選挙への御礼、別紙は返却、安川氏着京の上は委曲承れるかと存ず	墨書			1通	
405	4		原敬書簡 益田孝宛	[原敬]	[益田孝]	[大正6年]4月23日	選挙結果は政友会162名準政友13名、丁度来示の程度でご安心を。御同情の結果、万謝の至り。小樽は残念	墨書			1通	
405	5		野田卯太郎書簡 益田孝宛	野田卯太郎	益田孝	[大正7年]11月18日	御病氣御全快につき祝詞	墨書			1通	
406			南満州鉄道株式会社関係資料								9通	
406	1		奥村直書簡 山崎元幹宛	奥村直(南満洲鉄道総務部外事課長)	山崎元幹(総務部長)	昭和6年11月6日	満鉄は独自の方策を立て寧ろ軍部を誘導すべし、時局收拾は満鉄が中心に	ペン	南満洲鉄道野紙		1通	
406	2		笠木房雄書簡 山崎元幹宛	笠木房雄	山崎元幹	[昭和6年]10月20日	派遣員大半は不真面無統制、軍部断行の後は善政を云々	墨書			1通	
406	3		峯旗良光書簡 山崎元幹宛	峯旗良光(囑託)	[山崎元幹](総務部次長)	10日	吉林情勢の報告、同時に中心は奉天の動き如何	ペン			1通	
406	4		[命令書]		野村正	大正14年7月12日	至急王省長に面会し本職よりとして左の通り伝え結果を電報ありたし	印刷			2枚	大和ホテル封筒、1点
406	5		陝西問題ニ関スル情報及上海問題ニ関スル件	松岡洋右(理事)		[大正14年]7月20日	陝西問題関係、上海案に関する件	印刷		松岡のメモ貼付	5枚	封筒、1点
406	6		満洲ニ於ケル日支航空路合弁密約ニ関スル件	森(俊六郎)(理事)		昭和6年8月10日	密約の経緯等について、総裁まで回議済の文書	ペン	南満洲鉄道株式会社野紙	八月八日否決とあり	1綴	封筒、1点

憲政資料室収集文書目録 書簡の部

資料番号	枝番1	枝番2	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
406	7		張景恵利用二関スル件	木村		昭和6年8月10日	排日運動鎮圧等に張の政治利用について、総裁まで回議済の文書	墨書	南満洲鉄道株式会社罫紙	八月八日否決とあり	1綴	(1)封筒、1点 / (2)木村鋭市宛報告書(8月5日付け)、1通
406	8		閻ノ大連脱出二関スル件			昭和6年8月12日	閻錫山の大连脱出の経緯について、総裁まで回議済の文書	ペン	南満洲鉄道株式会社罫紙		1綴	封筒、1点
406	9		[案内状]	故松岡洋右氏追憶会世話人	藤本木田	昭和27年6月15日	追憶会・追悼祭の案内	印刷			1通	
407			伊藤博文書簡 鮫島武之助宛	伊藤博文	鮫島武之助(内閣書記官長)	(明治34年)5月7日	留任の御沙汰あるも恐縮ながらお断り申し上げた。西園寺公望からも書簡が来たが同趣旨を返書	墨書			1通	翻刻(翻刻者不明)、1点
408			含雪山県公尺牘					墨書		箱裏に昭和癸酉(1933)看雨峰敬署	2卷(7通)	
408	1	1	山県有朋書簡 松方正義宛	山県有朋	松方正義	(明治)10月22日	大阪府山林原野再調査御上申案一読、意見は無之	墨書			1通	
408	1	2	山県有朋書簡 海軍卿宛	山県有朋	海軍卿	(明治12年)11月18日	明日より観音崎出張、砲台築造概略見込相立候はば其節御談判仕るべし	墨書			1通	
408	1	3	山県有朋書簡 小沢宛	山県有朋	小沢	4月4日	軍人礼節の件	墨書			1通	
408	1	4	山県有朋書簡 沖守固宛	山県有朋	沖守固(和歌山県知事)	(明治26年)1月15日	地価修正案一読会、明日には是非結了にいたるよう高配をたまわりました	墨書			1通	
408	1	5	山県有朋書簡 松方正義宛	山県有朋	松方正義	(明治22年)10月22日	このような状況にては維持策は寸分もなく只一身に覚悟を極候ほか、他意なしと決心	墨書			1通	
408	2	1	山県有朋書簡 田中義一宛	山県有朋	田中義一	(大正10年)3月15日	上原総長元帥至極適當のこと	墨書			1通	
408	2	2	山県有朋書簡 田中義一宛	山県有朋	田中義一	(明治45年)4月2日	陸相危篤の電話あり、西園寺公望内閣の陸相後任について	墨書			1通	桂太郎宛て書簡案文、1通